

# Canon

キヤノン株式会社  
キヤノン販売株式会社  
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

## 製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター 全国共通電話番号



0570-01-9000 (商品該当番号:71)

受付時間：平日9:00～20:00 土・日・祝日10:00～17:00 (1月1日～1月3日を除く)

お電話がつながりましたら、音声ガイダンスに沿って、商品該当番号<71>または「デジタルカメラ」とお話しください。全国64ヶ所の最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。自動車電話・PHSをご利用の方、海外からご利用の方は、043-211-9556をご利用ください。

※ 電話の回線状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。その場合は案内窓口におつなぎいたします。  
※ 音声応答システム、受付時間、該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## 修理サービスご相談窓口

付属の「修理サービスご相談窓口」(別紙)でご確認ください。

## キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開いています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社 <http://canon.jp/bebit/>  
キヤノン販売株式会社 デジタルカメラ製品情報 <http://canon.jp/dc/>  
キヤノン販売株式会社 サポート <http://canon.jp/support/>  
CANON iMAGE GATEWAY <http://www.imagegateway.net/>

CDI-J145-010 XXXXXXXX

© 2004 CANON INC.

PRINTED IN JAPAN

Canon キヤノンデジタルカメラ PowerShot S70/S60 カメラユーザーガイド

# Canon

キヤノンデジタルカメラ

# PowerShot S70 PowerShot S60 カメラユーザーガイド

CANON  
iMAGE DiGiC  
GATEWAY



- 最初に「ご使用の前に」(p. 5)をお読みください。
- ソフトウェアクイックガイドやダイレクトプリントユーザーガイドもお読みください。



CDI-J145

## このカメラでできること

### 撮影

- シャッターを押すだけで簡単に撮影できるオート撮影、多彩な機能を活用できるシャッタースピード優先AE、絞り優先AEなど、思いどおりの撮影が楽しめます。
- 焦点距離28mm (35mmフィルム換算) 相当の広角撮影ができます。また、光学ズームで3.6倍、デジタルズームと合わせて約15倍まで拡大して撮影できます。
- 動画を音声つきで撮影できます。
- SIセンサーを搭載しており、撮影した画像の縦横位置も自動的に判別します。
- 別売のテレコンバーターを装着して撮影できます。

### 再生

- 撮影した画像をその場ですぐに確認でき、必要なければすぐに削除できます。
- 動画を音声つきで再生できます。
- スライドショー機能で画像を自動的に再生できます。

### 編集

- 撮影した画像に音声メモを記録できます。
- 記録した動画を編集できます。

### 印刷 (プリント)

- カメラダイレクト対応プリンター (別売) に接続し、パソコンを使わずにイーजीダイレクトボタンを押すだけで、高画質なプリントを得られます。
- 撮影した画像は、従来の写真と同様にプリント取り扱い店でデジタルプリントできます。また、インターネットを通じてオンラインプリントもできます。
- このカメラは、標準規格「PictBridge (ピクトブリッジ)」

に対応していますので、キヤノン製以外のプリンター (PictBridge 対応) も接続でき、カメラからの簡単な操作でプリントできます。

### 撮影した画像の活用

- パソコンに画像を取り込んで編集できます。
- Windowsをお使いの場合は、カメラをパソコンに接続しイーजीダイレクトボタンを押すだけで、簡単に画像を取り込めます。
- 撮影した画像や音声は、カメラの起動画面や起動音、シャッター音として設定できます。
- インターネットを通じて撮影した画像をアップロードし、オリジナルアルバムを作成できます。また、そのアルバムを友人やご家族にも公開できます。

### アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。


本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合 (例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など) に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。




リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

# ガイドの使いかた




**システムマップ**

- 付属品・別売品の紹介
- 周辺機器との接続



**クイックスタートガイド**

- カメラの基本的な操作方法とボタンの説明
- ソフトウェアの基本的な操作方法




**カメラユーザーガイド**

- カメラの準備～撮影～再生～消去の操作方法
- パソコンとの接続方法

**本書** カメラに付属 CPプリンターに付属

CP プリンター以外のプリンターをお使いのかたは、各プリンターに付属の使用説明書もお読みください。


以下のガイドもご覧ください。



**ソフトウェア  
クイックガイド**


- 付属の CD-ROM に収められている各ソフトウェアの主な機能
- インストールに必要なパソコンのシステム構成
- ソフトウェアのインストール～パソコンとの接続～画像の取り込みの操作方法

\* 「Windows® XP、Mac OS Xをお使いの方へ」もご覧ください。




**ダイレクトプリント  
ユーザーガイド**

- プリンターとの接続方法とプリント方法



**プリンターユーザーガイド**


- プリンターとカメラの接続方法
- ペーパーやインクカセットの入れかた
- プリンターやペーパー、インクカセットの取り扱い上のご注意



**ZoomBrowser EX  
ソフトウェアガイド  
(Windows)**


**ImageBrowser  
ソフトウェアガイド  
(Macintosh)**

- ZoomBrowser EX (Windows)、ImageBrowser (Macintosh) の詳細な使いかた



**修理サービス  
ご相談窓口**

- 修理に関するお問い合わせ先










**プリンタードライバ  
ユーザーガイド**

- プリンタードライバのインストール方法
- プリンターとパソコンの接続方法
- パソコンからのプリント方法

## このガイドについて


### 表記について


見出しの下にあるマークは、この操作が行えるモードを表しています。この例では、撮影モードダイヤルが **AUTO**、、、、、、、、**Tv**、**Av**、**M**のときに、操作できます。

#### 🔋 ストロボを使って撮る

撮影モードダイヤル

**AUTO**       **P** **Tv** **Av** **M**

 カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

 知っておくと便利になること、参考になることを記載しています。

# 目次

☆ではこのカメラの機能や操作をまとめて説明しています。

## ご使用の前に

### 第1章 準備

各部の名称.....	10
操作部.....	12
バッテリー / CF カードを入れる.....	14
CF カードを初期化する.....	18
電源を入れる / 切る.....	20
日付 / 時刻を設定する.....	23
言語を設定する.....	25
☆ 液晶モニターの使いかた.....	26

### 第2章 基本の撮影

☆ <b>AUTO</b> 撮影する (オート).....	29
撮影直後に画像を確認する.....	32
記録画素数と圧縮率を変更する.....	34
📷 ストロボを使って撮る.....	36

### 第3章 基本の再生

1 画像ずつ見る (シングル再生).....	40
🔍 拡大して見る.....	41
📑 9 画像ずつまとめて見る (インデックス再生).....	42
<b>JUMP</b> 9 画像ごとに表示を切り換える.....	43

### 第4章 消去

🗑️ 1 画像ずつ消去する.....	44
🗑️ 全画像を消去する.....	45

### 第5章 便利な撮影機能

撮影モードダイヤルを使う (イメージゾーン).....	46
📷 ポートレート	
🌄 風景	
🌃 夜景	
📷 高速シャッター	
📷 スローシャッター	
📷 パノラマ画像を撮る (スティッチアシスト).....	48
📷 至近距離で撮る (マクロ).....	50
📷 セルフタイマーで撮る.....	51
📷 デジタルズームで撮る.....	52
📷 連続して撮る.....	53
📷 記録形式を変更する.....	55
📷 動画を撮る.....	56
📷 動画を見る / 編集する.....	57

### 第6章 いろいろな撮影

☆ メニューの選択と設定のしかた.....	61
設定を初期状態に戻す.....	69
撮影モードダイヤルを使う (クリエイティブゾーン).....	70
<b>P</b> プログラム AE	
<b>Tv</b> シャッタースピード優先 AE	
<b>Av</b> 絞り優先 AE	
<b>M</b> マニュアル露出	

☑ AF 枠を選択する	74
☉ 測光方式を切り換える	76
露出を補正する	77
色合いを調整する (ホワイトバランス)	78
ISO 感度を変更する	81
色効果を切り換える	82
露出を自動的に変えて撮る (AEB 撮影)	83
フォーカスを自動的に変えて撮る (フォーカスブラケット撮影)	84
露出を固定して撮る (AE ロック)	85
FE ロックして撮る	87
ストロボの自動調光設定を切り換える	88
ストロボ発光のタイミングを切り換える	89
間隔をあけて自動的に撮影する (インターバル撮影)	90
ピントが合いにくい被写体を撮る	92
<b>C</b> カスタム登録する	96

## 第7章 いろいろな再生

回転して表示する	98
🔊 音声メモを付ける	99
画像を自動再生する (スライドショー)	100
画像をプロテクト (保護) する	104

## 第8章 カメラの設定

節電の設定をする	105
縦横自動回転の設定をする	106
ファイル番号をリセットする	107

カメラを自分好みにする (マイカメラ機能)	108
-----------------------	-----

## 第9章 いろいろな活用法

CANON iIMAGE GATEWAY を利用する	112
パソコンへの画像の取り込み	115
パソコンに必要なシステム構成	116
テレビを使って撮影 / 再生する	123
プリントについて	124
DPOF のプリント指定	126
画像の送信指定 (DPOF 送信指定)	131

## 付録

メッセージ一覧	133
故障かなと思ったら	135
ワイヤレスコントローラー (別売) を使う	140
レンズ (別売) を使う	142
電源キット (別売) を使う	144
カーバッテリーチャージャー (別売) を使う	145
カメラのお手入れ	146
海外で使うとき	147
主な仕様	149
ワンポイントアドバイス	158
索引	161
☆ 各撮影モードで設定できる機能一覧	166

## ご使用の前に

### 必ずお読みください

#### ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。

万一、このカメラやCFカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

#### 著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

#### 保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

#### 本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使用になっていると、本体温度が高くなる場合があります。これは故障ではありませんが、長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがありますので、ご注意ください。

#### 液晶モニターについて

液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録されている画像には影響ありません。

### 安全上のご注意

- ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本文中の「本機器」とは、カメラ、バッテリー、バッテリーチャージャー、別売のコンパクトパワーアダプターおよびカーバッテリーチャージャーを指します。



### 警告

この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。



### 注意

この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。



△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は、注意事項を意味します。



⊘記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。  
(左図：分解禁止)



●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。



## 警告

●カメラで太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。



●ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。



●本機器はお子様の手が届かないところに保管してください。お子様が誤って本機器やバッテリーを破損すると危険です。また、誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。



●本機器を分解、改造しないでください。高電圧がかかり、感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。



●落下などにより、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり、感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。





●煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源を切り、その後必ずバッテリーを外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



●本機器を落としたり外装を破損した場合は、まず、カメラの電源を切り、バッテリーを外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



●本機器内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。カメラには防水処理が施されていません。水滴がかかったり、潮風にさらされたときには、吸水性のある柔らかい布で拭いてください。万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず、カメラの電源を切り、バッテリーを外し、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。



●お手入れのときは、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。火災の原因となります。



●電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長時間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となります。火災の原因となります。



●電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損したり、加工しないでください。漏電して、火災、感電の原因になります。



●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。また、電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などでコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



●本機器専用以外の電源は使用しないでください。発熱、変形して、火災、感電の原因となります。



●バッテリーを火に近づけたり、火の中に投げ込まないでください。また、水の中に入れてしないでください。バッテリーの破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。



●バッテリーを分解、改造したり、加熱しないでください。破裂により、けがの原因となります。万一、バッテリーの電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。



●バッテリーを落とすなどして強い衝撃を与えないでください。外装が破損した場合、バッテリーの液漏れにより、けがの原因となります。



●キーホルダーなどの金属類でバッテリーの「+」と「-」の端子を接触(ショート)させないでください。発熱し、やけど、けがの原因となります。



●バッテリーを廃棄する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。廃棄の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。



●指定されたバッテリーパックとバッテリーチャージャーをお使いください。それ以外のものを使用すると、バッテリーの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。



●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときはカメラと電源コンセントの両方から外してください。長時間接続しておく、発熱、変形して火災の原因となります。



●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの出力端子は、このカメラ専用です。他の製品にはお使いにならないでください。火災の原因となることがあります。



●バッテリーチャージャーの出力端子は常にきれいにし、その上に金属類を置かないでください。火災の原因となることがあります。



●別売のテレコンバーター、コンバージョンレンズアダプターを取り付けるときは、確実に取り付けてください。緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。



### 磁気について

カメラのスピーカー (p. 12) に磁気の影響を受けやすいもの(クレジットカードなど)を近づけないでください。それらのデータがこわれて、使用できなくなることがあります。

### ⚠ 注意

●直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となったり、機器外装が熱により変形することがあります。また、バッテリーチャージャーで充電する際は、風通しのよいところでお使いください。



●湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。



●カメラをストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないように注意してください。けがや本体の故障の原因となることがあります。



●ストロボの発光部分を手や布などで覆ったまま発光しないでください。煙や音が出て、故障の原因となることがあります。また、連続発光後、発光部分に触らないでください。やけどの原因となることがあります。



●ストロボ発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因となることがあります。



●バッテリーチャージャーやコンパクトパワーアダプターは、必ず指定された電源コンセントを使用し、定格を超えて使用しないでください。地域によって、電源プラグ部分が異なります。本書の「付録」をご覧ください。



●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの電源コードや電源プラグが傷んだものや、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。



●電源プラグや充電端子部に金属性のピンやゴミを付着させないでください。



## 故障をふせぐためのご注意

### ■電磁波による誤作動、破壊をふせぐために

カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

### ■結露をふせぐために

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

### ■結露が発生したときは

故障の原因となりますので、カメラをお使いにならないでください。

CFカード、バッテリー、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、カメラをお使いください。

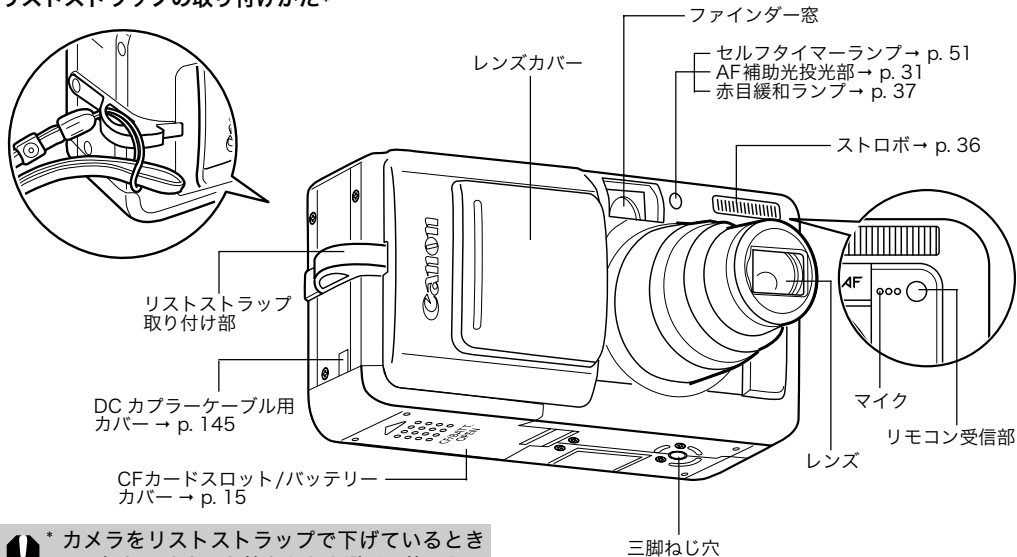
### ■長期間使用しないときは


バッテリーをカメラやバッテリーチャージャーから取り出して、安全な場所に保存しておいてください。

バッテリーを入れたままにしておくと、バッテリーが消耗します。

ただし、バッテリーを取り出してから約3週間経過すると、設定した日付/時刻やカメラの設定が解除される場合があります。

リストストラップの取り付けかた\*



 \* カメラをリストストラップで下げているときは、振り回すような持ちかたを避け、他のものに引っ掛からないように注意してください。


カメラにパソコン、またはプリンターを接続するときに使用するケーブルは、以下のとおりです。

パソコン： インターフェースケーブル IFC-400PCU (カメラに付属)

カメラダイレクト対応プリンター (別売)：

- CPプリンター： インターフェースケーブル IFC-400PCU (カメラに付属) または、ダイレクトインターフェースケーブル DIF-100 (CP-100/CP-10に付属)
- バブルジェットプリンタ (PIXUS)
  - ・ Bubble Jet ダイレクト対応プリンタ： バブルジェットプリンタの使用説明書をご確認ください。
  - ・ PictBridge対応プリンタ： インターフェースケーブル IFC-400PCU (カメラに付属)
- キヤノン製以外のPictBridge対応プリンター： インターフェースケーブル IFC-400PCU (カメラに付属)

このカメラで使えるカメラダイレクト対応プリンターについては、システムマップ、またはダイレクトプリントユーザーガイドでご確認ください。

 (イージーダイレクト) ボタン (p. 12) を押すと、以下の操作が簡単にできます。

- プリント：ダイレクトプリントユーザーガイド (別冊)
- パソコンへの画像の取り込み (Windowsのみ)： p. 115、ソフトウェアクイックガイド (別冊)

プリンター、パソコン接続時は、ランプが点灯、点滅します。

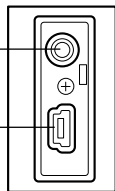
青点灯：プリンター準備完了 / 画像転送準備完了  
青点滅：プリント中 / 画像転送中 (ダイレクト転送方法によっては、点滅しません (p. 120))

# 操作部

FUNC. (ファンクション) ボタン → p. 61

MF (マニュアルフォーカス) / 栓 (1画像消去) ボタン → p. 44, 94

A/V OUT (映像/音声出力) 端子 → p. 123



端子カバー

DIGITAL (デジタル) 端子 → p. 118

⚡ (ストロボ) / [ ] (インデックス) ボタン → p. 36, 42

🌸 (マクロ) / JUMP (ジャンプ) ボタン → p. 43, 50

スピーカー

ファインダー接眼部 → p. 31

シャッターボタン → p. 30

ズームボタン  
撮影時: [ ] (広角) / [ ] (望遠) → p. 29, 52  
再生時: [ ] (縮小) / [ ] (拡大) → p. 41, 42

[ ] (再生) ボタン → p. 21

[ ] (イーザードイレクト) ボタン → p. 120

十字ボタン  
▲ (上) ▼ (下) ◀ (左) ▶ (右)

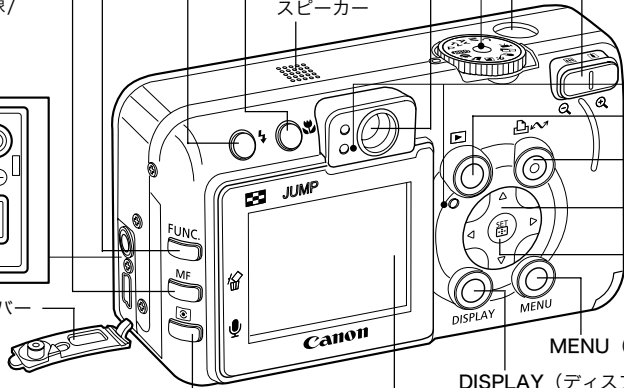
SET (セット) / [ ] (AF 枠選択) ボタン → p. 74

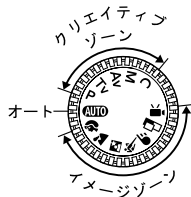
MENU (メニュー) ボタン → p. 62

DISPLAY (ディスプレイ) ボタン → p. 26

[ ] (測光) / [ ] (マイク) ボタン → p. 76, 99

液晶モニター → p. 26





## 撮影モードダイヤル

撮影モードを選択するときに使います。

- **AUTO**：オート→ p. 29  
カメラまかせの撮影ができます。
- **イメージゾーン**→ p. 46  
被写体に合う条件をカメラにまかせて設定し、撮影できます。
- ：ポートレート
- ：風景
- ：夜景
- ：高速シャッター
- ：スローシャッター
- ：ステッチアシスト→ p. 48
- ：動画→ p. 56

- **クリエイティブゾーン**→ p. 70  
露出や絞りを変えるなど、思いどおりのさまざまな撮影ができます。
- P**：プログラムAE
- Tv**：シャッタースピード優先AE
- Av**：絞り優先AE
- M**：マニュアル露出
- C**：カスタム

シャッターボタンを押したとき、または以下の動作中にランプが点灯、点滅します。

- **電源/モードランプ**  
 橙点灯：撮影モード  
 緑点灯：再生/プリンター接続モード  
 黄点灯：パソコン接続モード
- **ランプ (上)**  
 緑点灯：撮影準備完了  
 緑点滅：CF カードへ記録中 / CF カードからの読み出し中 / CFカードからの消去中 / データ転送中 (パソコン接続時)
- **ランプ (下)**  
 橙点灯：撮影準備完了 (ストロボ発光)  
 橙点滅：撮影準備完了 (手ブレ警告)
- **ランプ (下)**  
 黄点灯：マクロ撮影 / マニュアルフォーカス撮影  
 黄点滅：ピントが合いにくいとき (黄点滅でもシャッターボタンは押せますが、マニュアルフォーカスでピントを合わせて撮影してください (p. 92)。)

## バッテリー / CFカードを入れる

付属のバッテリーパックNB-2LHとCFカードをカメラに入れ、撮影の準備をします。はじめてお使いになるときや、「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されたときは、バッテリーを充電してください。



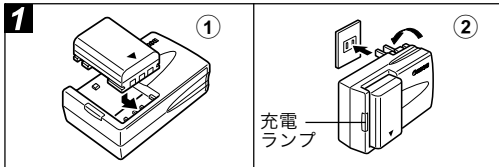
●ランプ（上）が緑色に点滅しているときは、CFカードへの記録/読み出し中/消去中、またはデータ転送中ですので、絶対に次のことは行わないでください。画像データが壊れることがあります。

- カメラ本体に振動や衝撃を与える。
- カメラの電源を切ったり、CFカードスロット / バッテリーカバーを開ける。

●バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24時間以上連続して充電しないでください。



- 長時間お使いになるときは、ACアダプターキットACK700（別売）をお使いになることをおすすめします（p. 144）。
- バッテリー性能について（p. 153）
- バッテリーパックNB-2Lもお使いになれます。

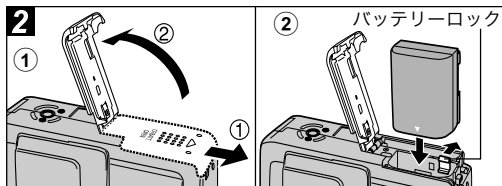


① バッテリーチャージャーの線にバッテリーの先端を合わせ、矢印の方向に差し込む

② バッテリーチャージャーの電源プラグを引き出し、コンセントに差し込む

- 充電中は充電ランプが赤色に点灯します。充電が完了すると緑色に点灯します。
- 充電が終了したら、速やかにバッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーを取り外してください。

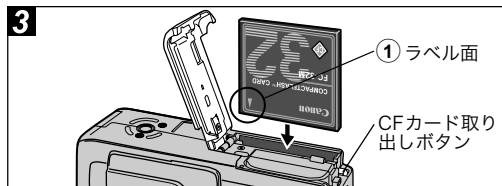




① 電源が切れていることを確認し (p. 20)、CF カードスロット / バッテリーカバーを矢印の方向にスライドさせて開く

② バッテリーロックを矢印の方向に押しながらバッテリーがロックされるまで入れる

- バッテリーを取り出すときは、バッテリーロックを押して取り出します。



① ラベル面を手前にしてCFカードを差し込み、CFカードスロット / バッテリーカバーを閉じる

- CFカード取り出しボタンが飛び出すまで、しっかりと差し込んでください。CFカードを取り出すときは、このボタンを押して取り出します。

● 他社のカメラやパソコン、アプリケーションソフトウェアでフォーマットまたは編集したCFカードを使用すると、CFカードの書き込み速度が遅くなったり、誤動作する恐れがありますのでご注意ください。

● CFカードの種類と記録画像数の目安について (p. 154)

● このカメラで初期化したCFカードをお使いになることをおすすめします (p. 18)。付属のCFカードはそのままお使いになれます。

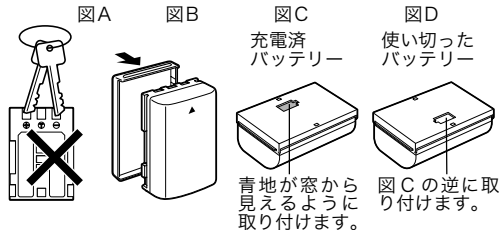


- ◆このバッテリーは、リチウムイオン電池のため、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できます。
- ◆完全に放電した状態から、フル充電になるまでの時間は、約90分です(当社測定基準による)。5～40℃の範囲で充電してください。
- ◆バッテリーチャージャーを使用中、音がすることがありますが、故障ではありません。
- ◆海外で使うとき→ p. 147

## 取り扱いについて

- バッテリー、カメラの⊕Ⓜ⊖の端子は、常にきれいにしておいてください。汚れていると、接触不良の原因となります。充電や使用する前に、ティッシュペーパーなどで乾拭きしてください。
- テールクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
- バッテリーパック NB-2LH / NB-2L (別売) 以外のバッテリーは充電しないでください。
- バッテリーをカメラやバッテリーチャージャーに取り付けたままにしておくと、お使いにならなくても微小の電流が流れて過放電になり、寿命短縮の原因となります。カメラを使用しないときは、バッテリーを取り出しておいてください。

- キーホルダーなどの金属でバッテリーの「⊕」と「⊖」の端子を接触させると(図A)、バッテリーパックの破損の原因になることがあります。バッテリーを持ち運ぶときや、お使いにならないときは、必ず端子カバーを取り付けてください(図B)。NB-2LHをお使いの場合、端子カバーの取り付けかたによって、バッテリーの充電状態を確認することができます(図C、D)。もう一度お使いになるときには、必ずフル充電してからお使いください。




- 充電しておいたバッテリーも、少しずつ自然に放電しています。使用する当日または前日にフル充電することをおすすめします。
- フル充電の状態で長期間(1年くらい)保管すると、バッテリーの寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがありますので、湿度の低い、室温(0～30℃)で保管してください。また長期間使用しないときは、1年に1回程度フル充電し、カメラで

使い切ってから保管してください。

- 電源を入れていると、機能を使わなくてもバッテリーは消耗します。こまめに電源を切ることが、使用時間を長くさせるコツです。
- バッテリーは、0～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには、10～30℃で使用することをおすすめします。スキー場などの寒冷地では、バッテリーの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなります。
- 規定の充電をしたにもかかわらず、著しく使用できる時間が低下するときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーと交換してください。

#### バッテリー残量について

バッテリーの残量が低下すると、液晶モニターに以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

	バッテリー残量が低下しています。長時間お使いになる場合は早めに充電してください。
バッテリーを交換してください	バッテリーの残量が少なく、動作不能です。直ちにバッテリーを交換してください。



バッテリー性能について → p. 153



Li-ion

- この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
- この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- この電池の回収・リサイクルについては、下記のキャノンのホームページで確認できます。  
キャノンサポートページ  
[canon.jp/support](http://canon.jp/support)
- 交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、以下へお願いします。  
製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店  
(社) 電池工業会 小型二次電池再資源化推進センター及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局\*  
\* 電話番号 03-3434-0261

#### リサイクル時のご注意

- バッテリーを分解しないでください。

## CFカードの取り扱いについて

- CFカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。
- CFカードを分解したり改造しないでください。
- 温度差の大きな場所へ急に移動するとCFカードに水滴がつき（結露）、故障の原因になることがあります。結露を防ぐには、移動の前にビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度に十分慣らしてからお使いください。  
結露したときは水滴が自然に消えるまで常温で放置してください。
- CFカードを保管するときは専用のケースに入れてください。
- CFカードは、下記の場合で使用したり保管しないでください。
  - ほこりや砂ぼこりの立つ場所
  - 高温多湿の場所

● マイクロドライブはハードディスクを使用した記録媒体であり、大容量な上に1MBあたりの単価が安いという利点があります。しかし、フラッシュメモリーを搭載したCFカードに比べると振動や衝撃に弱いので、マイクロドライブをお使いになるとき、特に記録や再生中は、カメラに振動や衝撃を加えないよう十分にご注意ください。

## CFカードを初期化する

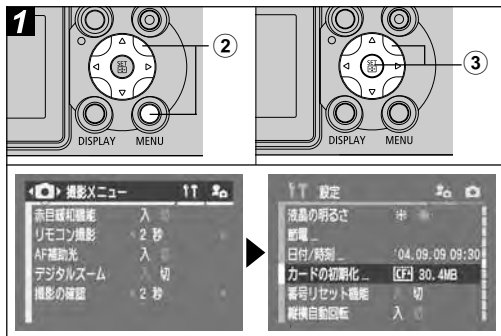
新しいCFカードをお使いになるときや、CFカード内の画像だけでなく他のデータもすべて削除したいときは、CFカードを初期化（フォーマットともいいます）します。



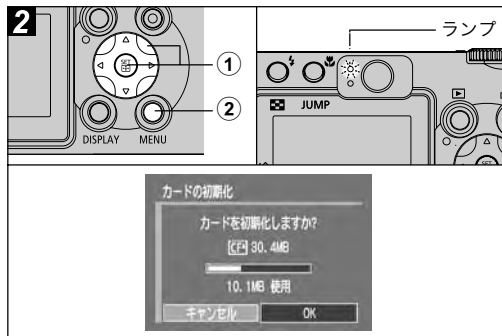
CFカードを初期化するとCFカードの記録内容はすべて消去されます。プロテクトをかけた画像も消去されますので、あらかじめ記録内容を十分に確認してから行ってください。



- カメラが正しく動作しないときは、CFカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。
- キヤノン製以外のCFカードで正しく動作しないときは、初期化することでお使いになれる場合があります。
- 他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したCFカードを使用すると正しく動作しない場合があります。このカメラで初期化してください。正しく初期化されないときは、電源を切ってからCFカードを入れ直し、再度初期化してください。
- 初期化するときお使いのCFカードの容量よりも少ない数値が表示されますが、CFカードまたはカメラの故障ではありません。



- ①電源を入れる (p. 20)
- ②MENUボタンを押し、十字ボタンの▶を押し  
[設定]メニューが表示されます。
- ③十字ボタンの▲▼で [カードの初期化] を選び、SETボタンを押し



- ①十字ボタンの◀▶で [OK] を選び、SETボタンを押し  
ランプ (上) が緑点滅し、CFカードの初期化が始まります。ランプが消えるまでお待ちください。  
●初期化を取り消すときは [キャンセル] を選び、SETボタンを押します。
- ②MENUボタンを押し

## 電源を入れる/切る

カメラに電源が入っていると、電源/モードランプが点灯します。このランプでカメラの状態がわかります。

橙点灯：撮影モード

緑点灯：再生/プリンター接続モード\*

黄点灯：パソコン接続モード\*

消 灯：電源切

\* プリンター接続モードについてはダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。パソコン接続モードについてはソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

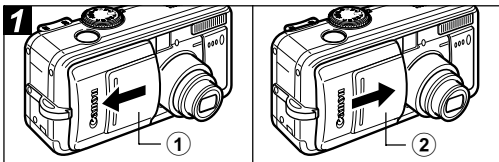


- ◆ 電源を入れると起動音が鳴り、液晶モニターに起動画面が表示されます (p. 108)。
- ◆ 撮影モード時に、液晶モニターが非表示になっているときや、カメラの端子をテレビ等に接続しているときは起動画面が表示されません。

**起動画面と起動音を消して電源を入れるには**

● ボタンを押しながら電源を入れます。

## 撮影モードで電源を入れる/切る

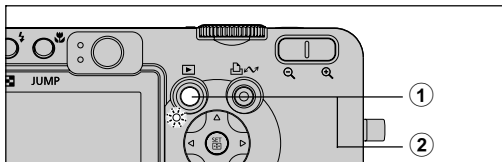


### ① レンズカバーを開く

電源が入ると、電源/モードランプが橙色に点灯します。

### ② 電源を切るときはレンズカバーを閉じる

## 再生モードで電源を入れる/切る



### ① (再生) ボタンを押す


電源が入ると、電源 / モードランプが緑色に点灯します。

### ② 電源を切るときは、もう一度 (再生) ボタンを押す

## 撮影/再生を切り換える

撮影モードと再生モードを素早く切り換えることができます。撮影直後に画像を確認したり、消去したりすることができ、またすぐに撮影に戻ることができるので便利です。


### 撮影モード ➡ 再生モード

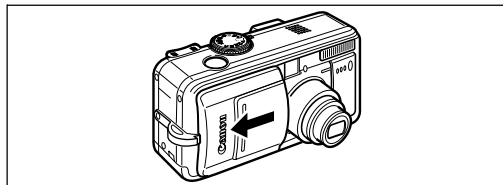
 (再生) ボタンを押します (p. 40)。

●再生モードになりますが、レンズは収納されません (レンズカバーを閉じるとレンズが収納されます)。

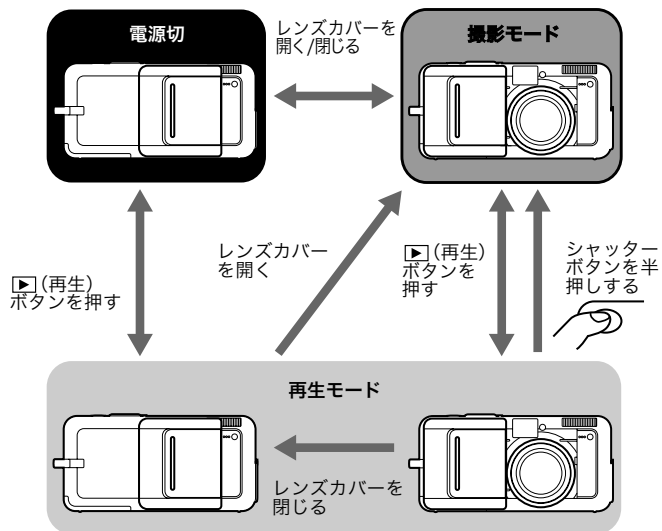
### 再生モード ➡ 撮影モード

レンズカバーを開きます。

レンズカバーが開いているときは、 (再生) ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しします。




## 撮影/再生モードを切り換える






## 日付/時刻を設定する

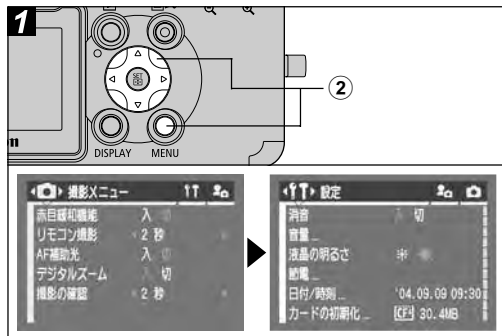
はじめてカメラの電源を入れたとき、または内蔵の充電型リチウム電池の容量がなくなったときは、手順③から操作してください。

 バッテリーを取り出してから約3週間経過すると、設定した日付/時刻がリセットされる場合があります。もう一度設定し直してください。

 日付/時刻を設定しても、画像自体に日付/時刻を入れることはできません。日付を入れてプリントしたいときは、ダイレクトプリントユーザーガイドまたはソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

### 日付/時刻用バッテリーの充電について

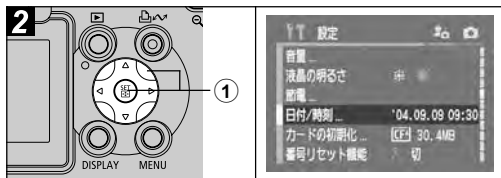
- カメラには、日付/時刻などの設定を保持するための充電型リチウム電池が内蔵されており、バッテリーを入れたときに充電されます。ご購入時に4時間程度、カメラにバッテリーを入れておくか、ACアダプターキット ACK700 (別売) を使用し、充電してください。カメラの電源が入っていないなくても充電できます。
- 電源を入れたときに日付/時刻設定画面が表示された場合は、内蔵の充電型リチウム電池の容量が少なくなっています。上記の方法で充電してください。



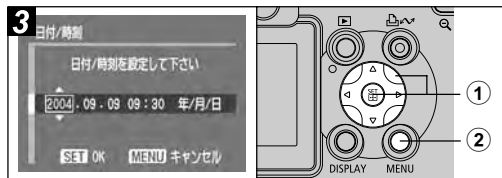
① 電源を入れる (p. 20)

② MENUボタンを押し、十字ボタンの▶を押し

[設定] メニューが表示されます。

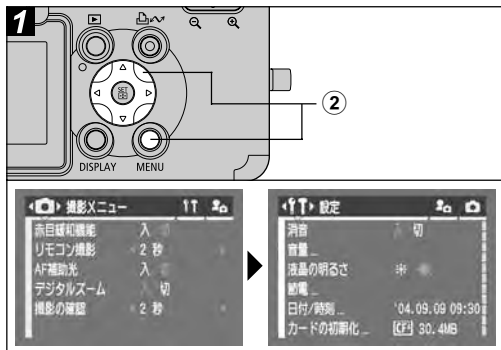


- ① 十字ボタンの▲▼で[日付/時刻]を選び、SETボタンを押す



- ① 日付と時刻を設定し、SETボタンを押す
- 十字ボタンの◀▶で設定したい項目を選び、▲▼で設定内容を変更します。
  - 2030年まで設定できます。
- ② MENUボタンを押す

## 言語を設定する

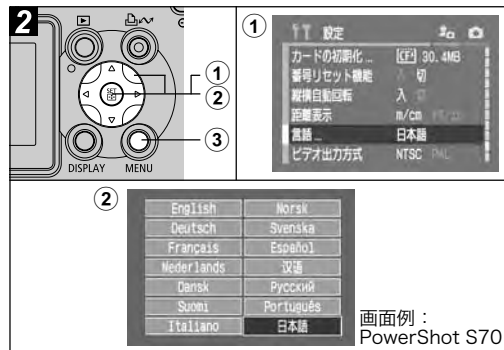


①電源を入れる (p. 20)

②MENUボタンを押し、十字ボタンの▶を  
押す

[**設定**] メニューが表示されます。

- カメラが再生モードのときは、SET ボタンを押しながらJUMPボタンを押しても言語を変更することができます。動画再生時や別売のプリンター接続時は、この操作はできません。



①十字ボタンの▲▼で[言語]を選び、SET  
ボタンを押す

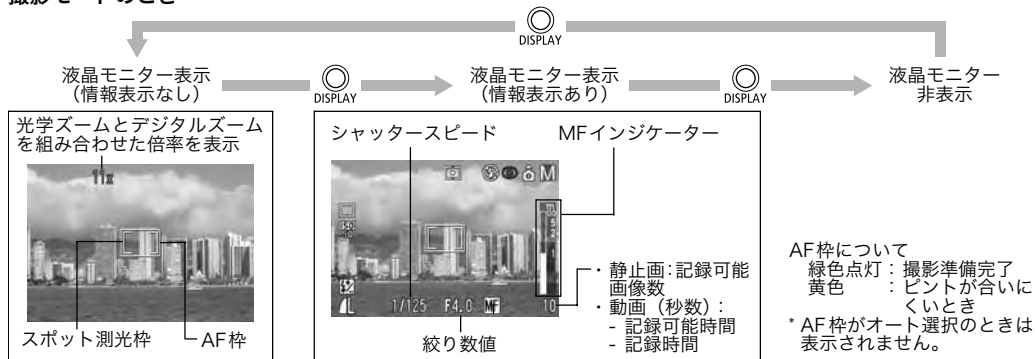
②十字ボタンの▲▼◀▶で言語を選び、SET  
ボタンを押す

③MENUボタンを押す

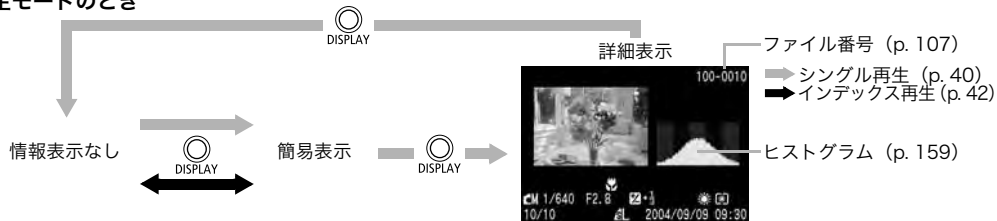
# 液晶モニターの使用かた

DISPLAY ボタンを押すと、液晶モニター表示の切り換えができます。

## 撮影モードのとき



## 再生モードのとき



## 表示内容

機能名	アイコン	撮影モード		再生モード*		参照先
		情報表示あり	情報表示なし	詳細表示	簡易表示	
撮影モード		○	— <sup>*1</sup>	○ <sup>*2</sup>	—	p. 46, 70
露出補正		○	—	○ <sup>*3</sup>	—	p. 77
AE ロック / FE ロック		○	○	—	—	p. 85, 87
測光方式		○	—	○	—	p. 76
ホワイトバランス (WB) *4		○	—	○	—	p. 78
ドライブモード		○	—	—	—	p. 51, 53, 141
ISO 感度		○	—	○	—	p. 81
色効果		○	—	○	—	p. 82
ブラケット		○	—	—	—	p. 84
ストロボ		○	—	—	—	p. 36
赤目緩和		○	—	—	—	p. 37
ストロボ調光補正		○	—	○ <sup>*3</sup>	—	p. 88
ストロボ発光量		○	—	○	—	p. 88

圧縮率		○	—	○	○	p. 34
記録画素数 (静止画)	L M1 M2 M3*5 S RAW	○	—	○	○	p. 34
記録画素数 (動画)		○	—	○	—	p. 34
RAW		○	—	○	○	p. 55
ズーム倍率*6	PowerShot S70 3.6x 4.3x 5.4x 6.9x 8.6x 11x 15x PowerShot S60 3.6x 4.6x 5.8x 7.3x 9.1x 11x 15x	○	○	—	—	p. 52
ズームインジケータ		○	○	—	—	p. 29
バッテリー残量低下		○	○	○	○	p. 17
マクロ		○	—	○	—	p. 50
縦横自動回転		○	—	—	—	p. 106
手ブレ警告		○	○	—	—	p. 28
マニュアルフォーカス		○	○	○	—	p. 94
動画撮影		○	○	—	—	p. 56
WAVE 形式の音声メモ		—	—	○	○	p. 99
動画		—	—	○	○	p. 57
プロテクト情報		—	—	○	○	p. 104

\*1 (動画) は情報表示なしでも表示されます。

\*2 **C** (カスタム) は表示されません。




\*3 設定内容の数値もあわせて表示されます。

\*4 のアイコンは、撮影モードでは表示されません。


\*5 PowerShot S70のみ

\*6 光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率です。デジタルズーム時に表示されます。「3.6x」は光学ズームの最も望遠側（テレ端）の倍率です。

画像によっては、以下の情報が表示されることがあります。

	WAVE ファイル以外の音声ファイル、または、認識できないファイルが付いています。
	DCFの規格に対応していないJPEGファイルです。
	認識できない形式のファイルです。



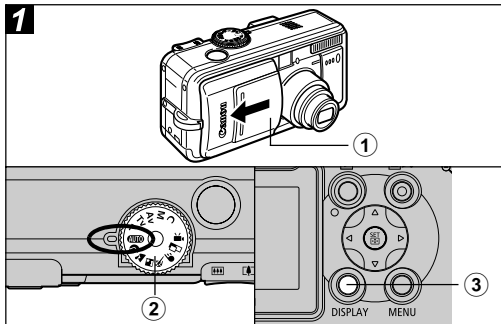
- ◆ 情報表示なしでも、撮影の設定を変更した場合は、情報が約6秒間表示されます（そのときのカメラの設定内容によって、表示されないこともあります）。
- ◆ 光量不足のときは、撮影準備完了時に液晶モニターに （手ブレ警告）が表示されます。以下のようにして撮影してください。
  - ストロボをオートまたは常時発光にする
  - 三脚などでカメラを固定する
- ◆ このカメラで撮影した画像を他のカメラで再生する場合、または他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生する場合、情報を正しく表示できないことがあります。

#### ◆ 高輝度警告について

撮影画像に露出オーバー部分があると、その個所が点滅表示されます。

以下のときに高輝度警告が表示されます。

- 液晶モニター（情報表示あり）で撮影直後に画像を確認したとき
- 再生モードで詳細表示にしたとき



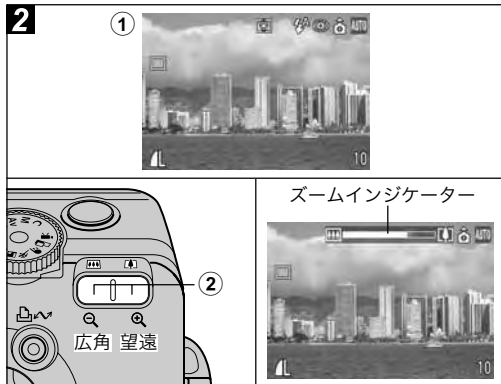
### ① レンズカバーを開く

### ② 撮影モードダイヤルを **AUTO** に合わせる

電源 / モードランプが橙色に点灯します。

- すでにレンズカバーが開いていて電源 / モードランプが緑色に点灯しているときは、再生モードになっています。▶ ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しして撮影モードに切り換えてください。

### ③ 液晶モニターが表示されていないときは、**DISPLAY** ボタンを押して表示させる

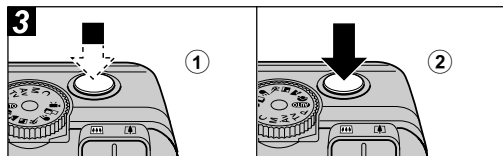


### ① カメラを写したいもの (被写体) に向ける

### ② 液晶モニターまたはファインダーを見ながらズームを調節して構図を決める

- ズームボタンの [ZOOM IN] または [ZOOM OUT] を押すとズームインジケーターが表示されます。[ZOOM IN] を押すと被写体を大きく写します (望遠)。[ZOOM OUT] を押すと被写体を小さく写します (広角)。

- 35mmフィルム換算で、28～100mmの範囲で画角を調節できます。
- デジタルズームと光学ズームを合わせて、最大約15倍に拡大して撮影できます (p. 52)。撮影モードによっては、デジタルズームが使えないことがあります (p. 166)。デジタルズームは、拡大するほど画像が粗くなります。



### ① シャッターボタンを浅く押して (半押し) ピントを合わせる

撮影準備が完了すると「ピピッ」と電子音が鳴り、液晶モニターに緑色のAF枠が点灯します。

- ピントが合いにくいときは「ピッ」と電子音が鳴り、AF枠が黄色になります。AF枠がオート選択のときは、AF枠は表示されません。
- シャッタースピードと絞り数値が自動的に決まり、液晶モニターに表示されます。また、露出 (p. 77)、フォーカスを自動設定します。

### ② シャッターボタンを深く押して (全押し) 撮影する

撮影が終了するとシャッター音が鳴ります。シャッター音が鳴るまでカメラを動かさないでください。撮影した画像が約2秒表示されます。





- ◆このモードで変更できる設定 (p. 166)
- ◆撮影した画像はいったん内部メモリーに保存され、順次CFカードに書き込まれていきます。内部メモリーに空きがあるときは、撮影後すぐに次の撮影ができます。
- ◆CFカード記録中はランプ(上)が緑色に点滅します。
- ◆電子音、シャッター音の【入/切】はメニューで設定できます (p. 66)。
- ◆ストロボ充電中は撮影できません。
- ◆撮影直後に、液晶モニターに撮影画像が表示される時間を変更したり、表示されないように設定できます (p. 32)。

### AF補助光について

- ◆暗い場所などでシャッターボタンを半押ししたとき、ピントを合わせやすくするために、AF補助光投光部が光ることがあります。
- ◆AF補助光を切ることもできます。(p. 65)  
例えば、暗い場所で動物を撮るときなど、AF補助光で動物を驚かせて逃がすことなく撮影できます。ただし、以下のことに注意してください。
  - AF補助光を切ると、暗い場所などでピントが合いにくくなることがある
  - AF補助光を切っても、シャッターボタンを半押しすると赤目緩和ランプが光ることがあるストロボが発光する前に何も光らないように

するためには、撮影メニューの赤目緩和機能とAF補助光を【切】にしてください。

### ファインダーの使いかた

液晶モニターを非表示にし (p. 26)、ファインダーを使って撮影すると消費電力を抑えることができます。

- ファインダーの視野率\*は、約80%です。  
\*実際に撮影される範囲に対して、ファインダーで確認できる範囲の比率です。



画像中央部を示す  
目安です。



### ファインダーで見える範囲と撮影範囲の違いについて

ファインダーを使って撮影するときは、ファインダーの特性上、ファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲にズレ(パララックス)が生じます。特に被写体の距離が近い場合には、パララックスが大きくなり、ファインダーで見える範囲でも撮影されない場合があります。マクロモードでは、液晶モニターを使って撮影してください。

### AF枠を選択しているとき

液晶モニターを使って撮影することをおすすめします。AF枠を任意の位置に設定して撮影するときは、液晶モニターをつけてください。(AF枠の選択方法→p. 74)

## 撮影直後に画像を確認する


### 撮影モードダイヤル

AUTO      Tv Av M


撮影直後に約2秒間、撮影した画像を表示します（表示時間は変更できます）。また、次の方法で設定時間にかかわらず画像を表示し続けます。

シャッターボタンを全押しし続ける

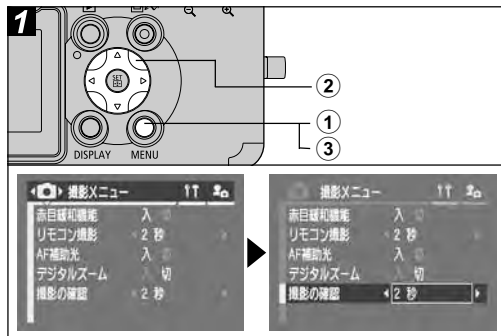
撮影した画像が表示されている間にSETボタンを押す\*  
シャッターボタンを半押しすると解除され、撮影できます。

 撮影した画像が表示されている間に次のようなことができます。\*


- ◆ 画像の詳細情報を表示する（p. 26）
- ◆ 画像を拡大表示する（p. 41）
- ◆ 記録形式を変更する（p. 33）
- ◆ 画像を消去する（p. 44, 45）
- ◆ 音声を録音する（p. 99）

\*  では操作できません。

## 撮影した画像の確認時間を変更する



① 撮影モードで電源を入れ（p. 20）、MENUボタンを押す

[ (撮影)] メニューが表示されます。

② 十字ボタンの▲▼を押して【撮影の確認】を選び、◀▶を押して確認時間を選ぶ

切：画像は表示されません。

2秒～10秒：シャッターボタンを放しても設定した時間、画像が表示されます。

### ③ MENU ボタンを押す

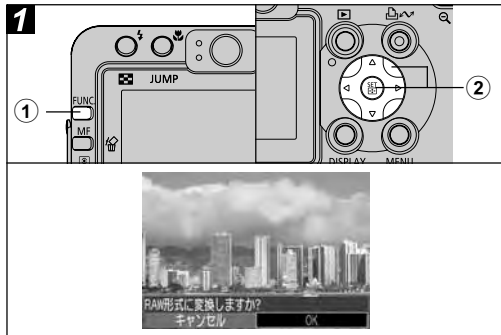
- 画像の表示中でもシャッターボタンを押すと撮影できます。

#### 撮影直後に記録形式を変更する

撮影モードダイヤル


**P Tv Av M**

撮影直後に以下の操作を行うと、JPEG形式で撮影した画像をRAW形式（p. 158）で記録できます。RAW形式で保存すると画像を劣化させることなく、ホワイトバランス、色効果、記録画素数などを、再度パソコンを使って好みの画像に加工しやすくなります。



- ① 撮影直後、液晶モニターに画像が表示されている間にFUNC.ボタンを押す
- ② 十字ボタンの◀▶で[OK]を選び、SETボタンを押す

- シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に戻ります。

すでに記録形式にRAWが選ばれているとき、またはデジタルズームを使って撮影したときは、この操作を行うことができません。

## 記録画素数と圧縮率を変更する

### 撮影モードダイヤル



目的に応じて、記録画素数、圧縮率（静止画）を変更できます。CCDのオリジナルデータを記録したい場合は、RAWを選んでください（p. 55）。

### 静止画のとき

#### PowerShot S70

記録画素数		撮影の目安
画面表示	画素数	
L (ラージ)	3072×2304	大 ↑ ●A4サイズ以上をプリント ●A4サイズまでプリント ●Lサイズ/A5サイズをプリント ●電子メールで画像を送信 ●より多くの画像を撮影する ↓ 小
M1(ミドル1)	2592×1944	
M2(ミドル2)	2048×1536	
M3(ミドル3)	1600×1200	
S (スモール)	640 × 480	

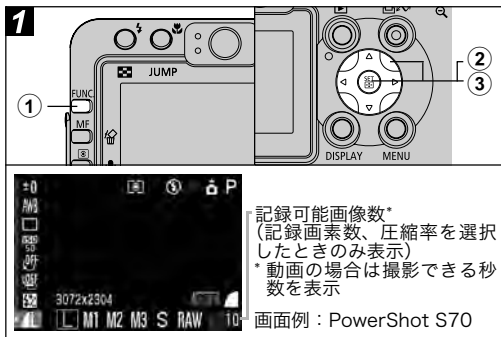
#### PowerShot S60

記録画素数		撮影の目安
画面表示	画素数	
L (ラージ)	2592×1944	大 ↑ ●A4サイズ以上をプリント ●A4サイズまでプリント ●Lサイズ/A5サイズをプリント ●電子メールで画像を送信 ●より多くの画像を撮影する ↓ 小
M1(ミドル1)	2048×1536	
M2(ミドル2)	1600×1200	
S (スモール)	640 × 480	

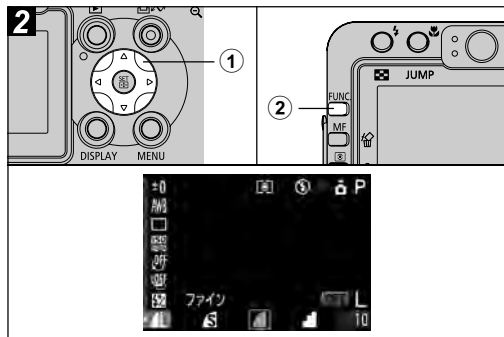
圧縮率		撮影の目安
スーパーファイン	きれい ↑	
ファイン	普通	通常の撮影をする
ノーマル	↓	より多くの画像を撮影する

### 動画のとき

記録画素数	
640	640 × 480 画素
320	320 × 240 画素
160	160 × 120 画素



- ① FUNC. ボタンを押す
- ② 十字ボタンの▲▼で **画素数** (3072×2304または2592×1944) を選ぶ  
\* 現在の設定が表示されます。
- ③ 十字ボタンの ◀▶ で設定したい記録画素数を選び、SET ボタンを押す



- ① 続けて十字ボタンの ◀▶ で設定したい圧縮率を選ぶ
  - 設定した後シャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示されます。
  - 1画像の容量 (目安) について (p. 156)
  - CFカードの種類別、記録可能画像数について (p. 154)
- ② FUNC. ボタンを押した後、撮影する

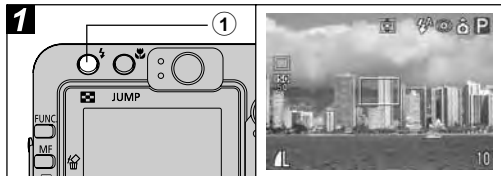
## ⚡ストロボを使って撮る

### 撮影モードダイヤル

**AUTO** **P Tv Av M**

撮影状況に合わせて、ストロボを使って撮影できます。

	赤目緩和 オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光します。 ストロボ発光の際には常に赤目緩和ランプを発光します。
	オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光します。
	常時発光 (赤目緩和)	常に赤目緩和ランプとストロボを発光します。
	常時発光	常にストロボを発光します。
	発光禁止	ストロボは発光しません。



### ① ⚡ボタンを押してストロボの設定を切り換え、撮影する

液晶モニターに現在の設定内容が表示されます。

- ⚡ボタンを押すたびに設定が切り換わります。撮影モードによっては切り換わらないこともあります。

#### 赤目緩和機能【入】のとき



#### 赤目緩和機能【切】のとき

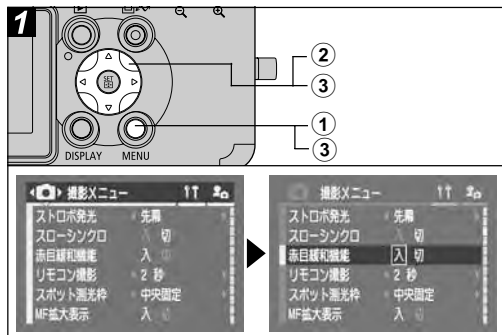


## 赤目緩和機能を設定する

撮影モードダイヤル

AUTO [カメラアイコン] [動画アイコン] [撮影アイコン] [ズームアイコン] [AFアイコン] [P Tv Av M]

暗いところでストロボを発光するとき、赤目緩和ランプを発光します。ストロボの光が目反射して目が赤く光るのを防ぎます。



- 1 撮影モードで電源を入れ (p. 20)、MENUボタンを押す

[ (撮影)]メニューが表示されます。

- 2 十字ボタンの▲▼で[赤目緩和機能]を選ぶ

- 3 十字ボタンの◀▶で[入]を選び、MENUボタンを押す

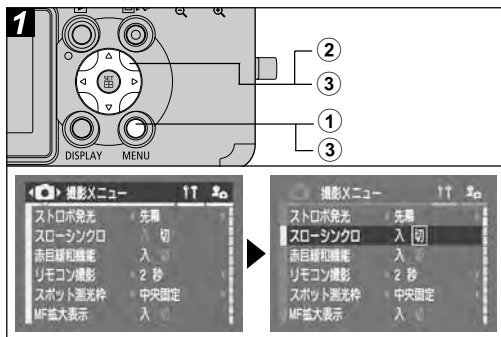
- 情報表示ありのときは、液晶モニターにが表示されます。
- 赤目緩和で撮影するときは、写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るように声をかけてください。また、「レンズを広角側にする」「室内を明るくする」「写したい人に近づく」とより効果が上がります。

## スローシンクロを設定する

撮影モードダイヤル

[カメラアイコン] P Av

遅いシャッタースピードで、ストロボを発光して撮影します。夜景や室内の照明を利用した撮影などで、背景だけが暗くなるのを軽減できます。



- ① 撮影モードで電源を入れ (p. 20) 、MENUボタンを押す  
[ (撮影) ]メニューが表示されます。
- ② 十字ボタンの▲▼で[スローシンクロ]を選ぶ
- ③ 十字ボタンの◀▶で[入]を選び、MENUボタンを押す

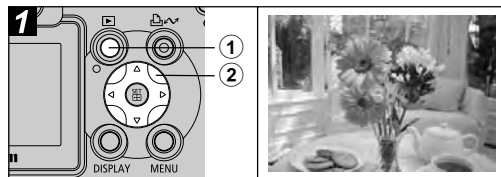
ISO感度を上げてストロボ撮影する場合、被写体との距離が近いほど、白飛びしやすくなります。



- ◆ 撮影メニューの[ストロボ自動調光]が[入]のときは、自動調光で発光します。**M**または[ストロボ自動調光]が[切]のときはマニュアル発光します。
- ◆ [ストロボ自動調光]が[入]のとき、ストロボの発光はプリ発光(ストロボ撮影に必要な露出情報を得るための予備的な発光)とメイン発光(ストロボ撮影を行うための発光)の2回行われます。プリ発光で得た被写体の露出情報をもとにして、メイン発光に必要な発光量が決められ、最適な発光量でストロボ撮影が行われます。
- ◆ ストロボ発光時に有効なシャッタースピードは、最高で1/250秒です。1/250秒よりも高速のシャッタースピードを設定した場合は、自動的に1/250秒に再設定され、撮影されます。
- ◆ ストロボ充電中は撮影できません。
- ◆ ストロボの充電には約10秒かかる場合があります。充電時間は使用状況や電池の容量などにより変わります。
- ◆ ストロボ調光補正量、ストロボ発光量を変えられます (p. 88)。



- ◆ [スローシンクロ] を [入] にして撮影すると手ブレしやすくなります。三脚をお使いになることをおすすめします。
- ◆ **P**、**Tv**、**Av**、**M** の場合、設定したストロボモードは、カメラの電源を切っても解除されません。



**!** 他のカメラで撮影したり、パソコンまたは他のアプリケーションソフトウェアで編集した画像は、カメラで再生できないことがあります。

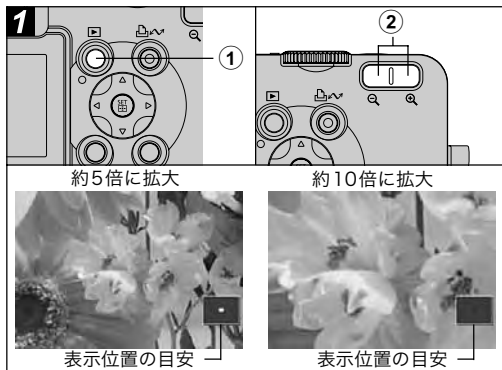
#### ① ▶ ボタンを押す

最後に撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

#### ② 十字ボタンの◀▶で表示画像を切り換える




- ◀で前の画像、▶で次の画像が表示されます。ボタンを押し続けると早く進みます。ただし、表示される画像は粗くなります。
- **JUMP** ボタンを押して切り換えることもできます (p. 43)。
- **DISPLAY** ボタンを押すと、表示されている画像の情報が表示されます (p. 26)。
- **儉** ボタンを押すと、表示されている画像を簡単に消去できます (p. 44)。

## ④ 拡大して見る



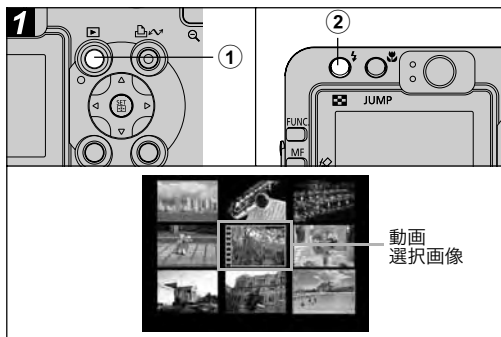
### ① ボタンを押す

### ② ズームボタンの を押すと拡大表示され、 を押すと拡大表示が解除される

- シングル再生で表示している画像を、最大約10倍に拡大表示できます。**SET** ボタンを押しながらズームボタンの  を押すと、画像が約2.5倍→約5倍→約10倍の順に拡大表示されます。
- 十字ボタンの  または  で表示位置を変更できます。

- 動画、インデックス再生時は拡大表示できません。
- 撮影直後に表示される画像も、拡大して見ることができます (p. 32)。

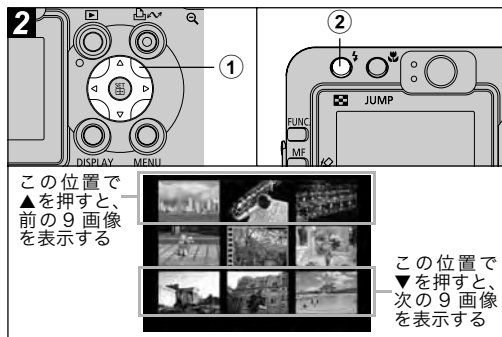
## 9画像ずつまとめて見る（インデックス再生）



① ボタンを押す

② ボタンを押す

- 9画像ずつまとめて表示されます(インデックス再生)。
- ズームボタンの を押してインデックス再生にすることもできます。



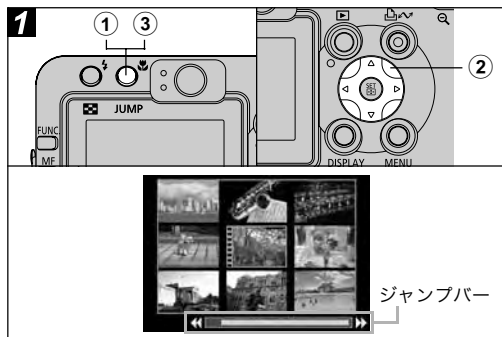
① 十字ボタンの または で選択画像を切り換える

- **DISPLAY** ボタンを押すと、選択されている画像の情報が表示されます (p. 26)。

② ボタンを押す

- インデックス再生を終了し、シングル再生に戻ります。
- ズームボタンの を押してシングル再生に戻すこともできます。

## JUMP 9 画像ごとに表示を切り換える



### ① シングル再生時 (p. 40) またはインデックス再生時 (p. 42) に、JUMP ボタンを押す

ジャンプバーが表示されます。

- インデックス再生時に、ズームボタンの **Q** を押してジャンプバーを表示させることもできます。

### ② 十字ボタンの ◀▶ で画像を切り換える

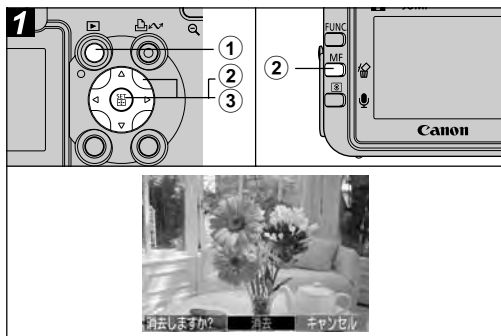
- シングル再生のとき：前または次の 10 画像目が表示されます。
- インデックス再生のとき：前または次の 9 画像が表示されます。

### ③ JUMP ボタンを押す

ジャンプバーが消え、シングル再生またはインデックス再生に戻ります。

- インデックス再生時に、ズームボタンの **Q** を押してジャンプバーを消すこともできます。

消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。



- 消去を取り消すときは[キャンセル]を選びます。
- プロテクトされている画像は消去できません (p. 104)。

#### ① ▶ ボタンを押す

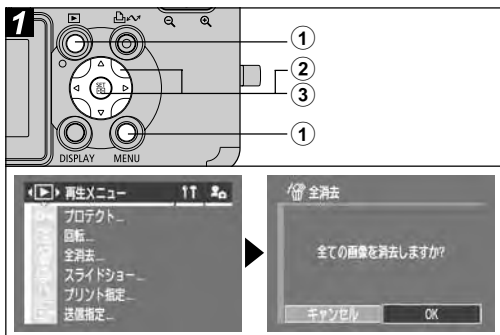
最後に撮影した画像が表示されます。

#### ② 十字ボタンの◀▶で消去したい画像を選び、🗑️ ボタンを押す

#### ③ 十字ボタンの◀▶で[消去]を選び、SET ボタンを押す

## 全画像を消去する


消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。



- ① **▶ ボタンを押して再生モードにし、MENUボタンを押す**  
[▶ (再生)] メニューが表示されます。
- ② **十字ボタンの▲▼で [全消去] を選び、SETボタンを押す**

- ③ **十字ボタンの◀▶で [OK] を選び、SETボタンを押す**

- 消去を取り消すときは [キャンセル] を選びます。

 [全消去] を行うと、CFカード内に記録されている画像データをすべて消去します。プロテクトされている画像は消去できません (p. 104)。画像データだけでなく、CFカードの記録内容をすべて消去したいときは、CFカードを初期化してください (p. 18)。

被写体に合う条件を撮影モードダイヤルで簡単に設定できます。

## 風景



広がりや奥行のある風景を撮影できます。

## ポートレート



背景をぼかして人物を浮き立たせます。

## 動画 → p. 56

動画を撮影できます。音声も同時に録音されます。



スティッチアシスト  
→ p. 48



撮影した画像を合成してパノラマ画像を作れます。

## 夜景



夕暮れや夜景をバックにした人物を撮影できます。人物にストロボ光をあて、遅いシャッタースピードで撮影するため、人物と背景のそれぞれをきれいに撮影できます。

## 高速シャッター



動きの速い被写体を撮影できます。

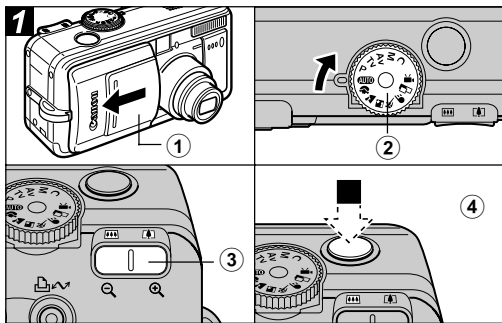
## スローシャッター



動いている被写体をぶれさせたり、川の流れなどを撮影できます。







- ① 撮影モードで電源を入れる (p. 20)
- ② 撮影モードダイヤルを回し、使いたい機能を図のように合わせる
- ③ 被写体にカメラを向け、ズームボタンで被写体の大きさを決める
- ④ シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- 撮影手順は「**AUTO** 撮影する (オート)」(p. 29)と同じです。

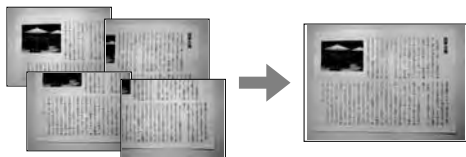
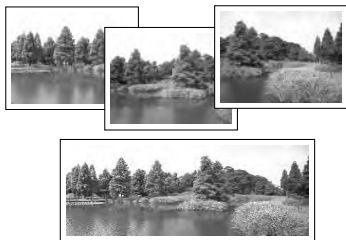


- 各撮影モードで変更できる設定 (p. 166)
- 撮影モードについて

	被写体の上半身が液晶モニターまたはファインダーいっぱいになるようにすると、背景を効果的にぼかすことができます。
	レンズを望遠側にすると背景をさらにぼかすことができます。
	シャッタースピードが遅くなりやすいので、液晶モニターに  (手ブレ警告) が表示されたら三脚を使用してください。
	シャッタースピードが遅くなります。ストロボが発光してもすぐに動かないように、写される人に声をかけてください。
	日中に撮影すると、 <b>AUTO</b> と同じ撮影効果になります。
	スローシンクロが自動的に [入] になります。手ブレを防ぐために必ず三脚をお使いください。
	被写体が暗い場合はノイズが目立つことがあります。
	手ブレを防ぐために必ず三脚をお使いください。

## 📷 パノラマ画像を撮る（スティッチアシスト）

撮影した画像をパソコンで合成（スティッチ）し、パノラマ画像を作るときに使います。



パソコンでの画像合成には、付属のソフトウェア「PhotoStitch」をお使いください。

### 被写体のとらえかた

PhotoStitch は隣り合う画像の共通部分を見つけて合成処理を行います。共通部分にはできるだけ特徴のある被写体（目印となる被写体）を入れて撮影してください。









- 📷 隣り合う画像の共通部分は、画像の幅の 30～50% になるように撮影します。また、上下のズレは画像の高さの 10% 以内で撮影します。
- 共通部分には、動いている被写体などが入らないように注意してください。
- 遠くの被写体と近くの被写体が混在する画像をスティッチしないでください。物体がゆがんだり、二重に写ったりすることがあります。
- 撮影時の明るさはできるだけ揃えてください。画像の明るさが違いすぎると、不自然な画像になってしまうことがあります。
- 遠くの風景を撮るときは、カメラを中心に回転して撮影します。

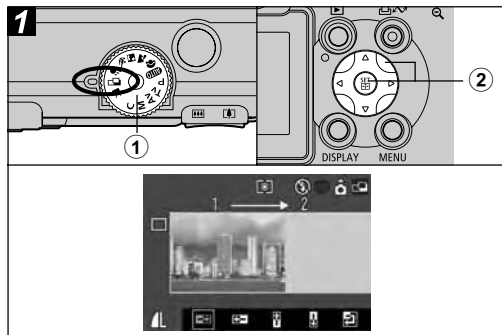
- ◆至近距離では、カメラをスライド（カメラを被写体に対して平行移動）させます。

## 撮影する

スティッチアシストには、次の5つの撮影方向があります。

	左から右方向へ水平に撮影します。
	右から左方向へ水平に撮影します。
	下から上へ垂直に撮影します。
	上から下へ垂直に撮影します。
	左上を基点に時計回りに撮影します。

- ◆このモードで変更できる設定（p. 166）
- ◆マニュアルホワイトバランス（p. 79）の場合、では基準となる白データの取り込みができません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。
- ◆2画像目以降の撮影では最初の撮影の設定が保持されます。
- ◆テレビと接続しても、画像をテレビに表示して撮影することはできません。



### ① 撮影モードダイヤルを にする

液晶モニターが付きます。

### ② 十字ボタンの ◀▶ で撮影方向を選び、SET ボタンを押す

撮影方向が設定されます。

- SET ボタンを押さずにシャッターボタンを押して撮影することもできます。

### ③ 最初の画像を撮影する


- 1画像目の撮影で露出やホワイトバランスがロックされます。

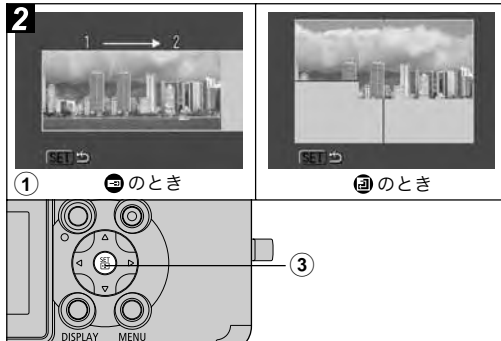
## 🌸 至近距離で撮る（マクロ）

撮影モードダイヤル

AUTO      Tv Av M

レンズ先端から被写体までの距離が4～44cm（ワイド端） / 30～44cm（テレ端）のときは、マクロモードで撮影します。

-  マクロモードでは、必ず液晶モニターを使って撮影してください。ファインダーを使っても撮影できますが、その場合は撮影範囲がずれます（p. 31）。
- 被写体に最も近づいたときの撮影範囲は、ワイド端で64×47mm、テレ端では、106×80mmとなります。
- ストロボをお使いになると、画像の明るさが適切にならないことがあります。



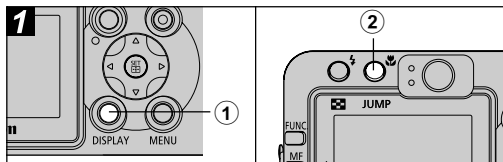
### ① 最初の画像に重ね合わせ、次の画像を撮影する

- 画像が重なる部分は、多少ずれても合成時に修正されます。
- 十字ボタンの ▲▼◀▶ を押すと撮影済みの画像に戻り、撮影のやり直しができます。
- 水平 / 垂直方向の撮影では、最大26画像まで撮影できます。

### ② 同様の操作で3画像目以降を撮影する

### ③ 最後の画像の撮影後、SETボタンを押す

## セルフタイマーで撮る



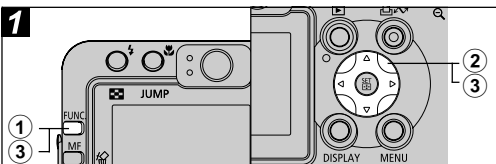
① DISPLAYボタンを押して液晶モニターをつける

② 花ボタンを押す

- 液晶モニターに花が表示されます。
- もう一度花ボタンを押すと、マクロモードを解除できます。

撮影モードダイヤル

AUTO P Tv Av M



① FUNC.ボタンを押す

② 十字ボタンの▲▼で□\* (ドライブモード) を選ぶ

\* 現在の設定が表示されます。

③ 十字ボタンの◀▶でまたはを選び、FUNC.ボタンを押す

## デジタルズームで撮る

### 撮影モードダイヤル

AUTO     P Tv Av M






光学ズームと組み合わせて、次の倍率（目安）に拡大できます。

PowerShot S70

4.3倍、5.4倍、6.9倍、8.6倍、11倍、15倍

PowerShot S60



4.6倍、5.8倍、7.3倍、9.1倍、11倍、15倍

-  はシャッターボタンを全押ししてから10秒後に、 は2秒後に撮影されます。
-  を選んだときは、シャッターボタンを全押しするとセルフタイマー音が鳴り、セルフタイマーランプが点滅します。撮影2秒前になると点滅が速くなります。
-  を選んだときは、シャッターボタンを全押しするとセルフタイマーランプが最初から速く点滅し、2秒後に撮影されます。
- セルフタイマー音は、[  (マイカメラ) ] メニューの[セルフタイマー音]で変更できます(p. 68)。

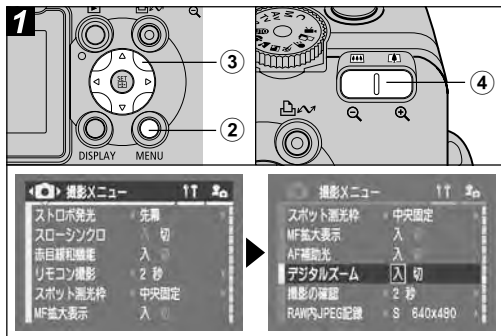










ワンポイントアドバイス (p. 158)



- ◆ デジタルズームは、拡大するほど画像が粗くなります。
- ◆ 光学ズームの最も望遠側まで拡大すると、いったん停止します。もう一度ズームボタンの  を押すと、さらに拡大できます。
- ◆ ズームボタンの  を押すと、倍率が下がります。

## 連続して撮る







- ① 撮影モードダイヤルを  と  以外の任意の位置にする
- ② MENU ボタンを押し、 [撮影] メニューを表示させる
- ③ 十字ボタンの   で [デジタルズーム] を選び、  で [入] を選んで MENU ボタンを押す
- ④ ズームボタンの  を押した後、撮影する

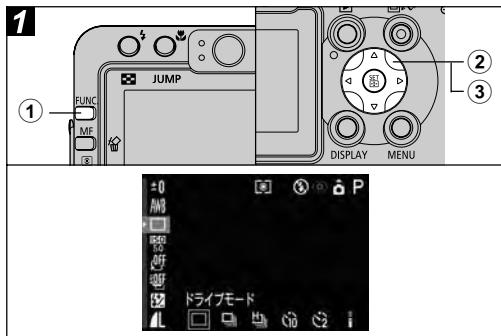
### 撮影モードダイヤル

    P Tv Av M

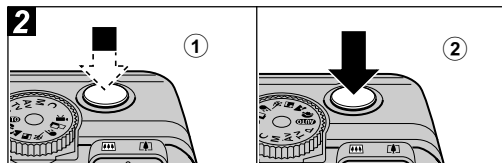
シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影します。

	通常連続撮影	画像を確認しながら連続撮影したいときにおすすめします。ただし、シャッター間隔は  より長くなります。
	高速連続撮影	短いシャッター間隔で連続撮影したいときにおすすめします。ただし、画像を確認しながら連続撮影できません。

-  内部メモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなります。
- ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間がかかるため撮影間隔が長くなります。



- ① FUNC.ボタンを押す
- ② 十字ボタンの▲▼で□\* (ドライブモード) を選ぶ  
\* 現在の設定が表示されます。
- ③ 十字ボタンの◀▶で📷または📷を選ぶ



- ① シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる
- ② シャッターボタンを全押しし続けて撮影する

- シャッターボタンを放すと撮影が終了します。
- 連続撮影速度は以下のようになります。\*

#### PowerShot S70

📷のとき…約1.2画像/秒

📷のとき…約2.0画像/秒

#### PowerShot S60

📷のとき…約1.5画像/秒

📷のとき…約2.0画像/秒

\* ラージ/ファイン、液晶モニター非表示時  
(当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。)



## 記録形式を変更する

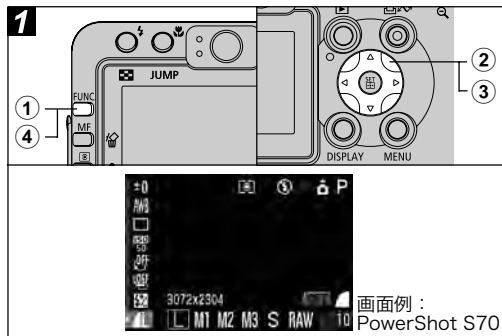
撮影モードダイヤル

**P Tv Av M**

あらかじめ記録形式をRAWに変更してから撮影できます。RAW形式で撮影すると、非圧縮ファイルと同等の、データ劣化がまったくない高品質な画像が得られます。

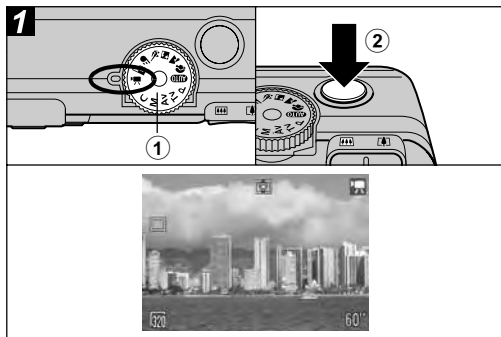
RAW形式を選択すると、記録画素数は、3072 × 2304 (PowerShot S70)、2592 × 1944 (PowerShot S60)、圧縮率は■(ノーマル)に固定されます。

- RAW形式について (p. 158)
- RAW形式のファイルに内蔵されるJPEG形式の確認用(サムネイル)画像の記録画素数を選べます。カメラでRAW形式の画像を拡大表示して、ピントや手ブレを確認するときに便利です (p. 65)。
- JPEGで撮影した画像でも、撮影直後の画像表示中であればRAW形式に変更できます (p. 33)。



- FUNC. ボタンを押す**
- 十字ボタンの▲▼で■L\* (3072 × 2304 または2592 × 1944) を選ぶ**  
\* 現在の設定が表示されます。
- 十字ボタンの◀▶でRAWを選ぶ**
  - 設定した後シャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また撮影後は、もう一度記録形式選択画面が表示されます。
- FUNC. ボタンを押す**

## 動画撮る



### ① 撮影モードダイヤルを動画にする

記録可能時間（秒数）が表示されます。

### ② シャッターボタンを全押しする

- 撮影中は、液晶モニター右上に赤丸が表示されます。
- 1回の撮影での最長撮影時間は、 $\frac{60}{1}$ ：30秒（10フレーム/秒）、 $\frac{30}{1}$ ・ $\frac{15}{1}$ ：3分（15フレーム/秒）です。  
最長撮影時間は、当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。この時

間が経過するか、CFカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。



- 以下のようなCFカードをお使いのときは、撮影中に正しい撮影時間が表示されなかったり、撮影が途中で中断することがあります。
  - 書き込み速度が遅い
  - 他のカメラやパソコンで初期化した
  - 撮影/消去を繰り返した撮影時間が正しく表示されないときも、CFカードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。CFカードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます（書き込み速度の遅いCFカードを除く）。
- 撮影中はマイクに触れないようにしてください。
- 撮影後にランプ（上）が緑点減し、データを記録します。このときは撮影できません。



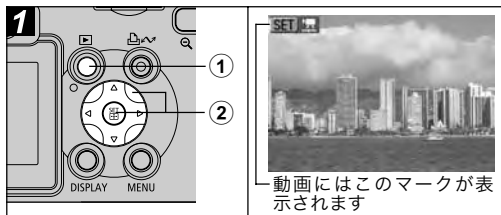
- ◆このモードで変更できる設定 (p. 166)
- ◆記録画素数について (p. 34)
- ◆音声はモノラルで録音されます。
- ◆動画撮影時はシャッター音が鳴りません。
- ◆動画ファイル (ファイル形式: AVI、圧縮形式: Motion JPEG) をパソコンで再生するには、QuickTime 3.0以上が必要です (付属のCanon Digital Camera Solution Diskには、Windows版のQuickTimeが収められています。なお、Mac OS 8.5以降には標準装備されています)。

## 動画を見る / 編集する

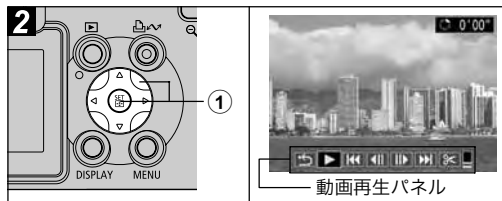
📺で撮影した動画を再生したり、前や後の不要な部分を削除できます。



- プロテクトされている動画は編集できません (p. 104)。
- 編集した動画を新規保存するとき、約3分かかることがあります。途中でバッテリーがなくなると、編集した動画を保存できないことがあります。動画を編集するときは、フル充電のバッテリーまたはACアダプターキットACK700 (別売) をお使いになることをおすすめします。



- ① ボタンを押して再生モードにする
- ② 十字ボタンの で動画を選び、SET ボタンを押す



- ① 動画再生パネルのボタンを十字ボタンの で選び、SET ボタンを押す

#### 動画再生パネル

- (終了)：手順 **1** の画面に戻る
- (再生)：動画と音声の再生開始
- (先頭フレーム)：最初のフレームを表示
- (フレーム戻し)：SET ボタンを押し続けると巻き戻し
- (フレーム送り)：SET ボタンを押し続けると早送り
- (最終フレーム)：最後のフレームを表示
- (編集)：動画の編集→手順 **3**

#### 再生中の操作

- ：再生中の音量を調節
- SET：再生の一時停止  
もう一度押すと再生開始

### 再生が終了すると

最後のフレームが表示されたままで停止します。

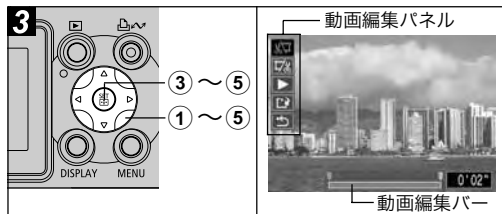
**SET**：動画再生パネルを表示

もう一度押すと最初のフレームから再生開始

- パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声途切れることがあります。
- 設定メニューでも動画の再生音量を調節できません。
- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください。



- 他カメラで撮影した動画は、再生や編集ができない場合があります。



### ① 動画編集パネルのボタンを十字ボタンの▲▼で選ぶ

- (前部を削除)：動画の前部を削除
- (後部を削除)：動画の後部を削除
- ▶ (再生)：仮編集した動画を再生
- (保存)：動画を保存
- (終了)：動画編集を中止し、手順**2**の画面に戻る

- 編集前の長さが1秒以上の動画を、1フレーム単位で編集できます。


### ② ◀▶で削除する位置を選ぶ

③ ▲▼で  を選び、SETボタンを押す

仮編集した動画が再生されます。

- SETボタンを押すと再生を停止します。

④ ▲▼で  を選び、SETボタンを押す

-  を選ぶと編集内容を保存せずに手順②の画面に戻ります。

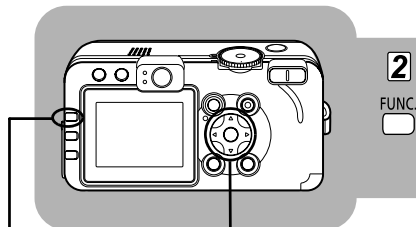
⑤ ◀▶で [上書き保存] または [新規保存] を選び、SETボタンを押す

上書き保存：編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。

新規保存：編集した画像に新しいファイル名をつけて保存されます。編集前のデータは残ります。

- CFカードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。このとき、動画編集バーのカウンターに▲が表示されます。

FUNC. ボタンを押して設定する（撮影モードのとき）



- 1 撮影モードにする (p. 20)
- 2 FUNC. ボタンを押す
- 3 ▲▼で項目を選ぶ
- 4 ◀▶で設定したい内容を選ぶ
- 5 FUNC. ボタンを押す
- 6 撮影する

3 ▲▼で項目選択

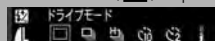
露出補正 (±0) → p. 77



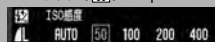
ホワイトバランス (AWB) → p. 78



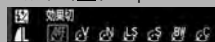
ドライブモード ( ) → p. 51, 53



ISO感度 ( ) → p. 81



色効果 ( ) → p. 82



4 ◀▶で設定内容選択

ブラケット ( ) → p. 84



ストロボ調光補正 (±0) → p. 88



ストロボ発光量 → p. 88



記録画素数 (L) → p. 34



画面例：PowerShot S70

圧縮率 ( ) → p. 34



記録画素数・動画 ( ) → p. 34



5

FUNC.

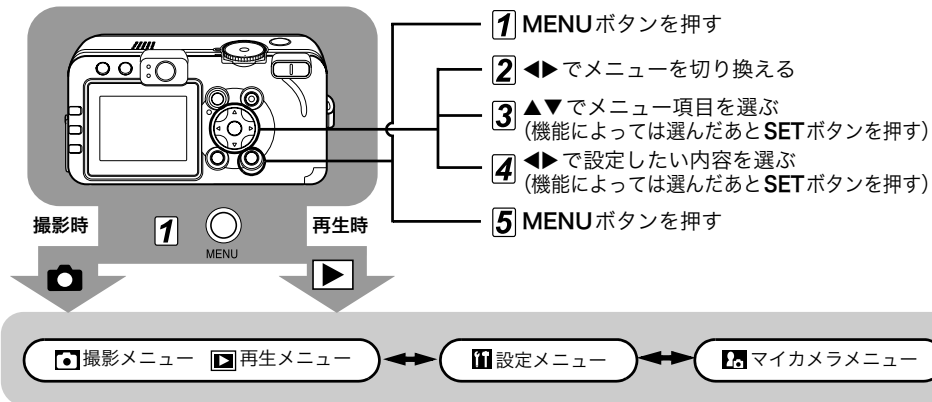


6

撮影する

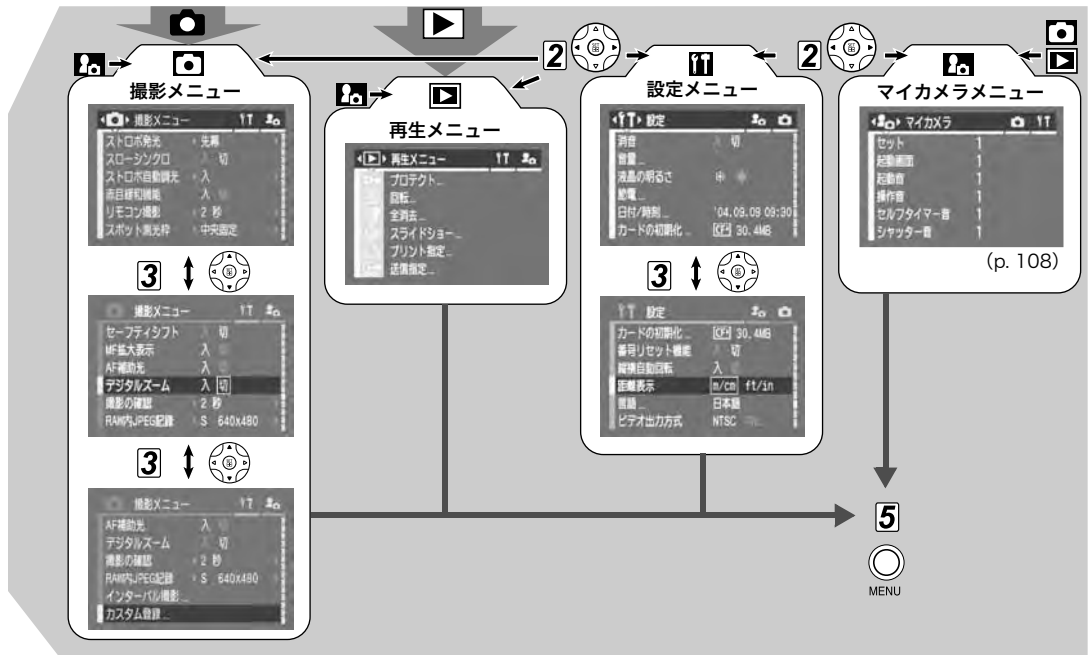
( ) は初期設定値

## MENUボタンを押して設定する



撮影モードのときは、シャッターボタンを半押ししてもメニューを終了できません(再生モードでレンズカバーを開いているときにシャッターボタンを半押しすると、メニューが終了し、撮影モードになります)。





(p. 108)



- ◆撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります (p. 166)。
- ◆マイカメラメニューの設定内容 **18** と **19** には、好きな画面や音を登録できます。詳しくは「マイカメラコンテンツを新規登録する (p. 109)」、またはソフトウェアクイックガイドをご覧ください。
- ◆カメラの設定を初期設定に戻せます (p. 69)。

## 📷撮影メニュー

メニュー項目	内容	参照先
ストロボ発光	ストロボ発光のタイミングを設定します。 <b>先幕* / 後幕</b>	p. 89
スローシンクロ	遅いシャッタースピードでストロボ発光するかしないかを設定します。 <b>入 / 切*</b>	p. 37
ストロボ自動調光	ストロボの自動調光をするかしないかを設定します。 <b>入* / 切</b>	p. 88
赤目緩和機能	ストロボ発光のとき、赤目緩和ランプを発光するかしないかを設定します。 <b>入* / 切</b>	p. 37
リモコン撮影	リモコンのシャッターボタンを押してから撮影されるまでの時間を設定します。 <b>0秒 / 2秒* / 10秒</b>	p. 140
スポット測光枠	測光方式で[スポット測光枠]を選んだとき、測光を中央枠内に固定するか、指定された AF 枠内にするかを選択します。 <b>中央固定* / AF 枠連動</b>	p. 76

\* 初期設定

メニュー項目	内容	参照先
セーフティシフト	撮影モードダイヤルを <b>Tv</b> 、 <b>Av</b> にしてシャッタースピードまたは絞り数値を設定したとき、適正露出になるように設定値を調整します。 <b>入 / 切*</b>	p. 73
MF 拡大表示	マニュアルフォーカスのとき拡大表示するかしないかを設定します。 <b>入* / 切</b>	p. 94
AF 補助光	AF のとき、必要に応じて AF 補助光の発光を設定します。 <b>入* / 切</b>	p. 31
デジタルズーム	光学ズームと合わせて、拡大するかしないかを設定します。 <b>入 / 切*</b>	p. 52
撮影の確認	撮影してシャッターボタンを放したあと、撮影した画像を液晶モニターに表示する時間を設定します。 <b>切 / 2 秒* ~ 10 秒</b>	p. 32

メニュー項目	内容	参照先
RAW 内 JPEG 記録	RAW 形式のファイルに内蔵される JPEG 形式の確認用(サムネイル)画像の記録画素数を選べます。カメラで RAW 形式の画像を拡大表示して、ピントや手ブレを確認するとき便利です。 <b>L</b> に設定すると、より詳細にピントを確認できます。 PowerShot S70: <b>L / M1 / M2 / M3 / S*</b> PowerShot S60: <b>L / M1 / M2 / S*</b> ●設定した記録画素数によって、ファイル容量が変わります。	p. 55
インターバル撮影	一定の間隔をあけて自動的に撮影します。 2 枚* ~ 100 枚 1 分* ~ 60 分	p. 90
カスタム登録	撮影メニュー、ファンクションメニューで設定した内容を撮影モードダイヤルの <b>C</b> に登録します。	p. 96

## 再生メニュー




メニュー項目	内容	参照先
プロテクト	画像を消去できないようプロテクト(保護)を設定します。	p. 104

メニュー項目	内容	参照先
回転	時計方向に90度、270度に回転して画像を表示します。	p. 98
全消去	CFカードに記録されている画像をすべて消去します。(プロテクトされている画像を除く)	p. 45
スライドショー	記録した画像を自動再生します。	p. 100
プリント指定	画像をカメラダイレクト対応プリンターまたはプリント取り扱い店でプリントするとき、プリントする画像の選択や枚数を指定します。	p. 126
送信指定	パソコンに取り込む画像を、あらかじめカメラで指定します。	p. 131

## 設定メニュー

メニュー項目	内容	参照先
消音	<p>起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を一度に消すときは、[入]に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●[消音]を[入]にすると、マイカメラメニューの音の各設定が <b>1</b> <b>2</b> <b>3</b> (入) になっていても音は鳴りません。</li> <li>●警告音は[消音]を[入]にしても鳴ります。</li> </ul> <p>入 / 切*</p>	-

\* 初期設定

メニュー項目	内容	参照先
音量	カメラの操作音の音量を調節します。	-
①起動音量	カメラ起動時の音量を調節します。	p. 20
②操作音量	シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音量を調節します。	-
③セルフタイマー音	撮影2秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。	p. 51
④シャッター音量	シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。	p. 30
⑤再生音量	動画再生時、または音声メモの音量を調節します。	p. 57, 99
①～⑤の設定内容	 切 1 2* 3 4 5	-
液晶の明るさ	液晶モニターの明るさを設定します。  (標準)* /  (明るい)	-

メニュー項目	内容	参照先
節電	一定時間カメラの操作をしないときに自動的に電源を切るかどうか、液晶モニターを消すかどうかを設定します。  オートパワーオフ 入 / 切 ディスプレイオフ 10秒/20秒/30秒/1分*2分/3分	p. 105
日付 / 時刻	日付、時刻、日付スタイルを設定します。	p. 23
カードの初期化	CF カードを初期化します。	p. 18
番号リセット機能	ファイル番号のつけかたを設定します。 入 / 切*	p. 107
縦横自動回転	縦位置で撮影した画像を、自動的に横に回転して表示するかしないかを設定します。 入* / 切	p. 106
距離表示	MFインジケータの距離表示の単位を設定します。 m/cm* または ft/in	p. 94

メニュー項目	内容	参照先
言語	液晶モニターのメニューやメッセージを、どの言語で表示するかを設定します。 PowerShot S70 : • English(英語) • Deutsch(ドイツ語) • Français(フランス語) • Nederlands(オランダ語) • Dansk(デンマーク語) • Suomi(フィンランド語) • Italiano(イタリア語) • Norsk(ノルウェー語) • Svenska(スウェーデン語) • Español(スペイン語) • 汉语(中国語) • Русский(ロシア語) • Português(ポルトガル語) • 日本語*	p. 25
	PowerShot S60 : • English(英語) • Deutsch(ドイツ語) • Français(フランス語) • Nederlands(オランダ語) • Dansk(デンマーク語) • Suomi(フィンランド語) • Italiano(イタリア語) • Norsk(ノルウェー語) • Svenska(スウェーデン語) • Español(スペイン語) • 汉语(中国語) • 日本語*  画像の再生時に、SET ボタンを押しながら JUMP ボタンを押しても、表示する言語を変更できます。	
ビデオ出力方式	ビデオ出力方式を設定します。 NTSC* / PAL	p. 147

## マイカメラメニュー

このカメラでは起動画面、起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を自分好みに設定できます。CFカードに記録してある画像や新たに録音した音声をその場ですぐにカメラに登録し、マイカメラコンテンツとして利用することもできます（各項目の「**12**」と「**13**」に登録できます）。

また、付属のソフトウェアを使ってパソコンにある画像や音声を登録したり、オンラインフォトサービス「CANON iMAGE GATEWAY」からコンテンツをダウンロードして登録することもできます。詳しくはソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

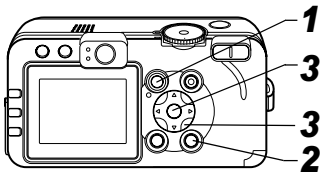
メニュー項目	内容	参照先
セット	起動画面、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音をすべて同じコンテンツに設定します。	p. 108
起動画面	電源を入れたときの起動画面を設定します。	p. 108
起動音	電源を入れたときの起動音を設定します。	p. 108
操作音	シャッターボタン以外のボタンと十字ボタンを操作したときの音を設定します。	p. 108
セルフタイマー音	セルフタイマー撮影で2秒前をお知らせする音を設定します。	p. 108

メニュー項目	内容	参照先
シャッター音	シャッターボタンを全押ししたときの音を選びます。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。	p. 108
マイカメラメニューの設定内容	<b>12</b> (切) / <b>11</b> * / <b>12</b> / <b>13</b>	-

\* 初期設定

## 設定を初期状態に戻す

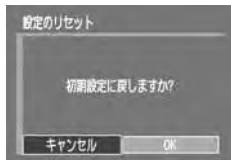
カメラの設定を初期設定に戻します。



**1** レンズカバーを開くか **▶** ボタンを押し、カメラの電源を入れる

**2** MENU ボタンを5秒以上押し続ける

液晶モニターに「初期設定に戻しますか？」のメッセージが表示されます。



**3** **◀▶** で **[OK]** を選び、**SET** ボタンを押す  
初期化がはじまります。

●初期化が終わると通常画面に戻ります。

●初期設定に戻すのをやめるときは、**[キャンセル]** を選びます。



●以下の設定は初期状態に戻りません。

- **[M]** (設定) メニューの [日付/時刻][言語][ビデオ出力形式] の設定内容 (p. 67)
- マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ (p. 78)
- 新しく登録したマイカメラコンテンツ

●パソコンまたはプリンター接続時は初期状態に戻せません。



カメラが撮影モードで、撮影モードダイヤルが **C** のときは、**C** に登録してある設定のみ初期設定に戻ります。それ以外のときは、**C** の内容は初期化されません。

## 撮影モードダイヤルを使う(クリエイティブゾーン)

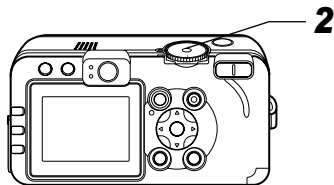
撮影モードダイヤル

**P Tv Av M**

シャッタースピードや絞り数値を選択するなど、カメラの設定を自由に変えて撮影できます。

設定を変更した後の撮影のしかたは、「**AUTO** 撮影する(オート) (p. 29)」と同じです。

使いかた



### 1 撮影モードになっていることを確認する

電源/モードランプが橙点灯になります。

### 2 撮影モードダイヤルを回し、使いたい機能を選んで撮影する



シャッタースピード


絞り数値

- 選択している機能により、以下のように操作します。

<b>P</b>	シャッタースピードと絞り数値を自動で設定
<b>Tv</b>	◀▶ でシャッタースピードを選ぶ
<b>Av</b>	◀▶ で絞り数値を選ぶ
<b>M</b>	◀▶ でシャッタースピード、▲▼ で絞り数値を選ぶ

- 液晶モニターにシャッタースピードや絞り数値が表示されます。白字で表示されているときは適正露出です。
- 適正露出が得られない場合、シャッタースピードと絞り数値は赤字で表示されます。
- ストロボ発光時、シャッタースピードと絞り数値は常に白字で表示されます(撮影モードが**M**以外のとき)。



- 同じ露出でシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを変えることができます (p. 71~72)。
- このモードで変更できる設定 (p. 166)
- 絞り数値とシャッタースピードの関係について (p. 71)
- シャッタースピードを遅くしたり絞り数値を大きくすると、手ブレしやすくなります。液晶モニターに  (手ブレ警告) が表示されたら、三脚を使って撮影してください。



## P プログラムAEで撮る

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り数値をカメラが自動的に設定します。

- 適正露出が得られないときは以下の方法をお試しください。
  - ストロボを使用する
  - ISO感度を変更する
  - 測光方式を変更する

## P と AUTO の違い

P では以下の機能を使用できますが、AUTO ではできません。

- ・露出補正
- ・ホワイトバランス
- ・ISO 感度の変更
- ・ブラケット撮影
- ・ストロボ調光補正
- ・ストロボ (常時発光、スローシンクロ、後幕発光)
- ・色効果の変更
- ・連続撮影
- ・記録形式の変更
- ・測光方式の変更
- ・マニュアルフォーカス
- ・インターバル撮影
- ・AF 枠の変更 (マニュアル選択)
- ・AE ロック
- ・FE ロック

## Tv シャッタースピードを決めて撮る

シャッタースピードを選ぶと、被写体の明るさに応じて、カメラが適正露出になる絞り数値を自動的に設定します。シャッタースピードを速くすると動きの速い被写体の瞬間をとらえることができ、シャッタースピードを遅くすると流動感を表現したり、暗いところでもストロボを発光せずに撮影できます。

- 露出アンダー (露出不足) または露出オーバー (露出過多) になり適正露出が得られないときは、◀▶ でシャッタースピードを調節してください。

- シャッタースピードが遅くなると、CCDの特性により撮影した画像にノイズが増えます。このカメラはシャッタースピードが1.3秒より遅くなると、ノイズを除去する処理を行い高画質で撮影します。ただし次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- ズームによって、絞り数値とシャッタースピードは以下のように変わります。

	絞り数値	シャッタースピード(秒)
ワイド端*1	F 2.8 ~ 3.5	~ 1/1250
	F 4.0 ~ 8.0	~ 1/2000
テレ端*2	F 5.3 ~ 7.1	~ 1/1250
	F 8.0 のみ	~ 1/2000

\*1 最も広角側

\*2 最も望遠側

- ストロボ発光時に有効なシャッタースピードは、最高で1/250秒です。1/250秒よりも高速のシャッタースピードを設定した場合は、撮影時に自動的に1/250秒に再設定されます。

## シャッタースピードの表示

以下のシャッタースピードに設定できます。1/160は1/160秒を表します。また、0"3は0.3秒を、2"は2秒を表しています。

15"	13"	10"	8"	6"	5"	4"	3"	2"	5
2"	1"6	1"3	1"	0"8	0"6	0"5	0"4	0"3	
1/4	1/5	1/6	1/8	1/10	1/13	1/15			
1/20	1/25	1/30	1/40	1/50	1/60				
1/80	1/100	1/125	1/160	1/200					
1/250	1/320	1/400	1/500	1/640					
1/800	1/1000	1/1250	1/1600	1/2000					



セーフティシフトについて (p. 73)

## Av 絞りを決めて撮る

絞りとは、レンズを通して入ってくる光の量を調整するものです。絞り数値を選ぶと、被写体の明るさに応じてカメラが適正露出になるシャッタースピードを自動的に設定します。

絞り数値を小さくする（絞りを開く）と、背景をぼかした美しいポートレートが撮影できます。

絞り数値を大きくする（絞りを閉じる）と、奥行きのある風景の手前から遠くまでが鮮明に写ります。

絞り数値を大きくするほど、鮮明に写る範囲が広くなります。

- 露出アンダー（露出不足）または露出オーバー（露出過多）になり適正露出が得られないときは、◀▶で絞り数値を調節してください。
- ズーム位置によっては選べない絞り数値があります。
- ストロボ同調最高シャッタースピードは、1/250秒になります。したがって、あらかじめ絞り数値を設定していても、ストロボ同調シャッタースピードに応じて絞り数値が自動的に変更されることがあります。

### 絞り数値の表示

表示された数値が大きくなるほど、レンズの絞り径は小さくなります。



F2.8	F3.2	F3.5	F4.0	F4.5	F5.0	F5.3
F5.6	F6.3	F7.1	F8.0			



セーフティシフトについて (p. 73)

### M 自由にシャッタースピード / 絞りを決めて撮る

シャッタースピードや絞り数値を自分で決定し、狙い通りの撮影ができます。花火の撮影など露出の設定が難しいときに使うと便利です。

- 液晶モニターには、設定した絞り数値とシャッタースピードに応じた明るさで画像が表示されます。ストロボを (常時発光 (赤目緩和)) または (常時発光) にすると常に明るく表示されます。
- シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターに標準露出\*からのずれが表示されます。このずれが±2段を越えると、液晶モニターに赤字で「-2」または「+2」と表示されます。
- \* 設定されている測光方式をもとにAE (Automatic Exposure = 自動露出) を行って、標準露出を算出します。

### セーフティシフトについて

撮影モードダイヤル

**Tv Av**

セーフティシフトを [入] (p. 65) にしておくと、手動で設定したシャッタースピードや絞り数値では適切な露出が得られない場合、適切な露出の範囲になるように自動的に調整されます。



ストロボが発光するときは、セーフティシフトが [切] に設定されていても自動的に調整されません。

## AF 枠を選択する

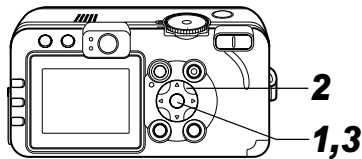
AF 枠はピントを合わせるための枠です。以下のように AF 枠を選択できます。

- AiAF (オート選択)、中央1点を選ぶ→以下参照
- 任意の AF 枠を選択する→ p. 75

### 撮影モードダイヤル



AF 枠を AiAF (オート選択) または、中央1点から選べます。オート選択にすると、撮影状況に応じて9つの AF 枠の中からカメラが自動的に AF 枠を選択してピントを合わせます。デジタルズームをお使いのときは、AF 枠は中央1点に固定されます。



### 1 AF ボタンを押す

液晶モニター上に AF 枠が緑色で表示されます。

### 2 ▲▼◀▶ でオート選択か中央1点を選ぶ



画面例：オート選択時



画面例：中央1点選択時

### 3 AF ボタンを押す

- AF ボタンを押さずにシャッターボタンを押して、設定した AF 枠で撮影することもできます。

## 任意のAF枠を選択する

撮影モードダイヤル

**P Tv Av M**

任意の位置にAF枠を手動で移動できます（アクティブフレームコントロール）。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。



### 1 ボタンを押す

液晶モニター上にAF枠が緑色で表示されます。

### 2 ▲▼◀▶で、設定したい位置にAF枠を移動する



### 3 ボタンを押す

-  ボタンを押さずにシャッターボタンを押して、設定したAF枠で撮影することもできます。
-  ボタンを押し続けると、AF枠がもとの位置（中央）に戻ります。



- ◆ AF 枠を任意の位置に設定して撮影するときは、液晶モニターをつけてください。
- ◆ デジタルズームをお使いのときや、液晶モニターを消してファインダーを使って撮影するときは、AF 枠を任意の位置に設定しても、AF 枠は中央1点に固定されます。
- ◆ 測光方式が[スポット測光]のときは、スポット測光枠をAF 枠と連動させることができます（p. 76）。
- ◆ AF 枠の色について（p. 26）
- ◆ ワンポイントアドバイス（p. 158）

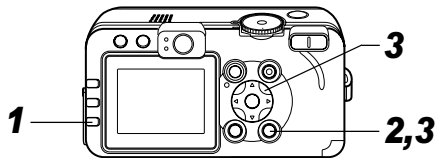
## ☉測光方式を切り換える

撮影モードダイヤル

**P Tv Av M**

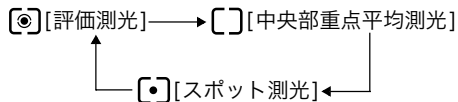
測光方式を切り換えて撮影できます。通常は【評価測光】に設定されています。

☉	評価測光	画面内を多分割して測光します。被写体の位置、明るさ、背景、順光/逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、被写体を適正な露出で撮影します。逆光など一般的な撮影に適しています。
□	中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
☉	スポット測光	「スポット測光枠」内を測光します。
	中央固定	スポット測光枠を液晶モニター中央部に固定します。
	AF 枠連動	スポット測光枠をAF枠に連動させます。



### 1 ☉ボタンを押して、測光方式を切り換える

- ボタンを押すたびに以下のように測光方式が切り換わります。



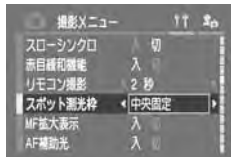
- 現在選ばれている測光方式が液晶モニターに表示されます。

#### 【スポット測光】を選ぶ→手順2

【評価測光】【中央部重点平均測光】を選ぶ→撮影する

## 2 [撮影]メニューから[スポット測光枠]を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた (p. 62)



## 3 ◀▶で[中央固定]または[AF枠連動]を選び、MENUボタンを押す

- [中央固定]のときは液晶モニター中央にスポット測光枠が表示されます。  
[AF枠連動]のときは選択しているAF枠にスポット測光枠が表示されます。

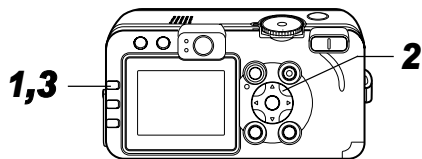


## 露出を補正する

### 撮影モードダイヤル



逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまうたり、夜景の撮影でライトが明るすぎるようなときに、露出を補正します。



### 1 FUNC.ボタンを押す

### 2 ▲▼で±0\* (露出補正)を選び、◀▶で露出を調整する

- \* 現在の設定が表示されます。




## 色合いを調整する(ホワイトバランス)

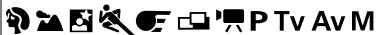
- 補正量は、-2～+2の範囲で1/3段ずつ変更できます。
- 設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示され、設定を変更できます。

### 3 FUNC. ボタンを押す

- 露出補正を解除するときは、◀▶で補正量を0に戻します。










 ワンポイントアドバイス (p. 158)

#### 撮影モードダイヤル

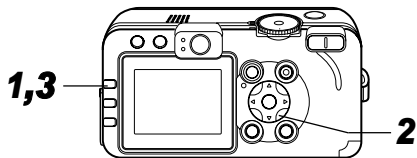


ホワイトバランスを設定すると、撮影時の光源に合った適正な色になります。

設定内容と光源の組み合わせは以下のとおりです。

	オート	自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇天や日陰、薄暮など
	電球	電球、電球色タイプ(3波長型)の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ(3波長型)の蛍光灯
	蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ(3波長型)の蛍光灯
	ストロボ	ストロボ使用時
	水中	ウォータープルーフケースWP-DC40(別売)を使った水中での撮影に最適です。水中に最適なホワイトバランスに設定され、青みをおさえた自然な色合いで撮影できます。
	マニュアル	白い紙や布など白を基調としたものをカメラに記憶させ、最適な白データを取り込んでから撮影できます。






### 1 FUNC.ボタンを押す




### 2 ▲▼で \* (オート) を選び、◀▶で設定したいホワイトバランスを選ぶ

\* 現在の設定が表示されます。





-  (マニュアル) について (p. 79)
- 設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示され、設定を変更できます。

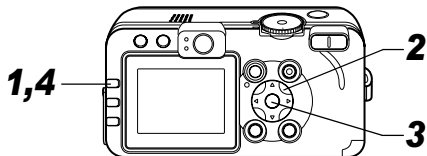
### 3 FUNC.ボタンを押す

 色効果が  (セピア) 、 (白黒) のときは設定できません (p. 82)。

## マニュアルホワイトバランスを設定する

白い紙や布など、白の基準としたいものをカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。特に以下のような場合、 (オート) ではホワイトバランスが調整できないことがあります。 (マニュアル) で白データを取り込んでから撮影してください。

- 至近距離 (マクロ) で撮影するとき
- 単一な色の被写体 (空、海、森など) を撮影するとき
- 水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき



### 1 FUNC.ボタンを押す

## 2 ▲▼でAEB\* (オート) を選び、◀▶で☑ (マニュアル)を選ぶ

\* 現在の設定が表示されます。

## 3 カメラを白い紙や布に向け、SETボタンを押す

白データが取り込まれます。

- 中央の枠いっぱい  
白い紙や布が表示されるよう構図を決めます。
- 設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示され、設定を変更できます。

## 4 FUNC. ボタンを押す



- マニュアルホワイトバランスを設定するときは、以下のような条件で撮影することをおすすめします。
  - 撮影モードをPにし、露出補正、ストロボ調光補正をともに±0にする
  - 適正露出でない場合 (真っ黒や真っ白) は白



データを正しく取り込めないことがあります。

- ズームを最も望遠側 (テレ端) の位置にする
- デジタルズームは [切] にしてください。
- ☑以外の撮影モードを設定する
- ☑では、白データの取り込みはできません。
- ISO感度を撮影時と同じ条件に設定する
- ストロボを🔆 (常時発光) または🚫 (発光禁止) にしておく

撮影時のストロボ設定と同じ条件でホワイトバランスを設定してください。条件が合っていない場合、最適なホワイトバランスを設定できないことがあります。

ストロボを🔆🚫 (赤目緩和オート) /🔆 (オート) に設定していると、マニュアルホワイトバランスで白データを取り込むときにストロボが発光することがあります。このときは、撮影時もストロボを発光させてください。

- 設定したマニュアルホワイトバランスは、カメラの設定を初期設定に戻しても解除されません (p. 69)。

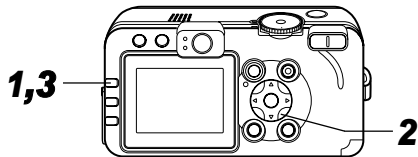
## ISO感度を変更する

撮影モードダイヤル

P Tv Av M

ISO感度を上げると、光量が少ない場所でも画像を明るめにして撮影できます。暗いところで手ブレを抑えたいとき、ストロボをオフにして撮影したいとき、シャッタースピードを速くしたいときに便利です。

感度は、AUTO、50、100、200、400から選べます。



### 1 FUNC. ボタンを押す

### 2 ▲▼で ISO\* (ISO感度) を選び、◀▶で設定したい感度を選ぶ

\* 現在の設定が表示されます。

- 設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示され、設定を変更できます。



### 3 FUNC. ボタンを押す

- ISO感度を上げすぎると、画像にノイズが増えます。きれいに撮りたいときは、なるべく低い感度を選んでください。
- AUTOを選択すると、最適な画質になる感度に設定されます。また、被写体を照らすストロボ発光量が十分でない場合は自動的に感度が上がります。










ワンポイントアドバイス (p. 158)

## 色効果を切り換える

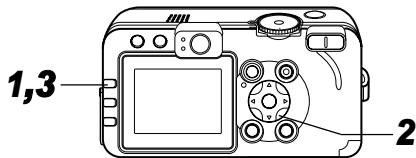
### 撮影モードダイヤル

📷 📷 📷 📷 📷 📷 P Tv Av M

色効果を切り換えると、画像の印象を変えて撮影できます。

	効果切	通常設定
	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いにする
	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いにする
	ソフト	輪郭の強調を抑える
	セピア	セピア色にする
	白黒	白黒にする
	カスタムカラー*	コントラスト、シャープネス、色の濃さを自由に設定する

\* P、Tv、Av、Mのみ



### 1 FUNC.ボタンを押す

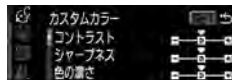
### 2 ▲▼で\* (効果切)を選び、◀▶で設定したい色効果を選ぶ

\* 現在の設定が表示されます。



### を選んだとき

● **SET** ボタンを押すとコントラスト、シャープネス、色の濃さを設定する画面が表示されます。



▲▼で設定したい項目を選び、◀▶で設定を変更して**SET**ボタンを押します。

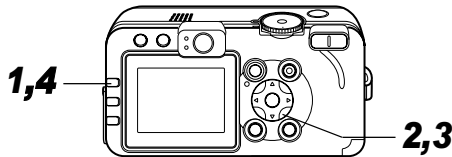
## 露出を自動的に変えて撮る(AEB撮影)

### 撮影モードダイヤル

#### P Tv Av

設定した露出補正量の幅に従って、カメラが自動的に露出を変えながら3画像撮影します。

標準露出を中心に-2~+2の範囲で1/3段ずつ補正量を設定できます。また露出補正 (p. 77) をしている場合は、その設定値を中心に補正量を設定できます。標準露出、マイナス補正、プラス補正の順で撮影します。



### 1 FUNC.ボタンを押す

- 設定したあとシャッターボタンを押せば、すぐに撮影できます。また撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

### コントラスト

- 明るさの度合を調節できます。
- (弱め)、0 (標準)、+ (強め) から選びます。



### シャープネス

- 輪郭のくっきり度合を調節できます。
- (弱め)、0 (標準)、+ (強め) から選びます。

### 色の濃さ

- 色の濃淡を調節できます。
- (薄い)、0 (標準)、+ (濃い) から選びます。

## 3 FUNC.ボタンを押す

 (セピア)、 (白黒) を選んだときは、ホワイトバランスは設定できません。

## 2 ▲▼で \* (BKT-Off) を選ぶ

\* 現在の設定が表示されます。




## 3 ◀▶で (AEB) を選んで SET ボタンを押し、◀▶で補正量を調整する

- ▶を押すと間隔が広くなり、◀を押すと狭くなります。
- 設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示され、設定を変更できます。



## 4 FUNC. ボタンを押す

- AEB撮影を解除するときは、手順3で  (BKT-Off) を選びます。



ストロボ発光時はAEB撮影ができません。ストロボを発光して撮影した場合は、通常の1画像撮影になります。

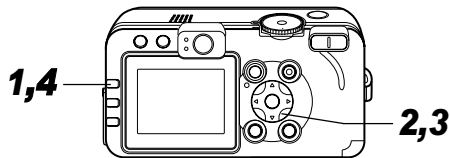
## フォーカスを自動的に変えて撮る(フォーカスブラケット撮影)

撮影モードダイヤル

P Tv Av M

マニュアルフォーカスのときは、フォーカスを自動的に変えながら3画像撮影できます。

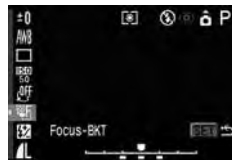
変更量は、大・中・小の3段階から選択できます。設定したフォーカス位置、後ろ寄りに変更、前寄りに変更の順で撮影します。



## 1 FUNC. ボタンを押す

## 2 ▲▼で \* (BKT-Off) を、◀▶で (Focus-BKT) を選び SET ボタンを押す

\* 現在の設定が表示されます。





### 3 ◀▶ で変更量を選ぶ

- ▶を押すと間隔が広くなり、◀を押すと狭くなります。
- 設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示され、設定を変更できます。



### 4 FUNC. ボタンを押し、マニュアルフォーカス (p. 94) で撮影する

- フォーカスブラケット撮影を解除するときは、手順2で  (BKT-Off) を選びます。



 ストロボ発光時はフォーカスブラケット撮影ができません。ストロボを発光して撮影した場合は、通常の1画像撮影になります。

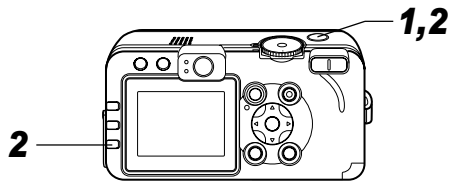
## 露出を固定して撮る (AEロック)

撮影モードダイヤル

P Tv Av

露出とピントを別々に決めて撮影できます。被写体と背景のコントラストが極端に強いときや、逆光下での撮影などに有効です。

 ストロボは必ず  に設定し、ストロボを発光させないでください。ストロボが発光すると、AEロックが動きません。



1 露出を固定したい被写体にAF枠またはスポット測光枠を合わせ、シャッターボタンを半押しする

- AF枠を移動する (p. 74)
- 測光方式を切り換える (p. 76)

## 2 シャッターボタンを半押ししたまま [AE-L/AF-ON] ボタンを押す

- 露出が固定 (AEロック) され、液晶モニターに \* が表示されます。
- 十字ボタン以外のボタンを操作すると、AEロックを解除できます。



AEロック

## 3 構図を決め直して撮影する

AF枠内の被写体にピントが合います。



自動的に設定されたシャッタースピードと絞り数値の組み合わせを、同じ露出のままで自由に変えて撮影できます。以下のように操作します。

1. 撮影モードダイヤルを **P**、**Tv**、**Av** のいずれかにする。
2. 露出を固定したい被写体にカメラを向け、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる。
3. [AE-L/AF-ON] ボタンを押す。  
露出が固定され、液晶モニターに \* が表示されます。

4. ◀▶ で設定したいシャッタースピードまたは絞り数値になるまで変える。
5. 構図を決め直して撮影する。  
撮影が終了し、設定は解除されます。

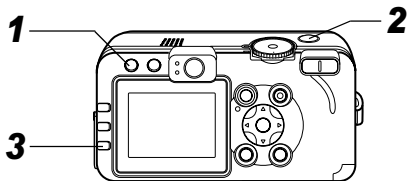


## FEロックして撮る

撮影モードダイヤル

**P Tv Av**


被写体が構図のどこにあっても、適正な露出でストロボ撮影できます。



- 1 下向きボタンを押してストロボを [ ] に設定する (p. 36)
- 2 露出を固定したい被写体にAF枠またはスポット測光枠を合わせ、シャッターボタンを半押しする
- 3 シャッターボタンを半押ししたまま [ ] ボタンを押す

- 露出が固定 (FEロック) され、液晶モニターに **\*** が表示されます。
- ストロボがプリ発光し、被写体に必要な露光量を記憶します。
- [ ] ボタンを押すたびにプリ発光し、そのとき必要な露光量をFEロックします。
- 十字ボタン以外のボタンを操作すると、FEロックを解除できます。

### 4 構図を決め直して撮影する

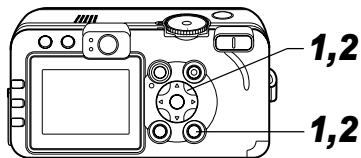
 [ストロボ自動調光] が [切] のときは、FEロックできません。

## ストロボの自動調光設定を切り換える

撮影モードダイヤル

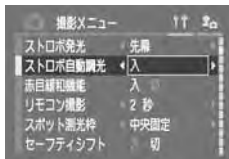
Tv Av

ストロボは自動調光で発光します（Mを除く）が、自動調光しないように設定することもできます（ストロボ発光量を設定できます）。



### 1 [Fn] (撮影)メニューから [ストロボ自動調光] を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた (p. 62)



### 2 ◀▶で [入] または [切] を選び、MENU ボタンを押す

## ストロボ調光量/発光量を補正する

撮影モードダイヤル

Fn M P Tv Av M

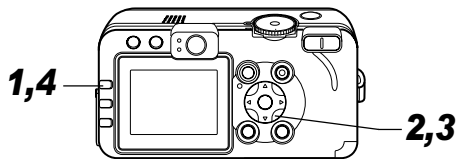
ストロボ調光補正	<ul style="list-style-type: none"><li>●[ストロボ自動調光]が[入]のとき、標準調光を中心に-2~+2の範囲で1/3段ずつ変更できます。</li><li>●カメラの露出補正と併用することにより、背景の露出も補正したストロボ撮影ができます。</li></ul>
ストロボ発光量	<ul style="list-style-type: none"><li>●撮影モードダイヤルがM、または[ストロボ自動調光]が[切]のとき、ストロボの発光量をフル発光から3段階で制御して撮影できます。</li></ul>

## ストロボ発光のタイミングを切り換える

撮影モードダイヤル

P Tv Av M

先幕	シャッター速度にかかわらず、シャッターが開いた直後にストロボが発光します。通常はこちらで撮影します。
後幕	シャッターが閉じる直前にストロボが発光します。ストロボ発光のタイミングが先幕発光より遅くなり、車のライトが後方に流れるような画像を撮影できます。



### 1 FUNC.ボタンを押す

2 ▲▼で (ストロボ調光補正またはストロボ発光量) を選ぶ

3 ◀▶で補正量/発光量を調整する

- 設定したあとシャッターボタンを押して、すぐに撮影できます。撮影後はもう一度この画面が表示され、設定を変更できます。

### 4 FUNC.ボタンを押す



ストロボ自動調光が [入] のとき



ストロボ自動調光が [切] のとき



先幕設定で撮影した画像




後幕設定で撮影した画像

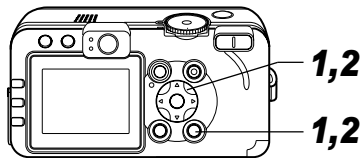
## 間隔をあけて自動的に撮影する(インターバル撮影)

### 撮影モードダイヤル

**P Tv Av M**

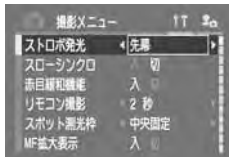
一定の間隔で自動的に撮影できます。これにより、開花する植物の観測などの定点観測ができます。設定できる撮影間隔は約1分～約60分、撮影画像数は2～100画像です。

 長時間の撮影になりますので、ACアダプターキットACK700(別売)の使用をおすすめします(p.144)。

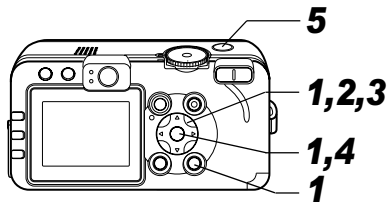


### 1 (撮影)メニューから[ストロボ発光]を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた(p.62)

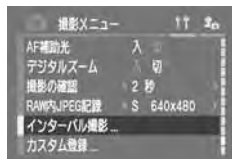


### 2 ◀▶ で [先幕] または [後幕] を選び、MENU ボタンを押す



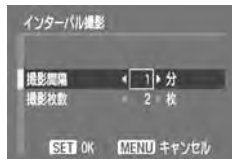
## 1 [ ] (撮影)メニューから [ インターバル撮影 ] を選んで SET ボタンを押す

- メニューの選択と設定のしかた (p. 62)



## 2 ◀▶ で撮影間隔を選ぶ

- ◀▶ を押し続けると撮影間隔が5分単位で変わります。



## 3 ▼ を押し、◀▶ で撮影枚数を選ぶ

- ◀▶ を押し続けると撮影枚数が5枚単位で変わります。
- 最大撮影枚数\*はCFカードの残り容量によって決まります。

\*実際に撮影可能な枚数は、表示される枚数よりも少なくなる場合があります。

## 4 SET ボタンを押す

- メニュー画面が消え、液晶モニターの右下にInt.が表示されます。

## 5 シャッターボタンを押す

- 1枚目が撮影されインターバル撮影が始まります。
- 設定した枚数の撮影が終わると、節電機能の設定にかかわらず電源が自動的に切れます。
- インターバル撮影の途中で以下の操作を行うと、インターバル撮影が中止されます。
  - 次の撮影を行うまでの間に撮影モードダイヤルを変更する
  - 次の撮影を行うまでの間にシャッターボタンを半押しする
  - CFカードスロット / バッテリーカバーを開く
  - 再生モードにする
  - 電源を切る



- インターバル撮影が始まってからのボタン操作は受け付けません。
- 次の撮影までの間、レンズは繰り出されたままとなりますのでご注意ください。
- 撮影直後、液晶モニターに撮影画像は表示されません。
- 【日付/時刻】が設定されていないときインターバル撮影はできません。
- 連続撮影、AEB、フォーカスブラケットは使用できません（セルフタイマーは、最初の1枚目のみ使用できます）。

## ピントが合いにくい被写体を撮る

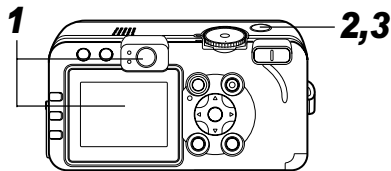
以下のような被写体は、ピントが合わないことがあります。

- コントラストが極端に低い被写体
- 近いものと遠いものが混在する被写体
- 画像中央部が極端に明るい被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体：できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。
- 横じまがある被写体

これらの被写体を撮影する場合は、その被写体とほぼ同じ距離にある別の被写体でフォーカスロック撮影するか、マニュアルフォーカスやAFロックで（手でピントを合わせて）撮影してください。

### フォーカスロックで撮る

撮影モードダイヤル



**1** ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離にある別の被写体を、AF枠に収める

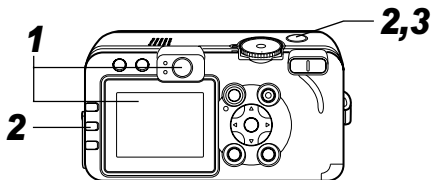
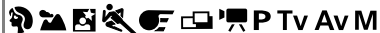
**2** シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせる

- このときAEもロックされます。ピントを合わせたい被写体と、その被写体と同じ距離にあるフォーカスロックに用いた被写体との輝度の差が大きいと、適正露出が得られない場合があります。この場合はAFロックで撮影するか、AEロックで撮影してください。

**3** そのままカメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しして撮影する

## AFロックで撮る

撮影モードダイヤル



**1** ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離にある別の被写体に、AF枠を合わせる

**2** シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、そのままMFボタンを押す

- 液晶モニターにMFが表示されます。
- シャッターボタン、MFボタンを放しても、フォーカスは固定されています。
- もう一度MFボタンを押すと、フォーカスロックは解除されます。

### 3 カメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しして撮影する



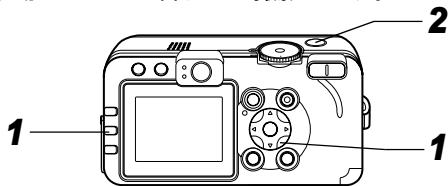
AFロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また撮影後もAFロックされたままなので、同じピントですぐ次の撮影ができます。

### マニュアルフォーカスで撮る

#### 撮影モードダイヤル



手動でピントを合わせて撮影します。



#### 1 MFボタンを押しながら、▲▼を押す

- フォーカスがロックされ、液晶モニターにMFとMFインジケータが表示されます。



MFインジケータ



- [ ] (撮影) メニューの [MF拡大表示] を [入] にしているときは、AF枠を中心に画像が拡大表示\*されます。
- \* [ ] (スティッチアシスト)、デジタルズームを使用しているとき、テレビに画像を表示しているときは拡大表示されません。
- \* 拡大表示しない設定にもできます (p. 65)。
- MFインジケータはピント位置の目安です。表示される数値を目安に撮影してください。
- 被写体がはっきり見えるまで、▲▼でピントを合わせてください。
- もう一度MFボタンを押すと、マニュアルフォーカスは解除されます。

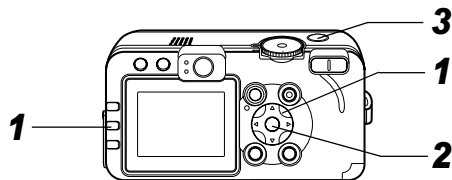
## 2 シャッターボタンを全押しして撮影する

## マニュアルフォーカスとAFを組み合わせる

### 撮影モードダイヤル



手動で合わせた現在のピント位置の近くから、最もピントの合う位置を自動的に探し出します。





**1** マニュアルフォーカスでピントを合わせる

**2** SETボタンを押す

- 現在のピント位置の近くから、最もピントの合う位置を探して自動的にピントを合わせます。

### 3 シャッターボタンを全押しして撮影する

 マニュアルフォーカスを設定しているときはAF枠を変更できません。マニュアルフォーカスを解除してから変更してください。

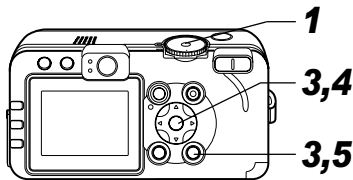
 MFインジケータの表示単位を変更できます (p. 67)。

## Cカスタム登録する

撮影モードダイヤル

P Tv Av M C

よく使う撮影モードや撮影時のさまざまな設定を、あらかじめ**C**(カスタム)に登録しておくことができます。必要なときに撮影モードダイヤルを**C**に合わせるだけで、事前に登録した設定内容で撮影できます。他の撮影モードに切り換えたり、電源を切ると解除されてしまう設定(連続撮影、セルフタイマーなど)も保持されます。



## 1 撮影モードダイヤルをP、Tv、Av、M、Cのいずれかにする

- Cに登録した設定の一部（撮影モード以外）を変更するときは、Cを選びます。

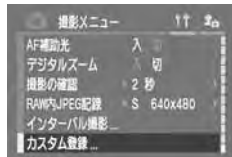
## 2 登録したい内容を設定する

### Cに登録できる機能

- 撮影モード（P、Tv、Av、M）
- P、Tv、Av、Mで設定可能な項目（p. 166）
- 撮影メニューの設定内容
- ズーム位置
- マニュアルフォーカス位置

## 3 [OK] (撮影)メニューから[カスタム登録]を選んでSETボタンを押す

- メニューの選択と設定のしかた（p. 62）



## 4 [OK]を選びSETボタンを押す

## 5 MENUボタンを押す



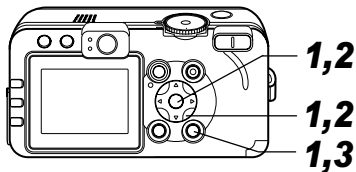
- 設定内容は、他の撮影モードには反映されません。
- 登録内容をリセットできます（p. 69）。

時計方向に90度、270度に回転して表示します。

元画像

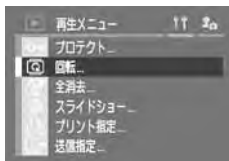
90度

270度



## 1 [再生]メニューから[回転]を選び、SETボタンを押す

- メニューの選択と設定のしかた (p. 62)



## 2 ◀▶で回転したい画像を選び、SETボタンを押す

- SETボタンを押すたびに、90度→270度→元画像が表示されます。



## 3 MENUボタンを押す

- メニュー画面表示に戻ります。もう一度MENUボタンを押すとメニュー画面が消えます。



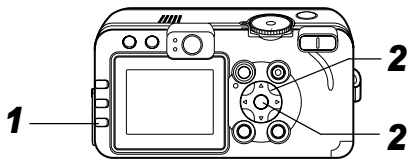
- 動画は回転表示できません。
- カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。



- 画像を回転したあとで、拡大することもできます (p. 41)。
- 縦横自動回転の設定 (p. 106) が[入]のとき、縦位置で撮影した画像をカメラの液晶モニターに表示すると、画像は自動的に縦位置に回転して表示されます。

## 音声メモを付ける

再生中（シングル再生、インデックス再生、拡大再生、撮影直後の画像表示中）の画像に最長 60 秒の音声メモを付けることができます。音声データは WAVE 形式で保存されます。



### 1 画像再生中に ボタンを押す

- 音声メモパネルが表示されます。

### 2 で を選び、SET ボタンを押す



- 録音が始まり、録音時間と録音可能時間が表示されます。カメラのマイクに向かって音声を発してください。
- 停止するときは **SET** ボタンを押します。引き続き録音をするときは、もう一度 **SET** ボタンを押します。





音声メモパネル

- 1 画像につき、合計が 60 秒に達するまで何度でも録音を追加できます。


### 音声メモの再生


-  を選びます。音声メモの付いた画像には  マークが表示されています（情報表示なしのときは表示されません）。停止するときは **SET** ボタンを押します。引き続き再生するときは、もう一度 **SET** ボタンを押します。▲▼で音量を調節できます。

### 音声メモの消去

-  マークが表示されていることを確認し、 を選びます。

### 音声メモ設定の終了

-  ボタンを押します。

-  動画には音声メモを付けられません。
- 画像に互換性のない音声ファイルが添付されている場合、録音や再生はできません。録音や再生をしようとすると「互換性のない WAVE です」のメッセージが表示されます。互換性のない音声データはこのカメラで削除できます。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません（p. 104）。



設定メニューでも、音声メモの音量を調節できます (p. 66)。設定メニューの[消音]を[入]にすると音量は0になりますが、▲▼での音量調節はできます。

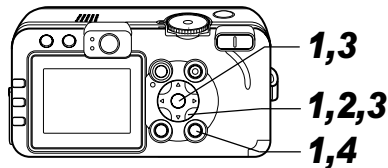
## 画像を自動再生する (スライドショー)

スライドショーの画像指定はDPOF (Digital Print Order Format) に準拠しています (p. 124)。

### スライドショーをはじめる

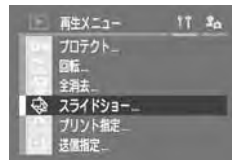
CFカード内の全画像または選択した画像が自動再生されます。

全画像	CFカード内のすべての画像が順に再生されます。
ショー1～ショー3	各ショーでマークされている画像が順に再生されます (p. 101)。

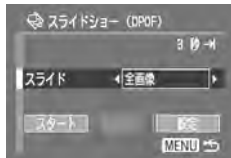


**1** [再生]メニューから[スライドショー]を選び、SETボタンを押す

- メニューの選択と設定のしかた (p. 62)



- 2 ▲▼で [スライド] を選び、◀▶で [全画像]、[ショー1] ~ [ショー3] のいずれかを選び



- 3 ▲▼で [スタート] を選び、SET ボタンを押す

スライドショーが始まります。再生したあと自動的にスライドショーが終了します。

スライドショーの一時停止 / 再開

- SET ボタンを押すと自動再生を一時停止します。もう一度 SET ボタンを押すと再生を続けます。

画像送り / 戻し

- ◀▶ で前または次の画像へ進めます。

スライドショーの中止

- 再生中に MENU ボタンを押すとスライドショーが中止され、スライドショーメニューが表示されます。

- 4 スライドショーが終了したら、MENU ボタンを押す

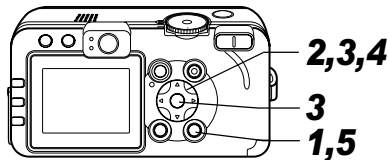
メニュー画面表示に戻ります。もう一度 MENU ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。



- ◆ 動画は、設定した再生間隔にかかわらず、記録した時間で再生されます。
- ◆ スライドショーで自動再生中は、節電機能は働きません (p. 105)。

### 再生する画像を選ぶ

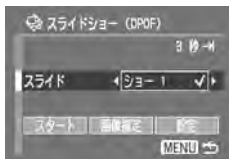
スライドショーで再生したい画像だけをマークし、[ショー1] から [ショー3] に保存します。最大 998 画像まで指定でき、選択した順番に自動再生されます。



- 1 スライドショーメニューを表示する (p. 100)

## 2 ▲▼で[スライド]を選び、◀▶で[ショー1]～[ショー3]のいずれかを選ぶ

- すでに画像指定されているショーには、チェックマーク(✓)が表示されます。



## 3 ▲▼◀▶で[画像指定]を選び、SETボタンを押す


### 4 再生する画像を選ぶ

#### シングル再生のとき

- ◀▶で画像を選びます。  
▲▼で選択、選択の解除ができます。
- 選択した画像の上には、選択順の番号とチェックマーク(✓)が表示されます。



### インデックス再生のとき

- ズームボタンのQ、またはボタンを押して、インデックス再生(3画像表示)に切り換えます。
- ◀▶で画像を選びます。  
▲▼で選択、選択の解除ができます。
- 選択した画像の下部には、選択順の番号とチェックマーク(✓)が表示されます。
- すべての画像を選択するときは **SET** ボタンを押し、▲▼で[全画像指定]を選んでもう一度 **SET** ボタンを押します。[全指定解除]を選ぶと、すべての指定を解除できます。
- [全画像指定]または[全指定解除]を行ったあと、◀▶で特定の画像を選び、▲▼で設定変更できます。



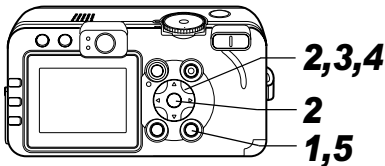
## 5 MENUボタンを押す

画像指定が終了します。



## 再生間隔やリピート設定をする

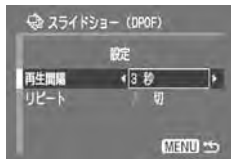
再生間隔	スライドショーで1画像を表示する時間を指定します。3～10秒、15秒、30秒、手動を指定できます。
リピート	スライドショーが一巡したら終了するか、繰り返し再生するかを設定します。



**1** スライドショーメニューを表示する (p. 100)

**2** ◀▶で [設定] を選び、SET ボタンを押す

**3** ▲▼で [再生間隔] または [リピート] を選ぶ



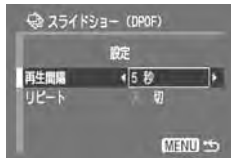
## 4 ◀▶で設定する

### 再生間隔

- 再生時間を選びます。

### リピート設定

- [入] または [切] を選びます。



## 5 MENU ボタンを押す

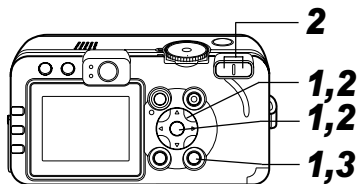
設定が終了します。



- 画像によっては、設定した時間と多少異なる再生間隔で再生されることがあります。
- 付属のソフトウェア (ZoomBrowser EX または ImageBrowser) を使用すると、スライドショーの編集が簡単に行えます。

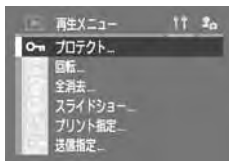
## 画像をプロテクト（保護）する

大切な画像を誤って消去しないように、プロテクトを設定できます。





### 1 [再生]メニューから [プロテクト] を選び、SET ボタンを押す

- メニューの選択と設定のしかた (p. 62)



### 2 ◀▶ でプロテクトしたい画像を選び、SET ボタンを押す



- プロテクトを設定した画像には、が表示されます。
- プロテクトを設定した画像でSET ボタンを押すと、プロテクトを解除します。
- ズームボタン、またはボタンを押して、シングル再生とインデックス再生を切り換えて指定できます。

### 3 MENU ボタンを押す

設定が終了します。

- ❗ CFカードを初期化 (p. 18) すると、プロテクトした画像も消去されます。CFカードを初期化するときは、CFカード上の記録内容を十分に確認してから行ってください。

カメラには節電機能が付いています。節電機能の設定 (p. 67) にしたがって、カメラの電源が自動的に切れたり、液晶モニターが消えたりします。

### ●オートパワーオフ

入： ●撮影モード：約3分間何も操作をしないと電源が切れます。オートパワーオフを[切]にしている場合でも、液晶モニターを表示して約1分間\*<sup>1</sup>何も操作しないと、表示が消えます。このときカメラのボタンを押すと、液晶モニターが表示されます。

\*<sup>1</sup>時間を変更できます。

●再生モード：約5分間何も操作をしないと電源が切れます。

●プリンター接続モード：約5分間カメラの操作を何もしないと電源が切れます。

切：節電機能は働きません。

### ●ディスプレイオフ（撮影モードのみ）

設定した時間、何も操作をしないと液晶モニターが消えます。

10秒/20秒/30秒/1分\*<sup>2</sup>/2分/3分から選択できます。

\*<sup>2</sup>初期設定

### オートパワーオフが働いたとき

もう一度電源を入れます。

撮影モード：いったんレンズカバーを閉じ、再度レンズカバーを開く。

再生 / プリンター接続モード：▶(再生) ボタンを押します。

### ディスプレイオフが働いたとき

カメラのボタンを押すと液晶モニターが表示されません。



●節電機能が働いて電源が切れても、微量の電力が消費されますのでご注意ください。

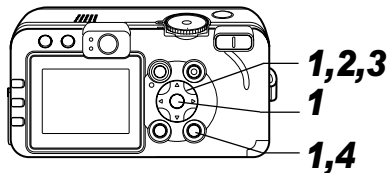
●スライドショーで自動再生中およびパソコン接続時は、節電機能は働きません (p. 100, 115)。

## 縦横自動回転の設定をする

撮影モードダイヤル

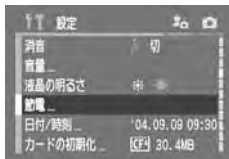
AUTO     P Tv Av M

このカメラには SI (Super Intelligent) センサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。この機能の入 / 切を設定できます。

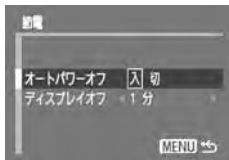


### 1 [設定] メニューから[節電]を選び、SET ボタンを押す

- メニューの選択と設定のしかた (p. 62)

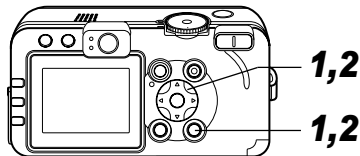


### 2 ▲▼で[オートパワーオフ]を選び、◀▶で[入]または[切]を選ぶ



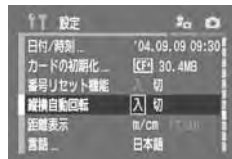
### 3 ▲▼で[ディスプレイオフ]を選び、◀▶で設定時間を選ぶ

### 4 MENU ボタンを押す



### 1 [設定] メニューから [縦横自動回転] を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた (p. 62)



## ファイル番号をリセットする

### 2 ◀▶で[入]を選び、MENUボタンを押す

- [入]に設定すると、撮影モードで液晶モニターが「情報表示あり」のとき、画面右上にカメラの向きを示すアイコンが表示されます。

- ☑：通常
- ☑：右が下
- ☑：左が下



- カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン(☑)を確認し、正しく天地を判断しない場合は[切]にしてお使いください。

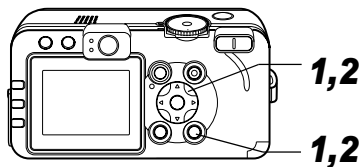
- 縦横自動回転の設定が[入]のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。



- このカメラは、縦位置で構えて撮影する場合、SIセンサーにより上側を「天」、下側を「地」と判断して縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は縦横自動回転の入/切に関係なく有効です。

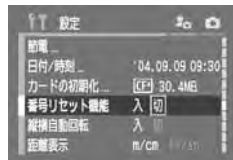
撮影した画像には、自動的にファイル番号が付きます。そのファイル番号の設定方法を選択します。

入	新しいCFカードを入れるたびに、ファイル番号が初期値(100-0001)に戻ります。記録済みのCFカードを入れたときは、続きの番号になります。
切	最後に撮影した画像のファイル番号が記憶され、新しいCFカードを入れても続きのファイル番号になります。



### 1 [設定]メニューから[番号リセット機能]を選ぶ

- メニューの選択と設定のしかた (p. 62)



## 2 ◀▶ で [入] を選び、MENU ボタンを押す

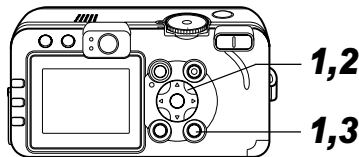


- 番号リセット機能を [切] にして撮影すると、ファイル番号が重複しないため、パソコンでまとめて管理するような場合に便利です。
- 画像ファイルの管理 (p. 159)


## カメラを自分好みにする(マイカメラ機能)

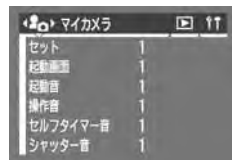
カメラの起動画面や起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。このカメラでは起動画面や音をそれぞれ3種類から選べます。

### マイカメラコンテンツを変更する



### 1 MENU ボタンを押し、▶を2回押す

[ (マイカメラ) ]メニューが表示されます。






## 2 ▲▼でメニュー項目を選び、◀▶で設定したいコンテンツを選ぶ

: 切

: 一般

: SF関連

: 動物関連


-   に登録されているコンテンツは変更できません (p. 68)。

## 3 MENUボタンを押す



メニューが終了し、設定が有効になります。

- 撮影モードのときは、シャッターボタンを半押ししてもメニューを終了できます。



- すべて同じコンテンツに設定したいときは、手順2で [セット] を選びます。
- マイカメラメニューでコンテンツを選択していても、 (設定) ]メニューの [消音] が [入] になっているときは、警告音以外の音は鳴りません (p. 66)。起動画面は表示されます。

## マイカメラコンテンツを新規登録する

  に新しいコンテンツを登録します。

CFカードに記録してある画像や新たに録音した音声を、マイカメラコンテンツとしてその場ですぐにカメラに登録できます。付属のソフトウェアを使うと、パソコンにある画像や音声、CANON iMAGE GATEWAY (オンラインフォトサービス p. 112) からダウンロードしたコンテンツをカメラに登録することもできます。

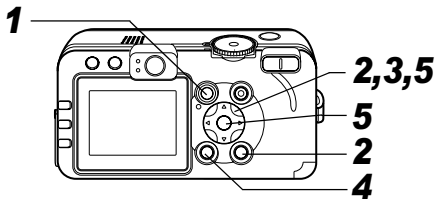
コンテンツを登録できる項目は、以下のとおりです。

- ・ 起動画面
- ・ 起動音
- ・ 操作音
- ・ セルフタイマー音
- ・ シャッター音



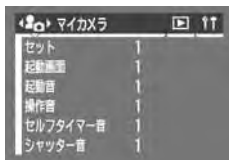
マイカメラコンテンツを初期設定に戻すには、パソコンが必要です。付属のソフトウェア (ZoomBrowser EX/ImageBrowser) を使い、初期設定のコンテンツをカメラに登録してください。

CFカード内の画像や音声は、以下の手順で登録できます。



**1** ボタンを押して、再生モードにする (p. 22)

**2** MENUボタンを押し、 を2回押す  
 [ (マイカメラ)] メニューが表示されます。



**3** で登録したいメニュー項目を選び、  
 で または を選ぶ  
 [DISPLAY] が表示されます。

**4** DISPLAYボタンを押す  
 起動画面または音声を登録する画面が表示されます。

【起動画面】を登録するとき

● で登録したい画面を選び、SETボタンを押します。



【起動音】【シャッター音】【操作音】【セルフタイマー音】を登録するとき

● で (録音) を選び、SETボタンを押します。  
 録音がはじまります。



● 一定時間が経過すると自動的に録音が終了します。

起動音：1秒                      操作音：0.3秒  
 セルフタイマー音：2秒      シャッター音：0.3秒

● で (登録) を選び、SETボタンを押します。

**5** で [OK] を選び、SETボタンを押す





- 以下のデータは、マイカメラコンテンツに登録できません。
  - RAW画像
  - 動画
  - 音声メモ機能 (p. 99) で記録した音声
- 新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。

### マイカメラコンテンツのファイルフォーマット

マイカメラコンテンツは以下のファイルフォーマットにしたがっている必要があります。

ただし、このカメラで撮影したCFカード内の画像は下記フォーマットに関係なく登録できます (RAW画像、動画、音声メモ機能 (p. 99) で記録した音声を除く)。

#### ●起動画面

- 記録画像フォーマット JPEG (ベースラインJPEG)
- サンプリングレート 4 : 2 : 0 または 4 : 2 : 2
- 画像サイズ 320 × 240画素
- ファイル容量 20KB以下

#### ●起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音

- 記録フォーマット WAVE (モノラル)
- 量子化ビット 8bit
- サンプリング周波数 11.025kHz  
または8.000kHz

#### - 記録時間

	11.025kHz	8.000kHz
起動音	1.0 秒以下	1.3 秒以下
操作音	0.3 秒以下	0.4 秒以下
セルフタイマー音	2.0 秒以下	2.0 秒以下
シャッター音	0.3 秒以下	0.4 秒以下

上記フォーマット以外のファイルは、カメラに登録できません。

たとえば[セルフタイマー音]に「はい、チーズ!」などのかけ声を登録しておくと、シャッターが切れる2秒前にカメラが発声します。他にもさまざまな音をお楽しみいただけます。陽気なリズムの音楽を登録すれば目元もほころび、自然な笑顔を撮影できるかもしれません。演奏に合わせてポーズを決めるのも、マイカメラならではの撮影方法です。

マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

CANON iIMAGE GATEWAYは、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録（無料）されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

<http://www.imagegateway.net/>

- 最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
- 会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。
- \* インターネットに接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
- \* プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

## CANON iIMAGE GATEWAYの 会員になるとできること

一次のサービスをご利用いただけます—

**バージョンアップなどサポート情報の電子メール配信サービス（無料）**  
登録されたカメラのファームウェア / ソフトウェアのバージョンアップに関する最新情報を、ご希望の方にお知らせいたします。

### オンラインアルバムサービス（無料）

- 撮影した静止画や動画\*を CANON iIMAGE GATEWAY にアップロードし、ネット上にご自分のアルバムを作成できます。
- 画像につけたコメントや音声もアップロードできますので、オリジナルのアルバムをお楽しみいただけます。



- \* 動画をアップロードするには、追加ソフトウェア（無料）を CANON iIMAGE GATEWAY からダウンロードし、事前にパソコンにインストールする必要があります。

## 携帯電話アルバム通知・閲覧サービス（無料）

- お友達やご家族のパソコンや携帯電話に、作成したアルバムのURLをメールで知らせることができます。

オンラインアルバムは、メールで通知されたURLからパソコンや携帯電話で直接見られるので、楽しい思い出を共有できます\*（パソコンからは動画も閲覧できます）。

- 携帯電話は、お使いの機種に合わせて画像の大きさや色数が自動的に調整されます。
- \* 携帯電話の通信料金は使用された方のご負担となります。また、カラー表示可能な携帯電話をご利用ください。



## ホームプリンティングサービス（無料）

画面上の印刷ボタンを押すだけで、オンラインアルバム上のお好きな画像を、対応のキヤノン製プリンターで印刷できます\*。ご自身だけでなく、お知らせメールを受けたお友達やご家族の方にもご利用いただけます。

\* ご利用の際には、プラグインモジュールを CANON iIMAGE GATEWAY からダウンロードして、パソコンにインストールすることが必要です。

## プリント注文サービス（有料）

- オンラインアルバムの画像は、インターネットから24時間、いつでもプリント注文できます。
- ご自身だけでなく、公開されたアルバムを見たお友達やご家族の方も注文できます。
- プリントサイズはDP判、L判、2L判、A4判、A3判、ポストカードサイズに対応しています。
- プリントは、提携のプリントサービス会社から指定の場所に配送されます。



- 代金はクレジットカード、もしくは最寄りのコンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末を使って（コンビニ決済）、簡単にお支払いいただけます。
- 携帯電話からもプリントを注文できます。

### オリジナル写真集（マイブック）作成サービス（有料）

- CANON iMAGE GATEWAY のオンラインアルバムをプリント/製本して、本格的なオリジナル写真集をインターネットから24時間、いつでも注文できます。
- ご自身だけでなく、公開されたアルバムを見たお友達やご家族の方も注文できます。
- 写真集は、提携のプリントサービス会社から指定の場所に配送されます。
- 代金はクレジットカード、もしくは最寄りのコンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末を使って（コンビニ決済）、簡単にお支払いいただけます。

### マイカメラコンテンツのダウンロード（無料）

- マイカメラコンテンツをダウンロードし、カメラに登録できます。
- 多彩なコンテンツが用意されていますので、好きなものをダウンロードしてカメラに登録すれば、ご自分だけのオリジナルカメラをお楽しみいただけます。



- \* 画面例は Windows XP 用です。また、最新の画面表示と異なることがあります。

## パソコンへの画像の取り込み

カメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法は以下のとおりです。お使いのOSによっては利用できない方法があります。また、カメラによって対応するOSが異なりますので、あらかじめ「パソコンに必要なシステム構成」(p. 116) でご確認ください。

### ● カメラとパソコンを接続して画像を取り込む

Windows 98	Windows Me	Windows 2000	Windows XP	Mac OS 9	Mac OS X
------------	------------	--------------	------------	----------	----------

- ソフトウェアをインストールし、パソコンの操作で画像を取り込む
  - 「カメラとパソコンを接続する」(p. 116)、別冊のソフトウェアクイックガイド

Windows 98	Windows Me	Windows 2000	Windows XP
------------	------------	--------------	------------

- ソフトウェアをインストールし、カメラのボタン操作で画像を取り込む（初回のみパソコンの設定が必要）
  - 「カメラとパソコンを接続する」(p. 116)、  
「ダイレクト転送で画像を取り込む」(p. 120)

Windows XP	Mac OS X
------------	----------

- ソフトウェアをインストールせずに、パソコンの操作で画像を取り込む
  - 「カメラとパソコンを接続する」(p. 116)（ソフトウェアのインストールは必要ありません）、「ソフトウェアをインストールせずに、カメラとパソコンを接続して画像を取り込む」(p. 121)

### ● CFカードから直接画像を取り込む

カードアダプターやカードリーダーを使って画像を取り込みます。

- 「CFカードから直接画像を取り込む」(p. 122)

## カメラとパソコンを接続する

### パソコンに必要なシステム構成

ソフトウェアは、以下の条件を満たすパソコンに、インストールしてお使いください。

#### ● Windows

### PowerShot S70

OS	Windows 98 Second Edition (SE) のみ Windows Me Windows 2000 Service Pack 4 のみ Windows XP (Service Pack 1を含む)
機種	上記OSがプリインストールされていて、 USBポートが標準装備されていること
CPU	Pentium 500MHz 以上
RAM	Windows 98 SE/Windows Me : 128MB以上 Windows 2000/Windows XP : 256MB 以上
インター フェース	USB
ハード ディスク 空き容量	●Canon Utilities ZoomBrowser EX : 250MB以上 (印刷ソフトウェアPhotoRecord含む) PhotoStitch : 40MB以上 ●Canon Camera TWAIN Driver : 25MB以上 ●Canon Camera WIA Driver : 25MB以上
ディスプレイ	1024 × 768 ドット High Color (16 bit) 以上

### PowerShot S60

OS	Windows 98 (Second Edition を含む) Windows Me Windows 2000 Windows XP (Service Pack 1を含む)
機種	上記OSがプリインストールされていて、 USBポートが標準装備されていること
CPU	Windows 98/Windows Me/Windows 2000 : Pentium 150MHz以上 Windows XP : Pentium 300MHz 以上 上記すべてのOS : Pentium 500MHz以上 推奨 (動画編集時)
RAM	Windows 98/Windows Me/Windows 2000 : 64MB以上 Windows XP : 128MB 以上 上記すべてのOS : 128MB以上推奨 (動画 編集時)
インター フェース	USB
ハード ディスク 空き容量	●Canon Utilities ZoomBrowser EX : 200MB以上 (印刷ソフトウェアPhotoRecord含む) PhotoStitch : 40MB以上 ●Canon Camera TWAIN Driver : 25MB以上 ●Canon Camera WIA Driver : 25MB以上
ディスプレイ	800 × 600ドット High Color (16bit) 以上必要 1024 × 768 ドット以上推奨

## ● Macintosh

### PowerShot S70


OS	Mac OS X (v10.1.5~v10.3)
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されていること
CPU	PowerPC G3/G4/G5
RAM	256MB以上
インターフェース	USB
ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ImageBrowser : 200MB以上 PhotoStitch : 40MB以上
ディスプレイ	1024 × 768 ドット 32,000 色以上


### PowerShot S60

OS	Mac OS 9.0~9.2、Mac OS X (v10.1/v10.2/v10.3)
機種	上記 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されていること
CPU	PowerPC
RAM	Mac OS 9.0~9.2 : 64MB 以上のアプリケーション用メモリー Mac OS X (v10.1/v10.2/v10.3) : 128MB以上
インターフェース	USB

ハードディスク空き容量	●Canon Utilities ImageBrowser : 120MB以上 PhotoStitch : 30MB以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット 32,000 色以上必要 1024 × 768 ドット以上推奨

カメラとパソコンを接続する前に、必ず付属の Canon Digital Camera Solution Disk に収められているドライバとソフトウェアをインストールしてください。

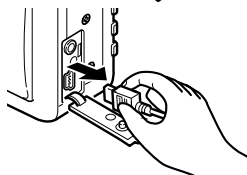
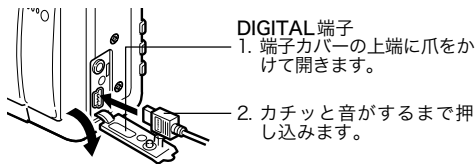
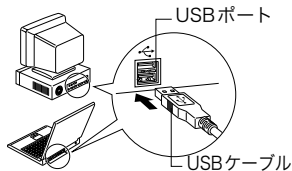
 ドライバとソフトウェアをインストールする前にカメラとパソコンを接続すると、カメラが正しく認識されません。このような場合には、ソフトウェアクイックガイドの「困ったときには」をご覧ください。

-  ◆ インターフェースケーブルを接続するときに、カメラやパソコンの電源を切る必要はありません。
- ◆ パソコンの USB ポートの位置は、お使いのパソコンの取扱説明書で確認してください。
- ◆ カメラをパソコンに接続する場合、フル充電したバッテリーまたは AC アダプターキット ACK700 (別売) をお使いになることをおすすめします (p. 14、p. 144)。
- ◆ USB2.0対応ボードとの接続は、すべての動作を保証するものではありません。

## 1 Canon Digital Camera Solution Disk から、ドライバとソフトウェアをインストールする (初回操作時のみ)

- インストールの手順は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。
- Macintoshの場合は、この後ImageBrowserの自動起動の設定が必要です(PowerShot S70のみ)。ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

## 2 付属のインターフェースケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続する



カメラのDIGITAL端子からケーブルを取り外すときは、必ず、コネクタの側面を持って取り外してください。

### Windowsをお使いの場合

→引き続き、以下の手順**3**、**4**を行ってください。

### Macintoshをお使いの場合

→ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。画像の取り込みを行ってください。



### 3 パソコンに表示されるイベントダイアログで、[Canon CameraWindow]を選んで[OK]をクリックする(初回操作時のみ)



画面例：PowerShot S70

### PowerShot S70の場合

❗ イベントダイアログが表示されない場合は、スタートメニューから、[プログラム] または [すべてのプログラム] > [Canon Utilities] > [CameraWindow] > [CameraWindow] をクリックします。



左のウィンドウが表示されます。

### PowerShot S60の場合

❗ イベントダイアログが表示されない場合は、スタートメニューから、[プログラム] または [すべてのプログラム] > [Canon Utilities] > [CameraWindow] > [CameraWindow-自動起動の設定] をクリックします。

[CameraWindow-自動起動の設定] ウィンドウで、[設定する] をクリックする(初回操作時のみ)








左のウィンドウが表示されます。

- ソフトウェアを使ってパソコンの操作で画像を取り込む場合  
→ ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。
- カメラの操作で画像を取り込む(ダイレクト転送)場合  
→ 「ダイレクト転送で画像を取り込む」をご覧ください。


## ダイレクト転送で画像を取り込む

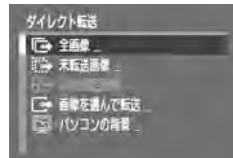
カメラの操作で画像を取り込めます。はじめてダイレクト転送で画像を取り込むときは、付属のソフトウェアを最初にインストールし、パソコンの設定をしておいてください (p. 116)。

	全画像	すべての画像をパソコンに取り込み、保存します。
	未転送画像	まだ取り込んでいない画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	送信指定画像	送信指定 (p. 131) した画像だけをパソコンに取り込み、保存します。
	画像を選んで転送	画像を見ながら 1 画像ずつパソコンに取り込み、保存します。
	パソコンの背景	画像を見ながらパソコンのデスクトップの背景にしたい画像を取り込みます。取り込んだ画像は、パソコンのデスクトップに背景として表示されます。

**1** 付属のインターフェースケーブルで、パソコンのUSBポートとカメラのDIGITAL端子を接続する (p. 118の手順2をご覧ください。)

**2** カメラの液晶モニターにダイレクト転送画面が表示されていることを確認する

-  ボタンが青色に点灯します。
- ダイレクト転送画面が表示されない場合は、MENU ボタンを押してください。

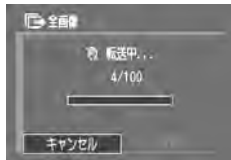


ダイレクト転送画面

[全画像][未転送画像][送信指定画像]のとき

### 3 ▲▼で 、、 のいずれかを選び、 ボタンを押す


- 取り込みを中止するときは、SET ボタンを押してキャンセルします。
- 画像が取り込まれ、取り込みが終了すると、ダイレクト転送画面に戻ります。



[画像を選んで転送][パソコンの背景]のとき

### 3 ▲▼で 、 のいずれかを選び、 ボタン (またはSETボタン) を押す



### 4 ◀▶ で取り込みたい画像を選び、 ボタン (またはSETボタン) を押す




- 画像が取り込まれます。
- 取り込み中は  ボタンが青色に点滅します。



## 5 MENU ボタンを押す

- ダイレクト転送画面に戻ります。

  [パソコンの背景]の場合、JPEG形式の画像のみが取り込めます。取り込んだ後は、BMP形式に自動変換されます。

-  ● [全画像]、[未転送画像]、[送信指定画像]での画像の取り込み中は、 ボタンは青色に点滅しません。
-  ボタンで選択した項目はカメラの電源を切っても記憶されます。次回、ダイレクト転送画面を表示したときは、前回設定した項目が選択されます。[画像を選んで転送]と[パソコンの背景]を選択していたときは、直ちに画像を選択する画面が表示されます。

## ソフトウェアをインストールせずに、カメラとパソコンを接続して画像を取り込む

Windows XPまたはMac OS X (v10.1/v10.2/v10.3) をお使いの場合、OSに標準で組み込まれているソフトウェアを使って、画像を取り込めます。

Canon Digital Camera Solution Diskからソフトウェアをインストールする必要がなく、USBケーブルでカメラとパソコンを接続するだけで、会社やお友達のパソコンに画像を取り込めますので、便利です。

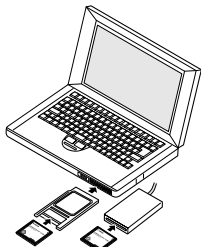
ただし、この方法で画像を取り込む場合、いくつかの制限事項があります。詳細は、付属の「Windows® XP、Mac OS Xをお使いの方へ」でご確認ください。

**1 付属のインターフェースケーブルで、パソコンの USB ポートとカメラの DIGITAL 端子を接続する (p. 118の手順2をご覧ください。)**

**2 パソコンに表示されるメッセージにしたがって画像を取り込む**

**CFカードから直接画像を取り込む**

**1 カメラからCFカードを取り出し、パソコンに接続されたCFカードリーダーに入れる**



- PCカードリーダーまたはPCカードスロットをお使いの場合は、まずCFカードをPCカードアダプター（別売）に差し込んでから、入れてください。
- カードアダプターやカードリーダーへの接続のしかたなどは、各々の取扱説明書でご確認ください。

**2 CFカードを接続したドライブをダブルクリックして開く**

- OSによっては、自動的に画面が表示されます。

**3 撮影した画像をハードディスクの任意の場所にコピーする**

- 撮影した画像は、CFカード内の [DCIM] フォルダの中の [xxxCANON] フォルダ (xxxは100～998の数字が入ります) にあります (p. 159)。

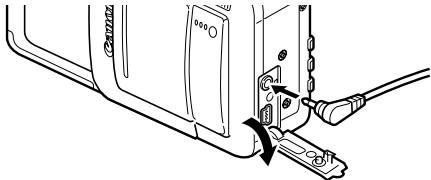
## テレビを使って撮影 / 再生する

付属の AV ケーブル AVC-DC300 を使用すると、テレビに画像を表示して撮影や再生ができます。

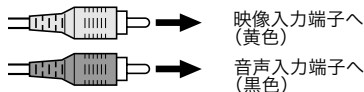
### 1 カメラ (p. 20) とテレビの電源を切る

- ビデオ出力方式は、日本国内で採用している NTSC方式に設定されています。

### 2 カメラの端子にAVケーブルを接続する



### 3 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する




### 4 テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする

### 5 撮影モードまたは再生モードでカメラの電源を入れる (p. 20)


- 画像がテレビに表示されます。通常の撮影や再生ができます。



- テレビ表示中は、液晶モニターに画像が表示されません。
- 海外で使うとき (p. 147)
- AVケーブルをステレオ対応のテレビに接続する場合は、音声入力端子の左右どちらかに接続してください。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。
-  (スティッチアシスト) では使用できません。

## プリントについて

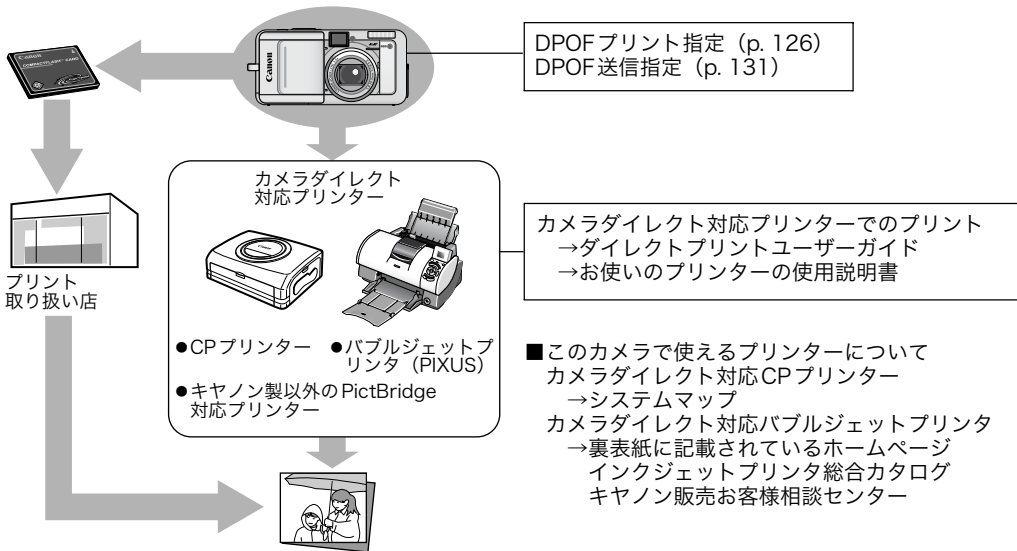
このカメラで撮影した画像は、次の方法でプリントできます。

- カメラとカメラダイレクト対応プリンター\*<sup>1</sup>をケーブルで直接つなぎ、カメラの  ボタンを押すだけで、簡単にプリントできます。
- プリントする画像や枚数などを、あらかじめカメラで設定（DPOF\*<sup>2</sup>プリント設定）しておけば、CFカードをプリント取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定どおりにプリントできます。

\*<sup>1</sup> このカメラは標準規格「PictBridge（ピクトブリッジ）」に対応していますので、キヤノン製のCPプリンターやバブルジェットプリンタ（PIXUS）のほか、キヤノン製以外のPictBridge対応プリンターでもプリントできます。

\*<sup>2</sup> Digital Print Order Formatの略

本書では DPOF のプリント指定を説明しています。プリント方法は、別冊のダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。また、お使いのプリンターの使用説明書もご覧ください。

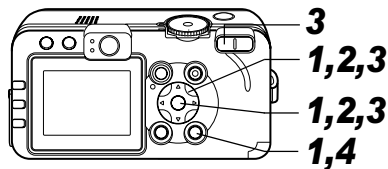


## DPOFのプリント指定

CFカードに記録されている画像のプリント条件を、あらかじめカメラで指定します。プリントする画像の選択、プリント枚数、日付印刷などが指定できます。カメラダイレクト対応プリンターで一括してプリントするときや、プリント取り扱い店に注文するとき大変便利です。プリンターからプリントする方法は、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

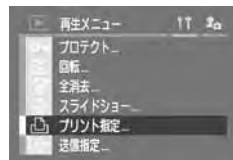
- DPOF対応の他のカメラでプリント指定されたCFカードの場合、液晶モニターに▲が表示されることがあります。このカメラでそれらのプリント指定を変更すると、設定済みのプリント指定は、すべて書き換えられます。
- プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画やRAW形式の画像はプリント指定できません。

### プリントする画像を選ぶ

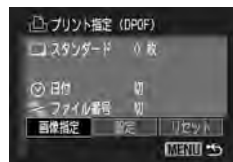


#### 1 [再生]メニューから[プリント指定]を選び、SETボタンを押す

- メニューの選択と設定のしかた (p. 62)



#### 2 ◀▶で[画像指定]を選び、SETボタンを押す





### 3 プリントする画像を選ぶ

#### 1 画像ずつ指定するとき

- プリントタイプ (p. 128) が [スタンダード] / [両方] の場合、◀▶ で画像を選びます。  
▲▼ で、プリント枚数が指定できます (最大99枚まで)。
- プリントタイプ (p. 128) が [インデックス] の場合、◀▶ で画像を選び、▲▼ で、指定、指定解除を行います。指定したときは、チェックマークが表示されます。
- ズームボタンの $\mathcal{Q}$ 、または $\square$ ボタンを押してインデックス再生 (3 画像表示) に切り換えても、同じ方法で指定できます。



#### CFカード内のすべての画像を指定するとき

- ズームボタンの $\mathcal{Q}$ 、または $\square$ ボタンを押して、インデックス再生 (3 画像表示) に切り換えます。
- SET ボタンを押したあと▲▼で [全画像指定] を選び、もう一度 SET ボタンを押すと、すべての画像に対して 1 枚ずつプリント指定されます。
- プリントタイプが [スタンダード] / [両方] の場合、各画像のプリント枚数を変更できます。[インデックス] の場合は、プリント指定の解除ができます。変更方法は「1 画像ずつ指定するとき」と同じです。
- [全指定解除] を選ぶと、すべての指定を解除できます。
- [全画像指定] または [全指定解除] を行ったあと、◀▶ で特定の画像を選び、▲▼ で設定変更できます。



### 4 MENU ボタンを押す

プリント指定が終了し、プリント指定メニューに戻ります。

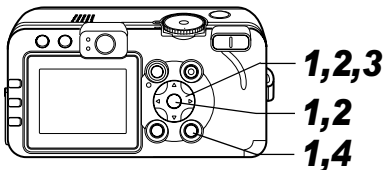


- ◆ 撮影日時の古い画像から順にプリントされます。
- ◆ 最大998画像まで指定できます。
- ◆ [プリントタイプ] が [両方] の場合、プリント枚数は指定できますが、[インデックス] の場合は指定できません。[インデックス] では1枚のみプリントされます。
- ◆ 付属のソフトウェア (ZoomBrowser EX または ImageBrowser) を使ってプリント指定ができます。

## プリントスタイルを設定する

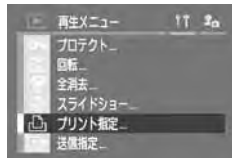
以下のプリントスタイルを指定できます。

プリント タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> スタンダード	ペーパー1枚に1画像をプリントします。
	<input checked="" type="checkbox"/> インデックス	インデックス形式で画像を縮小してプリントします。
	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 両方	スタンダードとインデックスの両方をプリントします。
日付		日付を入れてプリントします。
ファイル番号		ファイル番号を入れてプリントします。

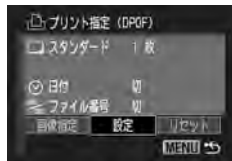


# 1 [再生]メニューから[プリント指定]を選び、SETボタンを押す

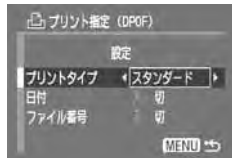
- メニューの選択と設定のしかた (p. 62)



# 2 ◀▶で[設定]を選び、SETボタンを押す



# 3 ▲▼で[プリントタイプ]、[日付]、[ファイル番号]のいずれかを選び、◀▶で設定する



## プリントタイプ

- [スタンダード]、[インデックス]、[両方]のいずれかを選びます。

## 日付

- [入] または [切] を選びます。


## ファイル番号

- [入] または [切] を選びます。

# 4 MENUボタンを押す

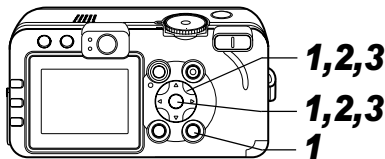
設定が終了し、プリント指定メニューに戻ります。


- [プリントタイプ]が[インデックス]の場合、[日付]と[ファイル番号]を同時に[入]に設定することはできません。
- [プリントタイプ]を[両方]または[スタンダード]に設定している場合、[日付]と[ファイル番号]を同時に[入]にできます。ただし、お使いのプリンターによって、プリントできる情報が異なることがあります。

 日付は、[日付 / 時刻] で設定した日付スタイルでプリントされます (p. 23)。

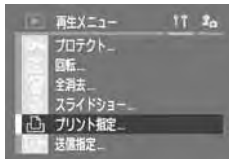
## プリントの設定をリセットする

プリント指定された画像をすべて解除し、プリントタイプを [スタンダード]、日付を [切]、ファイル番号を [切] に戻します。

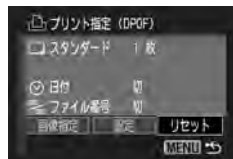


**1** [  (再生) ]メニューから[プリント指定]を選び、SETボタンを押す

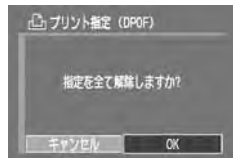
- メニューの選択と設定のしかた (p. 62)



**2** ◀▶ で [リセット] を選び、SET ボタンを押す



**3** ◀▶ で [OK] を選び、SET ボタンを押す



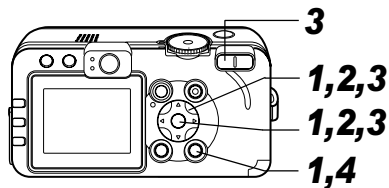
## 画像の送信指定 (DPOF 送信指定)

パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラで指定できます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。ただし、PowerShot S60をお持ちの方は、Mac OS Xを使って送信指定した画像をパソコンに一括で送信できません。

なお、この指定は、DPOF (Digital Print Order Format) に準拠しています。

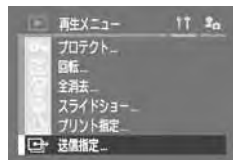
- DPOF 対応の他のカメラで送信指定された CF カードの場合、液晶モニターに ▲ が表示されることがあります。  
このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

### 送信する画像を選ぶ



#### 1 [再生]メニューから[送信指定]を選び、SET ボタンを押す

- メニューの選択と設定のしかた (p. 62)



#### 2 ◀▶ で [画像指定] を選び、SET ボタンを押す

- 送信指定された画像をすべて解除するときは [リセット] を選びます。



### 3 送信する画像を選ぶ

#### 1 画像ずつ指定するとき

- ◀▶ で画像を選び、▲▼ で指定または指定解除を設定します。指定したときはチェックマーク(✓)が表示されます。
- ズームボタンの 🔍 を押してインデックス再生(3画像表示)に切り換えても、同じ方法で指定できます。



#### CF カード内のすべての画像を指定するとき

- ズームボタンの 🔍 を押し、インデックス再生(3画像表示)に切り換えます。
- SET ボタンを押したあと ▲▼ で [全画像指定] を選び、もう一度 SET ボタンを押すと、すべての画像が指定されます。
- [全指定解除] を選ぶと、すべての指定を解除できます。



- [全画像指定] または [全指定解除] を行ったあと、◀▶ で特定の画像を選び、▲▼ で設定変更できます。

### 4 MENU ボタンを押す

送信指定が終了し、送信指定メニューに戻ります。



- ◆ 撮影日時の古い画像から順に送信されます。
- ◆ 最大998画像まで指定できます。

液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。

- プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中 ...	: 撮影した画像を CF カードに記録しています。 再生モードを起動中です。 カメラやメニューの設定を初期設定に戻しています。
カードがありません	: CF カードがカメラに入っていないときに、カメラの電源を入れました。
記録できません	: CF カードがカメラに入っていないのに撮影しようとした。
カードが異常です	: CF カードに異常があります。
カードがいっぱいです	: CF カードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上記録や保存ができません。または、これ以上、画像指定（スライドショーやプリントなど）や音声メモができません。
ファイル名が作成できません	: カメラが作成しようとするディレクトリと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでにファイル番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。設定メニューの【番号リセット機能】を【入】に設定してください。必要な画像をパソコンに取り込んだ後、CF カードを初期化してください (p. 18)。なお、初期化すると CF カード内の画像およびデータはすべて消去されます。
バッテリーを交換してください	: バッテリーの容量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに充電されたバッテリーに交換するか、バッテリーを充電してください。
画像がありません	: CF カードに画像が記録されていません。
画像が大きすぎます	: 4064 × 3048 画素より大きなサイズの画像を再生しようとした。
互換性のない JPEG です	: 互換性のない JPEG フォーマットの画像を再生しようとした。
データが壊れています	: データの破壊されている画像を再生しようとした。
RAW	: 異なる形式の RAW 画像を再生しようとした。



拡大できない画像です	: 別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を拡大しようとしました。
回転できない画像です	: 別のカメラもしくは異なるフォーマットで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を回転しようとしました。
認識できない画像です	: 特殊なフォーマット（他社カメラ特有の記録フォーマットなど）で撮影した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしました。
互換性のない WAVE です	: 録音済みの音声メモの形式が正しくないので、この画像に追加録音できません。
プロテクトされています	: プロテクトされている画像や動画を削除しようとしました。
指定が多すぎます	: プリント指定、送信指定、スライドショーの画像指定が多すぎます。これ以上指定できません。
指定できない画像です	: JPEG 以外のファイルをプリント指定しようとしました。
指定完了できませんでした	: プリント指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定を保存できませんでした。
登録できない画像です	: このカメラ以外で撮影した画像や動画、RAW 形式で撮影した画像を起動画面に登録しようとしました。
変換できません	: デジタルズームで撮影した画像や、もともと RAW 形式で撮影した画像を、RAW 形式に変換して記録しようとしました。



## 故障かなと思ったら

現象	原因	対処
カメラが動作しない	電源が入っていません。	●電源を入れてください。 →「電源を入れる / 切る」(p. 20)
	CFカードスロット / バッテリーカバーが開いています。	●CFカードスロット / バッテリーカバーをしっかりと閉めてください。
	バッテリーの電圧が足りません。	●バッテリーを十分に充電してカメラに入れてください。 ●コンパクトパワーアダプターを使用してください。
	カメラとバッテリーの接触不良です。	●バッテリーの電極を乾いたきれいな布で拭いてください。
撮影ができない	再生モード、またはパソコン接続 / プリンター接続モードになっています。	●撮影モードに切り換えてください。 →「撮影 / 再生を切り換える」(p. 21) ●パソコン接続/プリンター接続モード時は、インターフェースケーブルを抜いてから撮影モードに切り換えてください。
	ストロボが充電中です。(液晶モニターの $\downarrow$ が点滅表示)	●充電が完了すると、液晶モニターの $\downarrow$ の点滅が点灯に変わります。その後、シャッターボタンを押してください。
	CFカードの空き容量がありません。	●新しいCFカードを入れてください。 ●必要であれば、CFカードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
	CFカードが正しく初期化されていません。	●CFカードを初期化してください。 →「CFカードを初期化する」(p. 18) ●CFカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。キヤノンのお客様相談センターにお問い合わせください。

現象	原因	対処
再生ができない	他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとしてしました。	●付属のZoomBrowser EXやImageBrowserを使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できることがあります。詳細は Zoom-Browser EX / ImageBrowser のソフトウェアガイド(PDF)をご覧ください。
	ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。	●ファイル名およびフォルダ番号は、カメラの形式に合ったファイル名にしてください。 →「ファイル番号およびフォルダ番号について」(p. 159)
レンズが出たまま で収納されない	電源を入れたまま、CFカードスロット / バッテリーカバーを開けました。	●CFカードスロット / バッテリーカバーを閉じた後、電源を切ってください。
	CFカードへの記録中に、CFカードスロット / バッテリーカバーを開けました。(警告音が鳴ります。)	●CFカードスロット / バッテリーカバーを閉じた後、電源を切ってください。
	撮影モードから再生モードに切り換えました。	●この場合はレンズが収納されません。レンズを収納するときは、レンズカバーを閉じてください。
バッテリーの消耗 が早い	バッテリーの電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてからお使いください。
	フル充電の状態でも長期間(1年くらい)放置したために、バッテリーの容量が低下しています。	●新しいバッテリーと交換してください。
	バッテリーの寿命です。	●新しいバッテリーと交換してください。
バッテリーが充電 できない	バッテリーの接触不良です。	●バッテリーチャージャーのコネクターをしっかりと差し込んでください。
	バッテリーの電極が汚れています。	●電極を乾いた布などで拭いてから充電してください。
	バッテリーの寿命です。	●新しいバッテリーと交換してください。

現象	原因	対処
カメラ内部で音がする	カメラの縦・横の向きが変わりました。	●カメラの向きを検出する機構が働いています。カメラの故障ではありません。
画像がぼやけている ピントがあまい	カメラが動いています。	●シャッターボタンを押すときに、カメラを動かさないように注意してください。 ●シャッタースピードが遅く、  (手ブレ警告)が表示されたときは、三脚をお使いください。
	AF 補助光投光部が何かで覆われているため、AF が機能していません。	●AF 補助光投光部に、指などがかからないように注意してください。
	AF補助光の設定が[切]になっています。	●AF 補助光の設定を [入] にしてください。 →「撮影メニュー」(p. 65)
	被写体がピントの合う範囲からはずれています。	●被写体から 44cm 以上離してください。 ●被写体から 4cm (ワイド端) / 30cm (テレ端) ~ 44cm の距離で撮影するときは、  (マクロ) モードで撮影してください。
	ピントが合いにくい被写体です。	●フォーカスロックがマニュアルフォーカスで撮影してください。 →「ピントが合いにくい被写体を撮る」(p. 92)
撮影した画像の被写体が暗すぎる	撮影時の光量が不足しています。	●ストロボを常時発光にしてください。
	被写体が周辺部に比べて暗すぎます。	●露出補正値をプラス側に設定してください。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください。 →「露出を固定して撮る (AE ロック)」(p. 85) →「測光方式を切り換える」(p. 76)

現象	原因	対処
撮影した画像の被写体が暗すぎる	被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ストロボをお使いになるときは、ストロボ到達範囲内に被写体を置いてください。 ISO100 相当時:55cm～4.2m(ワイド端)/2.0m(テレ端)</li> <li>●ISO感度を上げて撮影してください。 →「ISO感度を変更する」(p. 81)</li> </ul>
撮影した画像の被写体が明るすぎる	被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ストロボをお使いになるときは、ストロボ調光補正(p. 88)でストロボの発光量を調節してください。</li> </ul>
	被写体が周辺部に比べて明るすぎます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●露出補正値をマイナス側に設定してください。</li> <li>●スポット測光やAEロック機能を使用してください。 →「露出を固定して撮る(AEロック)」(p. 85) →「測光方式を切り換える」(p. 76)</li> </ul>
	照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラの角度を変えてください。
	ストロボが常時発光になっています。	●ストロボをオートまたは発光禁止にしてください。
液晶モニター上に縦に赤紫などの帯が表示される	被写体が極端に明るすぎます。	●CCD特有の現象で、カメラの故障ではありません。(動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません。)
画像に白い点などが写る	ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特に以下の条件で目立ちやすくなります。 ●ワイド側で撮影した場合 ●絞り優先 AE で絞り数値を大きくして撮影した場合	●デジタルカメラ特有の現象で、カメラの故障ではありません。
ストロボが発光しない	ストロボが発光禁止になっています。	●ストロボを常時発光にしてください。

現象	原因	対処
テレビに出力できない	お使いの地域のビデオ出力形式に合っておりません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●正しいビデオ出力形式 (NTSC または PAL) に合わせてください。</li> <li>●日本国内の出力形式は「NTSC」です。 →「設定メニュー」(p. 67)</li> </ul>
	☐ (スティッチアシスト) で撮影しています。	●☐ではテレビに出力できません。他の撮影モードで撮影してください。
ズームの操作ができない	動画撮影中にズームボタンを操作しました。	●動画を撮影する前にズーム操作をしてください。
CFカードからの画像の読み出しが遅い	違う機器で初期化したCFカードが入っています。	●このカメラで初期化したCFカードをお使いください。 →「CF カードを初期化する」(p. 18)
CFカードへの画像の記録時間が長い		

## ワイヤレスコントローラー（別売）を使う

### 電池を取り付ける

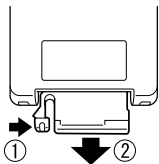
ご使用前に、ワイヤレスコントローラー WL-DC100（別売）にコイン型リチウム電池（CR2025）を取り付けてください。



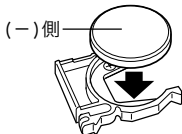
#### 警告

コイン型リチウム電池は、お子様の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合、電池の液で胃、腸が侵される恐れがありますので、直ちに医師に相談してください。

- 1** ①に爪をかけて矢印の方向に押しながら、②に爪をかけて電池ホルダーを取り出す

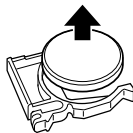


- 2** 電池の（-）側を上にし、電池ホルダーに取り付けて元に戻す



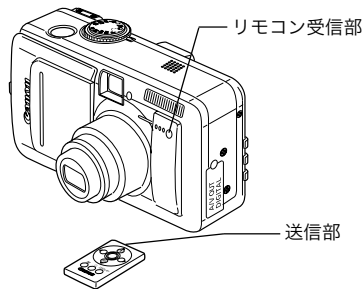
### 電池を取り出す

矢印の方向に引き抜くように取り出してください。



### 撮影/再生する

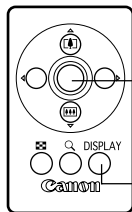
ワイヤレスコントローラーを使って、撮影や再生ができます。ワイヤレスリモコン受信部の正面から約5m離れて撮影や再生ができます。



## 📷(撮影) のとき

**FUNC.** ボタンを押し、十字ボタンの▲▼で□\* (ドライブモード) を選択します。十字ボタンの◀▶で📷(リモコン) を選び、**FUNC.** ボタンを押しした後、撮影します。

\* 現在の設定が表示されます。



● シャッターボタンを押します。撮影メニューの [リモコン撮影] で設定した時間 (0秒/2秒/10秒) のちに撮影されます。

● ボタンを押すたびに、情報表示なし/情報表示ありの切り換えができます。



ズームは操作できません。

## ▶(再生) のとき

- 
- 前の画像を表示します。
- 次の画像を表示します。
- 動画の再生をします。
- 拡大表示時、表示位置を切り換えます。
- インデックス再生時、選択画像を切り換えます。
- ボタンを押すたびに、情報表示を切り換えます。
- 9画像ずつまとめて表示します。(インデックス再生)
- ボタンを押すたびに、約2.5倍、約5倍、約10倍に拡大して表示します。
- The diagram shows the camera's control panel with lines pointing to various buttons. The FUNC. button is at the top. The directional pad is in the center. The square button with a camera icon is on the left, and the magnifying glass and DISPLAY buttons are on the right. The Canon logo is at the bottom.



以下の場合は、使用できる距離が短くなります。

- カメラに強い光が当たっている場合
- バッテリーが消耗している場合



動画の編集やプリントは操作できません。

## レンズ（別売）を使う

別売のテレコンバーター TC-DC10 を取り付けるときは、別売のコンバージョンレンズアダプター LA-DC10が必要です。



### 警告

- テレコンバーターを取り付けるときは確実にねじ込んでください。緩んで脱落して割れると、ガラスの破片でけがをすることがあります。
- テレコンバーターは絶対に太陽や強烈なライトに向けないでください。失明の恐れがあります。



- 内蔵ストロボを使用すると、画面の一部が暗くなることがあります。
- テレコンバーターは、テレ端の位置でお使いください。それ以外のズーム位置でお使いになると、画像が欠け（ケラレ）ることがあります。
- ファインダーはお使いになれません。

テレコンバーター  
TC-DC10

37 mmのねじ径を持つ望遠撮影をするための倍率変換レンズです。焦点距離は、カメラ本体の焦点距離の2倍になります。

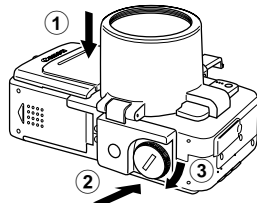


テレコンバーターにフィルターは取り付けられません。

## レンズを取り付ける

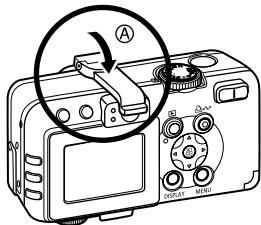
### 1 レンズカバーを開き、電源を入れる

### 2 コンバージョンレンズアダプターをカメラの前面にぴったりと合わせた後、コンバージョンレンズアダプターを三脚ねじ穴に取り付ける



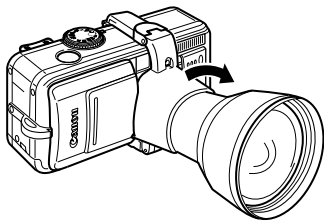


### 3 ①を矢印の方向にカチッと音がするまで倒してファインダー接眼部に取り付ける



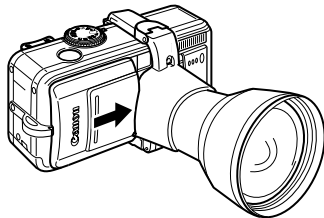
- コンバージョンレンズアダプターを取り外すときは、逆の手順で取り外してください。

### 4 テレコンバーターを矢印の方向に回して取り付ける



- カメラにコンバージョンレンズアダプター、テレコンバーターを取り付けているときは、レンズ部分を持って持ち運ばないでください。カメラが脱落し、破損することがあります。
- レンズの保護のため、コンバージョンレンズアダプターを片手で固定しながら着脱してください。
- レンズを取り付けて [ ] (ステッチアシスト) で撮影した場合、付属のソフトウェア「PhotoStitch」を使ったパソコンでの合成が正しく行えません。
- ご使用前にはレンズ面のゴミをブローブラシなどで完全に取り除いてください。ゴミにピントが合ってしまいます。
- レンズには指紋がつきやすいのでご注意ください。

- 撮影の合間など短時間電源を切るときは、レンズを付けたままレンズカバーを軽く押し込み、電源を切ってください。長時間使わないときはレンズを取り外し、レンズカバーを閉じてください。



## 電源キット（別売）を使う

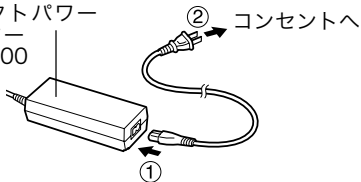
### ACアダプターキット

カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンやプリンターと接続するときは、ACアダプターキット ACK700(別売)\* の利用をおすすめします。

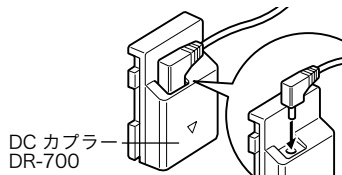
\* コンパクトパワーアダプター CA-PS700 と DC カプラー DR-700、電源ケーブルが入っています。

### 1 コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し (①)、電源プラグをコンセントに差し込む (②)

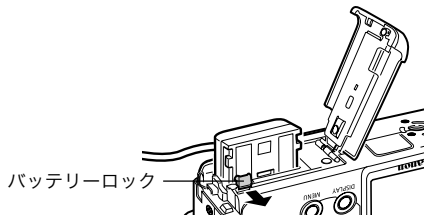
コンパクトパワー  
アダプター  
CA-PS700



### 2 DC カプラー DR-700 の端子にコンパクトパワーアダプターのケーブルを接続する

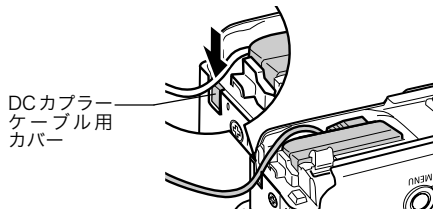


### 3 CF カードスロット / バッテリーカバーを開き、DCカプラーを、ロックされるまで押し込む



## カーバッテリーチャージャー(別売)を使う

### 4 ケーブルで DC カプラーケーブル用カバーを押しながら、CFカードスロット/バッテリーカバーを閉じる



- 使用後はコンパクトパワーアダプターを取り外してください。



- コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しは、必ずカメラの電源を切って (p. 20) から行ってください。
- ACアダプターキット ACK700以外をお使いになると、カメラやコンパクトパワーアダプターの故障の原因となることがあります。

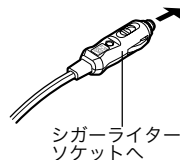


海外で使うとき (p. 147)

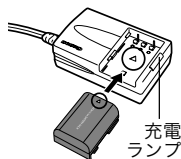
カーバッテリーチャージャー CBC-NB2 (別売) をお使いになると、自動車のシガーライターソケットから電源を取って、バッテリーを充電できます。

カーバッテリーチャージャーをお使いになるときは、必ず自動車のエンジンをかけた状態にしてください。エンジンをかけないで使用すると、車種によっては、電力を消耗することがあり、バッテリーあがりの原因となります。また、取り外すときも、必ず自動車のエンジンをかけたまま行ってください。

### 1 自動車のエンジンをかけた状態で、シガープラグを自動車のシガーライターソケットに接続する



### 2 バッテリーを図のように、バッテリーチャージャーの奥までしっかり押し込む



## カメラのお手入れ

- バッテリーは、バッテリーの矢印とカーバッテリーチャージャーの矢印を合わせて正しく入れてください。
- 充電中は充電ランプが赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。
- 充電終了後、バッテリーを取り出してから、カーバッテリーチャージャーをシガーライターソケットから抜きます。



- エンジンを止めるときは充電を中止し、シガープラグをシガーライターソケットから抜いてください。
- 充電を再開するときは、エンジンをかけてからシガープラグをシガーライターソケットに差し込んでください。
- このカーバッテリーチャージャーはマイナス接地車専用です。プラス接地車ではお使いになれません。

カメラやレンズ、ファインダー、液晶モニターなどが汚れたときは、以下の方法でクリーニングしてください。

カメラ	: やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。
レンズ	: 市販のプロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。 ●カメラやレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りのキヤノンサービスセンター(別紙の「修理サービスご相談窓口」をご参照ください)にご相談ください。
ファインダー、液晶モニター	: 市販のプロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。 ●液晶モニターの表面を強くこすったり押したりすると、表面にキズが付きまますのでご注意ください。



絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の变形や故障の原因になることがあります。

## 海外で使うとき

このデジタルカメラは、海外でもお使いになれますが、以下のことにご注意ください。














### テレビでの再生

ビデオ出力方式は、初期設定では日本国内で採用している NTSC 方式に設定されていますが、海外の別方式（PAL 方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア（一部地域を除く））に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください（p. 67）。

### 電源について

コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーは、AC100～240V 50 / 60Hz までの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご注意ください。

### 海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状	 			  	 
変換プラグ	不要です				

## 主な国名と使用するプラグの種類

●北米	ルーマニア	C	ニュージーランド	S	
アメリカ合衆国	A		フィジー	S	
カナダ	A	●アジア			
	インド	B. C. BF	●中南米		
●ヨーロッパ	インドネシア	C	アルゼンチン	BF. C. S	
アイスランド	C	シンガポール	B. BF	コロンビア	A
アイルランド	C	スリランカ	B. C. BF	ジャマイカ	A
イギリス	B. BF	タイ	A. BF. C	チリ	B. C
イタリア	C	大韓民国	A. C	ハイチ	A
オーストリア	C	中華人民共和国	A. B. BF. C. S	パナマ	A
オランダ	C	ネパール	C	バハマ	A
ギリシャ	C	パキスタン	B. C	プエルトリコ	A
スイス	C	バングラデシュ	C	ブラジル	A. C
スウェーデン	C	フィリピン	A. BF. S	ベネズエラ	A
スペイン	A. C	ベトナム	A. C	ペルー	A. C
デンマーク	C	香港特別行政区	B. BF	メキシコ	A
ドイツ	C	マカオ特別行政区	B. C		
ノルウェー	C	マレーシア	B. BF. C	●中近東	
ハンガリー	C			イスラエル	C
フィンランド	C	●オセアニア		イラン	C
フランス	C	オーストラリア	S	クウェート	B. C
ベルギー	C	グアム	A	ヨルダン	B. BF
ポーランド	B. C	タヒチ	C		
ポルトガル	B. C	トンガ	S		

●アフリカ	ギニア	C	南アフリカ共和国	B. C. BF	
アルジェリア	A. B. BF. C	ケニア	B. C	モザンビーク	C
エジプト	B. BF. C	ザンビア	B. BF	モロッコ	C
カナリア諸島	C	タンザニア	B. BF		



- コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので使用しないでください。
- このカメラの保証書は、国内に限り有効です。万一、海外旅行先で故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

## 主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により、記載内容を予告なしに変更することがあります。

### PowerShot S70/PowerShot S60

カメラ部有効画素数	PowerShot S70：約710万画素 PowerShot S60：約500万画素
撮像素子	PowerShot S70：1/1.8型 CCD（総画素数 約740万画素） PowerShot S60：1/1.8型 CCD（総画素数 約530万画素）
レンズ	5.8 (W) - 20.7 (T) mm (35mm フィルム換算28-100 mm) F2.8 (W) - F5.3 (T)
デジタルズーム	最大約4.1倍（光学ズームと合わせて最大約15倍のデジタルズームが可能）
光学ファインダー	実像式ズームファインダー、視野率約80%
液晶モニター	1.8型低温ポリシリコン TFT液晶カラーモニター 約11.8万画素 視野率100%
AF方式	TTLオートフォーカス AFロックおよびマニュアルフォーカス可能 9点 (AiAF) / 1点 (AF) (1点時の測距枠：任意設定可能)
撮影距離（レンズ先端より）	通常撮影：44 cm～∞ (W / T) マクロ撮影：4～44 cm (W) / 30～44 cm (T) マニュアルフォーカス撮影：4 cm～∞ (W) / 30 cm～∞ (T)
シャッター	メカニカルシャッター＋電子シャッター
シャッタースピード	15～1/2000秒 ・撮影モードにより異なる ・1.3秒以上のスローシャッター時はノイズリダクション処理あり
測光方式	評価測光 / 中央部重点平均測光 / スポット測光（中央固定AE / AF枠連動）
露出制御方式	プログラムAE / シャッタースピード優先AE / 絞り優先AE / マニュアル露出 AEロック可能 セーフティシフト可能

(W)：ワイド端 (T)：テレ端

露出補正	±2段 (1/3段ステップ)、AEB撮影可能
感度	オート、ISO 50 / 100 / 200 / 400相当
ホワイトバランス	TTLオート / プリセット (太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯H / ストロボ / 水中) / マニュアル
内蔵ストロボ	オート* / 常時発光* / 発光禁止 *赤目緩和設定可能
内蔵ストロボ撮影範囲	55cm～4.2m (W) / 55cm～2.0m (T) (ISO 100相当時)
ストロボ調光補正	±2段 (1/3段ステップ)、FEロック / スローシンクロ / 先幕、後幕シンクロ可能
撮影モード	オート クリエイティブゾーン：プログラム / シャッタースピード優先 / 絞り優先 / マニュアル / カスタム イメージゾーン：ポートレート / 風景 / 夜景 / 高速シャッター / スローシャッター / ステッチアシスト / 動画
連続撮影	高速連続撮影：約2.0画像/秒 通常連続撮影： PowerShot S70：約1.2画像/秒 PowerShot S60：約1.5画像/秒 (ラージ/ファインモード、液晶モニター非表示のとき)
インターバル撮影	撮影間隔：約1～60分 (1分単位) 撮影画像数：2～100画像 (最大画像数は、CFカードの容量による)
セルフタイマー	約10秒 / 約2秒後に撮影
ワイヤレスコントローラー	撮影 / 再生可能 (別売) 撮影時はレリーズボタン操作から瞬時 / 約2秒後 / 約10秒後に撮影
パソコン接続撮影	USB接続時、付属のソフトウェアで撮影可能
記録媒体	コンパクトフラッシュカード (Type1およびTypeII対応)
画像ファイルフォーマット	DCF準拠*1、DPOF対応

(W)：ワイド端 (T)：テレ端



画像記録フォーマット (静止画)	JPEG (Exif 2.2)*2/RAW
(動画)	AVI (画像データ：Motion JPEG / 音声データ：WAVE (モノラル))
圧縮率	スーパーファイン / ファイン / ノーマル
記録画素数 (静止画)	PowerShot S70 ラージ : 3072 × 2304画素 ミドル1 : 2592 × 1944画素 ミドル2 : 2048 × 1536画素 ミドル3 : 1600 × 1200画素 スモール : 640 × 480画素 PowerShot S60 ラージ : 2592 × 1944画素 ミドル1 : 2048 × 1536画素 ミドル2 : 1600 × 1200画素 スモール : 640 × 480画素
記録画素数 (動画)	640 × 480画素 (30秒) * 320 × 240画素 (3分) * 160 × 120画素 (3分) * * ( ) 内は1回の撮影での最長記録時間です。
再生モード	シングル再生 (ヒストグラム表示可能) / インデックス再生 (サムネイル9画像) 拡大再生 (液晶モニター上で約10倍に拡大可能) スライドショー 音声メモ (最長60秒まで記録/再生が可能)
ダイレクトプリント	CPダイレクト / Bubble Jet ダイレクト / PictBridgeに対応
表示言語	PowerShot S70 日本語 / 英語 / ドイツ語 / フランス語 / オランダ語 / デンマーク語 / フィンランド語 / イタリア語 / ノルウェー語 / スウェーデン語 / スペイン語 / 中国語 / ロシア語 / ポルトガル語 PowerShot S60 日本語 / 英語 / ドイツ語 / フランス語 / オランダ語 / デンマーク語 / フィンランド語 / イタリア語 / ノルウェー語 / スウェーデン語 / スペイン語 / 中国語

マイカメラ (カスタマイズ) 機能	起動画面/起動音/シャッター音/操作音/セルフタイマー音が、以下の方法で設定可能 1. このカメラで記録 2. 付属のソフトウェアやオンラインフォトサービス「CANON iMAGE GATEWAY」からダウンロード
CANON iMAGE GATEWAY 対応機能	付属のソフトウェアを使って、CANON iMAGE GATEWAYの会員登録、画像のアップロード、オンラインアルバムサービス、携帯電話アルバム通知・閲覧サービス、カメラへのマイカメラコンテンツのダウンロード、オンラインプリントサービス、オリジナル写真集作成サービス、ホームプリンティングサービスなどが利用可能
インターフェース	USB (mini-B、PTP [Picture Transfer Protocol]) 映像/音声出力端子 (NTSCまたはPAL切替可能、モノラル音声)
電源	1. 充電式リチウムイオン電池NB-2LH (付属) / NB-2L (別売) 2. ACアダプターキットACK700 (別売) 3. カーバッテリーチャージャー CBC-NB2 (別売)
動作温度	0～40℃
動作湿度	10～90%
大きさ	114.0×56.5×38.8 mm (突起部を除く)
質量	約230 g (本体のみ)

\*1 DCFは(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、DSC等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

\*2 このデジタルカメラは、Exif 2.2 (愛称「Exif Print」)に対応しています。Exif Printは、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

## バッテリー性能について (バッテリーパック NB-2LH (フル充電))

### CIPA測定法

撮影画像数	約 140 画像
-------	----------

\* 撮影画像数は、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。

### <測定条件>

撮影：常温 (23 ± 2°C) ・ 常湿 (50 ± 20%) で、2 回に 1 回ストロボを発光させながら、30 秒間隔でワイド端とテレ端で交互に撮影し、10 画像撮影後に電源を切。十分な時間\*が経過した後、再び電源を入れて同様の方法で撮影を繰り返す。

- ・ 付属のメモリーカードを使用
- ・ 液晶モニター表示 (液晶モニターの明るさは工場出荷時の設定)
- \* 電池の温度が常温に戻るまでの時間

### キヤノン測定法

撮影画像数		再生時間
液晶モニター表示時	液晶モニター非表示時	
約 240 画像	約 550 画像	約 210 分

\* 上記データは当社測定条件によるもので、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。

### <測定条件>

撮影：常温 (23°C)、20 秒間隔でワイド端とテレ端撮影を交互に繰り返し、4 回に 1 回ストロボ使用、8 回に 1 回電源を切 / 入操作、CF カード使用、液晶モニターの明るさは工場出荷時の設定

再生：常温 (23°C)、1 画像あたり 3 秒間隔で連続再生、CF カード使用、液晶モニターの明るさは工場出荷時の設定


- 動画データは除きます。
- 使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下したり、バッテリー残量低下アイコンが早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。





















バッテリーの取り扱いについて (p. 16)

## CFカードの種類と記録可能画像数の目安

### PowerShot S70

 付属のカード










			FC-32MH	FC-64M	FC-128M	FC-256MH	FC-512MSH
L (ラージ)	3072 × 2304 画素		9	19	40	81	163
			15	32	64	130	261
			33	67	136	273	547
M1 (ミドル 1)	2592 × 1944 画素		11	24	49	99	198
			21	43	88	177	354
			43	88	176	355	709
M2 (ミドル 2)	2048 × 1536 画素		18	38	76	154	308
			33	68	137	276	552
			67	136	274	548	1096
M3 (ミドル 3)	1600 × 1200 画素		30	61	122	246	491
			54	109	219	440	879
			107	217	435	868	1736
S (スモール)	640 × 480 画素		119	241	482	962	1893
			195	393	788	1563	3125
			336	676	1355	2720	5209
RAW*	3072 × 2304 画素		3	7	16	33	68
動画	640 × 480 画素		45 秒	92 秒	186 秒	374 秒	743 秒
	320 × 240 画素		91 秒	183 秒	368 秒	735 秒	1453 秒
	160 × 120 画素		241 秒	486 秒	973 秒	1954 秒	3906 秒

## PowerShot S60

 付属のカード

			FC-32MH	FC-64M	FC-128M	FC-256MH	FC-512MSH
L (ラージ)	2592 × 1944 画素		11	24	49	99	198
			21	43	88	177	354
			43	88	176	355	709
M1 (ミドル 1)	2048 × 1536 画素		18	38	76	154	308
			33	68	137	276	552
			67	136	274	548	1095
M2 (ミドル 2)	1600 × 1200 画素		30	61	122	246	491
			54	109	219	440	879
			108	217	435	868	1734
S (スモール)	640 × 480 画素		120	241	482	962	1891
			196	393	788	1563	3122
			337	676	1355	2720	5203
RAW*	2592 × 1944 画素		5	12	25	51	102
動画	640 × 480 画素		46 秒	92 秒	186 秒	374 秒	742 秒
	320 × 240 画素		91 秒	183 秒	368 秒	735 秒	1451 秒
	160 × 120 画素		242 秒	486 秒	973 秒	1954 秒	3902 秒







\* 確認用 (サムネイル) 画像の記録画素数によって、記録可能画像数は異なる場合があります。

- この数値は当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モードなどにより変わります。
- 動画の1回の最長撮影時間は、: 30秒、: 3分、: 3分です。表中の数値は、繰り返し撮影した場合の最長時間です。
- L (ラージ)、M1 (ミドル 1)、M2 (ミドル 2)、M3 (ミドル 3)、S (スモール)、、、 は記録画素数を表します。
-  (スーパーファイン)、 (ファイン)、 (ノーマル) は圧縮率を表します。

## 1 画像の容量 (目安) PowerShot S70

記録画素数		圧縮率		
				
<b>L</b>	3072×2304画素	3045KB	1897KB	902KB
<b>M1</b>	2592×1944画素	2503KB	1395KB	695KB
<b>M2</b>	2048×1536画素	1602KB	893KB	445KB
<b>M3</b>	1600×1200画素	1002KB	558KB	278KB
<b>S</b>	640×480画素	249KB	150KB	84KB
<b>RAW</b>	3072×2304画素	7096KB		
<b>動画</b>	 640×480画素	660KB/秒		
	 320×240画素	330KB/秒		
	 160×120画素	120KB/秒		

## PowerShot S60

記録画素数		圧縮率		
				
<b>L</b>	2592×1944画素	2503KB	1395KB	695KB
<b>M1</b>	2048×1536画素	1602KB	893KB	445KB
<b>M2</b>	1600×1200画素	1002KB	558KB	278KB
<b>S</b>	640×480画素	249KB	150KB	84KB
<b>RAW</b>	2592×1944画素	4725KB		
<b>動画</b>	 640×480画素	660KB/秒		
	 320×240画素	330KB/秒		
	 160×120画素	120KB/秒		

## ワイヤレスコントローラー WL-DC100 (別売)

電源	: コイン型リチウム電池 CR2025
動作温度	: 0～40℃
大きさ	: 35×6.5×56.6mm
質量	: 約10g

## コンパクトフラッシュカード

カードスロットタイプ	: Type 1
大きさ	: 36.4×42.8×3.3mm
質量	: 約10g

## バッテリーパック NB-2LH

形式	: 充電式リチウムイオン電池
公称電圧	: DC 7.4V
公称容量	: 720mAh
充放電	: 約300回
動作温度	: 0～40℃
大きさ	: 33.3×45.2×16.2mm
質量	: 約43g

### バッテリーチャージャー CB-2LT

定格入力	: AC 100V ~ 240V (50/60Hz) 14VA (100V) ~ 19VA (240V)
定格出力	: DC 8.4V / 0.5A
充電時間	: 約 90 分
動作温度	: 0 ~ 40°C
大きさ	: 91 × 29.5 × 56mm
質量	: 約 86g

### コンパクトパワーアダプター CA-PS700

(別売のACアダプターキット ACK700に付属)

定格入力	: AC100 ~ 240V (50 / 60 Hz) 30VA (100V) ~ 40VA (240V)
定格出力	: DC 7.4V / 2.0A
動作温度	: 0 ~ 40°C
大きさ	: 112 × 29 × 45mm (本体のみ)
質量	: 約 186g

### カーバッテリーチャージャー CBC-NB2 (別売)

入力電圧	: DC 12V または DC 24V
出力	: DC 8.4V、0.55A
動作温度	: 0 ~ 40°C
大きさ	: 91 × 56 × 29.5mm
質量	: 約 145g

### テレコンバーター TC-DC10 (別売)

倍率	: 約 2.0 倍
焦点距離 (テレ端)	: 200mm (35mm フィルム換算)
レンズ構成	: 3 群 4 枚
撮影範囲 (レンズ先端より)	: 1.2m ~ ∞
ねじ径	: 37mm 標準フィルターネジ (PowerShot S70/S60 に装着時 は、コンバージョンレンズアダプ ター LA-DC10 が必要)
大きさ	: 直径 63.5mm 長さ 54.5mm
質量	: 約 145g

### コンバージョンレンズアダプター LA-DC10 (別売)

ねじ径	: 37mm 標準フィルターネジ
大きさ	: 使用時 61.7 × 69.6 × 74.8mm 収納時 61.7 × 76.3 × 41.8mm
質量	: 約 30g

## ワンポイントアドバイス

### AFについて (p. 74)

AiAFは、広い測距範囲を持ち、ピント合わせを的確に判断します。ピントを合わせたい被写体が中央部から多少ずれている場合でも、目的の被写体にピントを合わせます。

\* Ai = Artificial intelligence : 人工知能  
AF = オートフォーカス

### ISO感度 (p. 81)

ISO感度とは、光を感じる能力を数値化したものです。数値が高いほど感度が高くなります。ISO感度が高いと、暗い場所でストロボを使わずに撮影できます。ストロボ撮影禁止の場所で撮影するときに便利です。その場の光を生かした雰囲気のある仕上がりになります。



ISO50相当



ISO400相当


### RAW形式 (p. 55)

通常のJPEG形式は、適正な画質になるようにカメラ内で画像処理を行っています。また、CFカードに多くの画像を記録できるように、ファイルサイズを圧縮しています。これは非可逆圧縮ですので、オリジナルと完全に同一のデータを復元することはできません。一方、RAW形式は、カメラ内で画像処理することなく、CCDからの画像データをそのまま記録します。また、JPEG形式と同じく記録時に圧縮していますが、オリジナルデータを完全に復元できる可逆圧縮ですので、非圧縮ファイルと同等のデータ劣化がまったくない高品質な画像が得られます。そのうえ、RAW形式のファイルサイズは、非圧縮ファイルであるRGB TIFF形式の約1/4\*と、大変コンパクトです。RGB TIFF形式など一般の非圧縮ファイルの場合、カメラ内で画像処理をしており、さらに画質を調整するには、タッチソフトウェアでの処理が必要ですが、その際、画質が劣化してしまいます。RAW形式の画像は、そのままではタッチソフトウェアで開くことができないため、一般的なファイル形式(TIFF形式やJPEG形式)に変換(現像)する必要があります。付属のソフトウェアZoomBrowser EX (Windows)/ImageBrowser (Macintosh)を使うと、オリジナルの画像データの画質を調整してから現像できるため、高品位を保ったまま、お好みの画像を作り出せます。詳しくは、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

\* 当社測定条件によります。



## セルフタイマーの活用法 (p. 51)

シャッターボタンを押した瞬間に、カメラが動いてしまう可能性があります。このときセルフタイマーを  に設定すると、2秒後に撮影されるので画像のブレを防ぐことができます。

カメラを固定した台の上に置いたり、三脚を使用すると、よりきれいな画像を撮影できます。

## ヒストグラム (p. 26)

ヒストグラムは、撮影した画像の明るさを判断するためのグラフです。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。

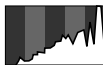
暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときは、マイナス側に補正して撮影します (p. 77)。



暗い画像



普通の明るさの画像

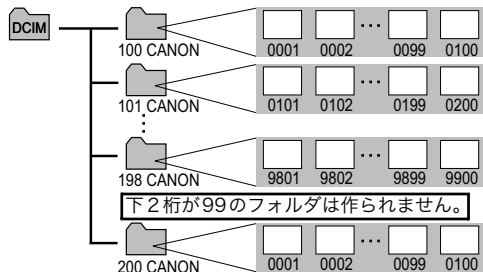


明るい画像

## 画像ファイルの管理 (p. 107)

### ●ファイル番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には0001~9900までのファイル番号が割り振られ、各フォルダには100~998までの番号が割り振られます (下2桁が99のフォルダは作られません)。



### ●ファイル数について

ひとつのフォルダに100画像ずつ保存されます。ただし、連続撮影やステッチアシストモードで撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、フォルダ内に101画像以上保存されることがあります。他のカメラで撮影したりパソコンから画像をコピーすると、ひとつのフォルダ内に101画像以上保存できますが、2001以上の画像が保存されているフォルダ内の画像はこのカメラで再生できません。

## 露出補正のしかた (p. 77)

このカメラは、適切な明るさで撮影できるよう自動で露出を調整しています。しかし、撮影状況によっては実際よりも明るく写ったり、暗く写ってしまうことがあります。このようなときは、手動で露出を補正してください (p. 77)。

### ● 露出不足 (アンダー)

全体が黒っぽく写ります。そのため、白いものはグレーのように写ります。白っぽい被写体や逆光で撮影すると、露出アンダーになることがあります。＋側に補正してください。



### ● 適切な露出



### ● 露光過多 (オーバー)

全体が白っぽく写ります。そのため、黒いものはグレーのように写ります。黒っぽい被写体や暗い場所で撮影すると、露出オーバーになることがあります。－側に補正してください。



# 索引

## 記号 / アルファベット

AEB 撮影	83
AE ロック	85
AF ロック	93
AF 枠	26, 74
CANON IMAGE GATEWAY	112
CF カード	
入れかた	14
記録画像数	154
初期化	18
取り扱い	18
DISPLAY	12, 26
DPOF	
送信指定	66, 131
プリント指定	66, 126
FE ロック	87
FUNC.	61
ISO 感度	81
JUMP	43
MENU	12, 62
MF 拡大表示	65, 94
RAW	55, 158

## ア行

赤目緩和機能	10, 36, 37, 64
圧縮率	34
後幕	89
イメージダイレクト	12, 120

1 画像消去	44
イメージゾーン	46
色効果	82
色の濃さ	82
インターバル撮影	65, 90
インデックス再生	42
液晶の明るさ	66
液晶モニター	12
表示内容	26
オート	29
オートパワーオフ	67, 105
音声メモ	99
音量	66

## カ行

回転	66, 98
拡大表示	41
カスタム登録	65, 96
カメラのお手入れ	146
簡易表示	26
起動音	20, 66, 68, 108, 109
起動画面	20, 68, 108, 109
距離表示	67
記録画素数	34
記録形式	55
クリエイティブゾーン	70
言語設定	25, 67
広角	12, 29
高輝度警告	28

高速シャッター	46	初期設定に戻す	69
コントラスト	82	白黒	82
コンパクトパワーアダプター	144	シングル再生	40
<b>サ行</b>		人物 (ポートレート)	46
再生	40, 98, 123	ズーム	12, 29, 41, 52
再生音量	66	スティッチアシスト	46, 48
再生モード	21, 26	ストロボ	10, 36
先幕	89	調光補正	64, 88
撮影の確認	32, 65	発光するタイミング	64, 89
撮影モード	21, 26	スピーカー	12
撮影モードダイヤル	13, 46, 70	スライドショー	66, 100
自動再生 (スライドショー)	100	開始	100
絞り数値	70	画像選択	101
絞り優先 AE	70	再生間隔	103
シャープネス	82	リピート	103
シャッター音	30, 66, 68, 108, 109	スローシャッター	46
シャッタースピード	70	スローシンクロ	37, 64
シャッタースピード優先 AE	70	セーフティシフト	73
シャッターボタン	12	設定できる機能	166
ジャンプ	43	節電機能	67, 105
十字ボタン	12	セルフタイマー	51
消音	66	セルフタイマー音	66, 68, 108, 109
消去	44	全押し	30
1 画像消去	44	全画像消去	66
全画像消去	45	操作音	66, 68, 108, 109
詳細表示	26	送信指定	131
情報表示	26	画像指定	131
初期化	18, 67	測光方式	12, 64, 76

## タ行

ダイレクト転送	120
縦横自動回転	67, 106
端子カバー	12
ディスプレイオフ	67, 105
デジタルズーム	52, 65
テレコンバーター	142
テレビを使って撮影 / 再生する	123
電源の入 / 切	20
電源 / モードランプ	13
動画	
再生	57
撮影	56
編集	57

## ハ行

バッテリー	
入れかた	14
残量	17
充電	14
取り扱い	16
バッテリーの性能について	153
半押し	30
番号リセット機能	67, 107
ヒストグラム	26, 159
日付 / 時刻	23, 67
ビデオ出力方式	67, 123, 147
ピント	30, 92

ファイル番号	26, 107, 159
ファインダー接眼部	12, 31
ファンクション	12, 61
風景	46
フォーカスブラケット撮影	84
フォーカスロック	92
フォーマット	18, 111
プリント	124
画像指定	126
プログラム AE	70
プロテクト	65
望遠	12, 29
ポートレート	46
ホワイトバランス	78

## マ行

マイカメラコンテンツ	108, 109
マイク	10, 99
マクロ	50
マニュアルフォーカス	94
マニュアル露出	70
メッセージ	133
メニュー	62
再生メニュー	65
撮影メニュー	64
設定メニュー	66
選択と設定のしかた	61
マイカメラメニュー	68

## ヤ行

夜景 ..... 46

## ラ行

ランプ ..... 13

リストストラップ ..... 10

リモコン ..... 64, 140

リモコン受信部 ..... 140

連続撮影 ..... 53

露出補正 ..... 77, 160

## ワ行

ワイヤレスコントローラー ..... 140

### 補修性能部品について

保守サービスの為に必要な補修性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。(補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーガイド(本書)に従って正しい取り扱いをしてください。

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ② 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- ③ 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたら、キヤノンお客様相談センターまでご連絡ください。連絡先は、本書巻末に記載してあります。
- ④ このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

- CanonおよびPowerShot、PIXUSは、キヤノン株式会社の商標です。
- CANON iIMAGE GATEWAY およびiIMAGE GATEWAYは、日本国内におけるキヤノン株式会社の商標です。
- CompactFlash (コンパクトフラッシュ) は、SanDisk Corporationの商標です。
- DCFは、(社)電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- iBookおよびiMacは、米国アップルコンピュータ社の商標です。
- MacintoshおよびPowerBook、Power Macintosh、QuickTimeは、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- MicrosoftおよびWindows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## 各撮影モードで設定できる機能一覧

各撮影モードで設定できる機能は、以下のとおりです。  
**C**のときは、登録時に設定した内容で撮影ができます (p. 96)。

		AUTO									P	Tv	Av	M	参照先
記録画素数 (静止画)	ラージ	L	○*	○*	○*	○*	○*	○*	△*	—	○*	○*	○*	○*	p. 34
	ミドル 1	M1	○	○	○	○	○	○	△	—	○	○	○	○	
	ミドル 2	M2	○	○	○	○	○	○	△	—	○	○	○	○	
	ミドル 3 <sup>(1)</sup>	M3	○	○	○	○	○	○	△	—	○	○	○	○	
	スモール	S	○	○	○	○	○	○	△	—	○	○	○	○	
記録画素数 (動画)	640×480画素		—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	p. 34
	320×240画素		—	—	—	—	—	—	—	○*	—	—	—	—	
	160×120画素		—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	
圧縮率	スーパーファイン		○	○	○	○	○	○	△	—	○	○	○	○	p. 34
	ファイン		○*	○*	○*	○*	○*	○*	△*	—	○*	○*	○*	○*	
	ノーマル		○	○	○	○	○	○	△	—	○	○	○	○	
記録形式	JPEG		○	○	○	○	○	○	○	—	○*	○*	○*	○*	p. 55
	RAW	RAW	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	
ストロボ	オート		○*	○*	○	○*	○*	○	—	—	○	—	—	—	p. 36
	常時発光		—	○	○	○	○	○	△	—	○	○	○	○	
	発光禁止		○	○	○*	○	○	○*	△*	—	○*	○*	○*	○*	
赤目緩和			○	○	○	○	○	○	△	—	○	○	○	○	p. 37



										<b>P</b>	<b>Tv</b>	<b>Av</b>	<b>M</b>	参照先
スローシンクロ	入	—	—	○	○	—	○	△	—	○	—	○	—	p. 37
	切	○	○	—	—	○	—	△*	—	○*	○	○*	○	
ストロボ自動調光	入	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○*	○*	—	p. 88
	切	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	
ストロボ発光	先幕	○	○	○	○	○	—	○	—	○*	○*	○*	○*	p. 89
	後幕	—	—	—	—	—	○	—	—	○	○	○	○	
AF 補助光		○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	p. 31
ドライブモード	シングル撮影	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○*	—
	通常連続撮影	—	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	p. 53
	高速連続撮影	—	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	
	10 秒セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	p. 51
	2 秒セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	
リモコン	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○		
インターバル撮影		—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	p. 90
AF 枠の選択	オート選択	○*	○*	○*	○*	○*	○*	○	○	—	—	—	—	p. 74
	中央 1 点	○	○	○	○	○	○	—	—	○*	○*	○*	○*	
	マニュアル選択	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	
AF ロック		—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 93
マニュアルフォーカス		—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 94

										<b>P</b>	<b>Tv</b>	<b>Av</b>	<b>M</b>	参照先
マクロ撮影			○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	p. 50
デジタルズーム	入	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○	○	p. 52
	切	○*	○*	○*	○*	○*	○*	—	—	○*	○*	○*	○*	
露出補正			—	○	○	○	○	○	△	○	○	○	—	p. 77
測光方式	評価測光		○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○*	○*	p. 76
	中央部重点平均測光		—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	
	スポット測光		—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	
	中央固定 AF 枠連動		—	—	—	—	—	—	—	○*	○*	○*	○*	
AE ロック / FE ロック撮影 *			—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—	p. 85, 87
ブラケット撮影	AEB		—	—	—	—	—	—	—	○ <sup>(2)</sup>	○ <sup>(2)</sup>	○ <sup>(2)</sup>	—	p. 83
	フォーカス ブラケット		—	—	—	—	—	—	—	○ <sup>(2)(3)</sup>	○ <sup>(2)(3)</sup>	○ <sup>(2)(3)</sup>	○ <sup>(2)(3)</sup>	p. 84
ホワイトバランス <sup>(4)</sup>		<b>WB</b>	— <sup>(5)</sup>	○	○	○	○	○	△	○ <sup>(6)</sup>	○	○	○	p. 78
色効果			—	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	p. 82
コントラスト/ シャープネス/色の濃さ			—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	
セーフティシフト	入		—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	—	p. 73
	切		○	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○	

										<b>P</b>	<b>Tv</b>	<b>Av</b>	<b>M</b>	参照先
ISO 感度	ISO	— (7)	— (7)	— (7)	— (7)	— (7)	— (7)	— (7)	— (7)	○	○	○	○ <sup>(8)</sup>	p. 81
縦横自動回転	入	○*	○*	○*	○*	○*	○*	△*	—	○*	○*	○*	○*	p. 106
	切	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	
RAW 内 JPEG 記録		—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	p. 65

\*初期設定 ○：設定可 △：最初の1画像で設定可 —：設定不可

- ：電源を切っても、解除されません。
- [日付/時刻]、[言語]、[ビデオ出力方式]以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、一度にすべて初期設定に戻すことができます (p. 69)。

#### (1) PowerShot S70のみ

- (2) ストロボ発光時はブラケット撮影できません。
- (3) マニュアルフォーカス時のみ設定できます。
- (4) 色効果が[セピア]、[白黒]の場合は設定できません。
- (5) ホワイトバランスは [オート] に設定されます。
- (6) ホワイトバランス [ストロボ] は設定できません。
- (7) カメラが自動的に設定します。
- (8) ISO [AUTO] は設定できません。